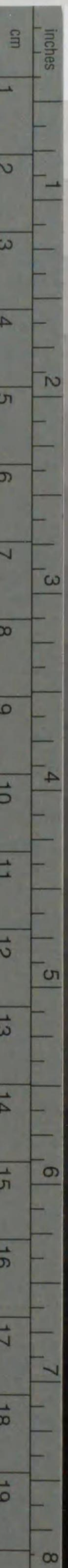


Kodak Gray Scale



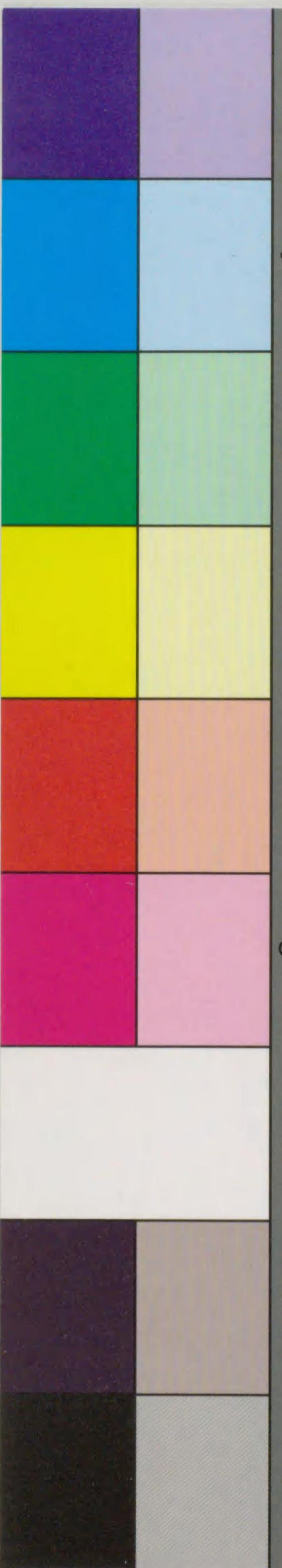
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



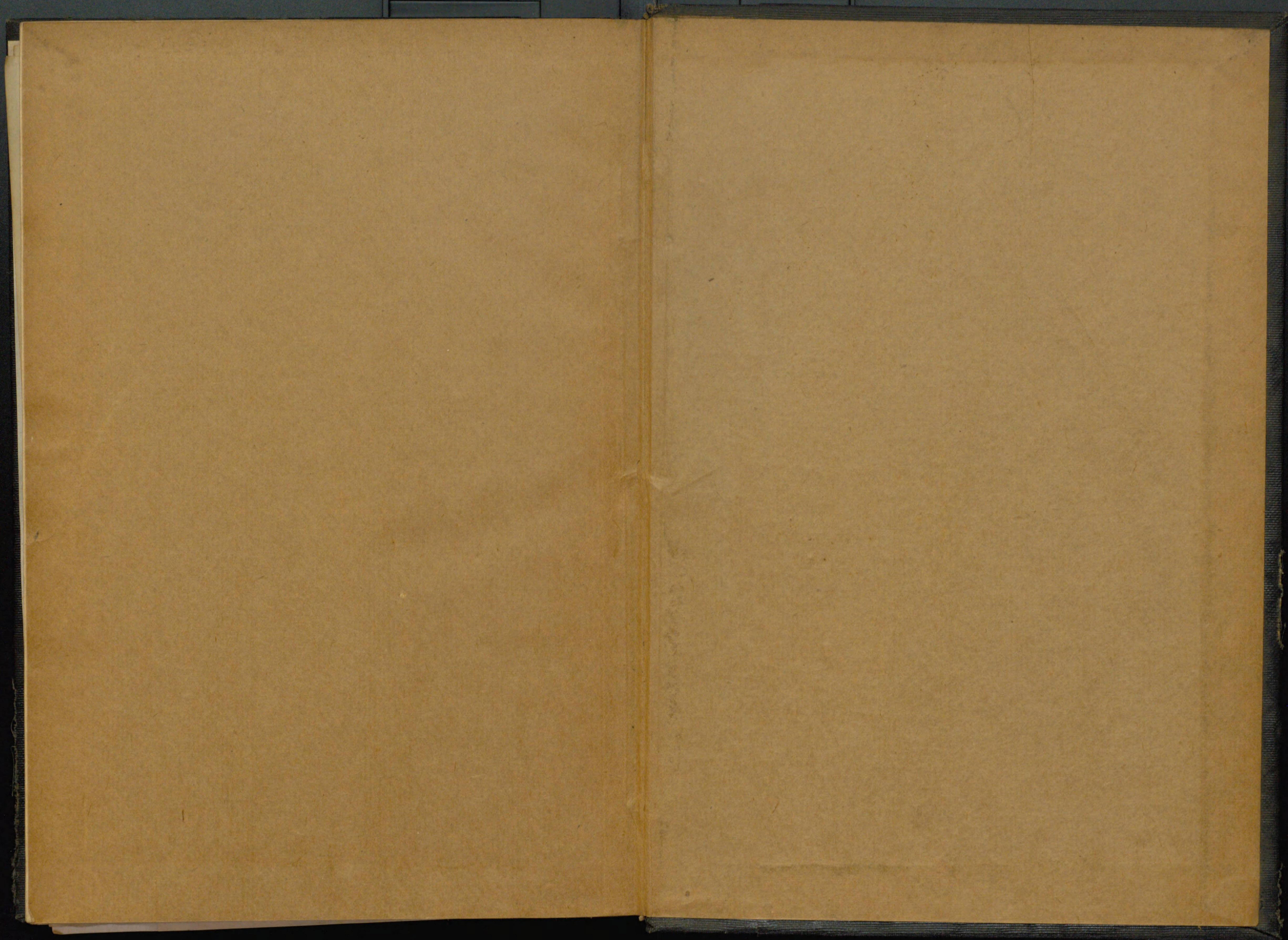
581

146

581-146



1200600099951



昭和三年十月一日發行

製鐵所參考資料

(第參拾五號)

製鐵所總務部

34

例言

- 一、本冊子ハ文書課ニ於テ抄譯シタル外字新聞若クハ雜誌中掲載ノ事項及ヒ其他ノ調査資料ニ就キ參考トナルヘキモノヲ撰ミ關係所員ニ頒タンカタメ謄寫ニ代ヘ印刷スルモノトス
- 二、本冊子ハ當務ノ參考ニ供スルヲ以テ目的トシ文字ノ彫琢編纂ノ體裁ニ於テ缺クル所少ナカラサルヘシ讀者之ヲ諒セヨ

製鐵所總務部

製鐵所參考資料第參拾五號目次

- 一、安徽省の一部地質調査報告……………一
- 二、合衆國の壓延工場能力……………二七
- 三、露西亞の炭礦業及鐵鋼業……………二七
- 四、露西亞の滿俺礦……………三五
- 五、世界の石炭消費額と産額……………四三
- 六、佛國製鐵業狀況……………五一
- 七、國際粗鋼カルテル例會の決定……………六一
- 八、輸出市場開拓策……………六五
- 九、原價の攻究に就て……………七三
- 一〇、合衆國に於ける製鋼用銑鐵減少と屑鐵増加……………七七
- 一一、英國鐵鋼業……………八一
- 一二、印度「タタ」製鐵會社罷業續報……………一〇一



三、歐米各都市實際貨銀比較.....101

四、鐵鋼市況(其の一).....111

- 一、獨逸の製鋼界事情(二三)
- 二、日本との取引に關し獨逸の「線材カルテル」中に鬭争を惹起せり(二五)
- 三、英國産鋼材に對する需要更に旺盛(二五)
- 四、白國鋼材相場更に軟弱氣配(二七)
- 五、歐洲鋼材取引緩漫(二九)
- 六、英國鋼材取引界輸入漸減のため活氣旺盛(三〇)
- 七、鑄鋼製造團體の會議(三四)
- 八、英國輸出相場低廉(三四)
- 九、白國輸出額四月中減少を示す(三五)
- 一〇、米國側輸出取引上英國側に接近す(三六)
- 一一、佛國鉄鋼輸出額減少(三六)
- 一二、佛國鉄鋼市場穩にして常態に近し(三三)
- 一三、五月中獨逸鉄鋼輸出入均衝上有利(三三)

五、鐵鋼市況(其の二).....115

- 一、製鋼業保護を目的とする英國(三五)
- 二、英國市場建築界と運命を共にす(三六)
- 三、英國工業界に於ては關稅改正を再び追求せむとす(三九)
- 四、佛國スチール・メーカー夏期に拘はらず可成多數の注文を把持す(四三)
- 五、大陸方面鉄鋼業活況(四三)
- 六、英國鋼材生産費の將來に於ける低減確實となる(四四)
- 七、獨逸五月中輸出入額減少(四六)
- 八、獨逸製鋼業者新輸出割當額を有利とす(四七)
- 九、歐洲大陸市場強固(四五)
- 一〇、英國産鋼材大陸工場に迫らんとす(四五)
- 一一、英國輸出相場變化僅少(四五)
- 一二、佛國鉄鋼貿易順調(四五)
- 一三、英國鉄鋼業界好調(四五)
- 一四、白國鋼材取引は緩漫なるも工場方面に於ては注文殺到す(四五)
- 一五、多數注文英國工場に向けらる(四五)
- 一六、英國鋼材取引界一般に希望に滿つ(四六)
- 一七、獨逸に於ける鉄鋼工場發展緩慢(四六)
- 一八、英國鉄鋼販賣高輸出方面に於て秀づ(四五)
- 一九、英國鋼材市場小口注文のため多忙を極む(四六)
- 二〇、獨逸國內市場強度のストランプに陥る(四九)
- 二一、白國に於ける鋼材市場前途益々有望(四七)
- 二二、歐洲鐵

鋼價格表(一七)

一六、統 計(其の一).....115

- 一、六月中合衆國の鉄産額(七五)
- 二、一九二七年中合衆國の電氣鋼産額(七五)
- 三、一九二七年中南濠洲の鉄産額(七五)
- 四、五月中ルクセンブルクの鉄産額(七五)
- 五、一九二七年中印度支那の礦物産額(七五)
- 六、一九二七年中智利の石炭産額(七五)
- 七、昨年度(一九二七年—一九二八年)中印度の鉄輸出(七五)
- 八、昨年度印度の礦物輸出(七五)
- 九、昨年度印度の燃料輸出(七五)
- 一〇、昨年度中加奈陀のニッケル輸出(七五)
- 一一、五月中佛蘭西の燃料産額(八〇)
- 一二、五月中佛蘭西の鉄産額(八〇)
- 一三、五月中白耳義の石炭及鉄産額(八〇)
- 一四、本年前半期の英國鉄鋼外國貿易(八二)
- 一五、佛國鉄産生産額レコードを作る(八七)
- 一六、ルクセンブルク生産額増加(八九)
- 一七、佛國鐵礦石採掘減(八九)
- 一八、佛國鐵炭生産額増加(八九)

一七、統 計(其の二).....115

- 一、世界の船舶(九五)
- 二、自一九一九年至本年五月合衆國に於ける産業生産高、工場傭役人員及資金支拂高相互の増減指數(九)
- 三、合衆國主要製鋼所の所得高比較(一〇〇)
- 四、五月中白耳義及ルクセンブルクの石炭及鉄輸出(一〇三)
- 五、六月中獨乙の鉄、鋼産額(一〇三)
- 六、五月中佛蘭西の燃料輸出(一〇四)
- 七、五月中佛蘭西の鉄鋼石産額(一〇六)
- 八、西班牙領モロッコの鉄産輸出(一〇七)
- 九、五月中ザールの石炭産額(一〇七)
- 一〇、漢堡及アルトナの英國炭輸入額(一〇八)
- 一一、六月中ルクセンブルクの鉄鋼産額(一〇八)
- 一二、獨逸に於ける生産額増加(一〇九)
- 一三、佛國本年上半年期中鉄産生産額レコードを作る(一一)
- 一四、ルクセンブルク本年上半年期中生産額増加(一一)
- 一五、白國鉄鋼生産額新レコードを作る(一一)
- 一六、

- 白國輸出額増加(三六) 一七、北米合衆國本年度上半期鉄鐵生産の趨勢(三七)
- 白耳義の石炭鐵鋼産額(三三) 一九、本年前半期中ザールの鐵鋼産額(三三) 二〇、本年前半
- 期加奈陀の鐵鋼産額(三三) 二一、本年前半期中伊太利の鐵鋼産額(三三) 二二、六月中獨乙
- の輸出(三四) 二三、七月中獨乙の鐵鋼産額(三六) 二四、六月及七月中合衆國の鋼産額
- (三七) 二五、七月中ルクセンブルグの鐵鋼産額(三六) 二六、本年前半期奧太利の石炭産額
- (三六) 二七、七月中漢堡及アルトナの石炭輸入(三九) 二八、六月中ザールの石炭産額(三九)
- 二九、世界滿鐵産額(三九)

附 表

一、主要生産國の鐵鋼産額

二、全 輸出入産額

三、本年上半年期合衆國主要鋼材品別輸出國別表

四、全 上

歐洲炭礦業の時間及賃銀表

- 五、歐洲炭礦業に於ける坑内労働者の作業時間
- 六、歐洲炭礦業に於ける坑外労働者の作業時間
- 七、歐洲炭礦業に於ける賃銀勘定書總計内譯
- 八、純貨幣賃金と其他所得

九、貨幣賃金以外の各種所得の比率

- 一〇、一九二五年に於ける歐洲炭礦業各種労働者銀賃所得表
- 一一、歐洲炭礦業各種労働者相互の所得合計比較百分比
- 一二、各種労働者相互の作業交代數(日數)比較百分比
- 一三、歐洲炭礦業に於ける作業交代數及日數
- 一四、歐洲炭礦業に於ける事由別並に職別缺勤延人員數
- 一五、一九二五年に於ける缺勤數百分比
- 一六、歐洲炭礦業に於ける労働者平均數とフルタイム労働者數
- 一七、労働者平均數に對するフルタイム労働者の百分比
- 一八、職別労働者數百分比
- 一九、歐洲炭礦業に於ける一交代當り及一日當り平均所得高比較百分比
- 二〇、同 一時間當り平均所得高比較
- 二一、歐洲炭礦業に於ける一交代當り(Man-Shift)一日當り平均所得高
- 二二、歐洲炭礦業に於ける一時間當り平均所得
- 二三、歐洲炭礦夫實際所得比較指數

安徽省の一部地質調査報告

(十五年九月二十三日より十月十七日に至る廿三日間の支那地質調査所技師李捷の踏査報告)

概要

支那地質調査所にては北京政府の首腦の變換に拘はらず戰亂の稍平靜に歸する間隙に乗じては熱心に支那全國の地質調査を推しつゝあり別紙は安徽省に關する者なるか同調査には潛山縣内鐵礦の事を記述しあるを以て抄譯せり其鋼産に關する内容を略記せん

一、本報告者たる李技師の踏査したる區域中に産する礦物二種あり一は鐵礦にして一は石炭なり

一、鐵砂は潛山縣内の潛河及び後河にて採取し鐵砂の發生來源は兩河の水源嶺の花崗岩及び片麻岩の風化作用を受けて溶解流出したるものにして花崗岩より十分の七片麻岩より十分の三を解出し右兩河の鐵砂を農閑期中土人が淘洗して其の用に供する煉鐵爐二十餘基あり潛山縣内のみにて毎年生産する熟鐵は約百六七十萬片に達し目下は右熟鐵は鍋釜其他の日用器具製造用に供すと云ふ

一、鐵礦石は懷寧縣内の黃土山、頭山、貓山、虎形山に産し就中黃土山の産鐵石最優良なれとも品質に不同あり民國六七年頃豐寧公司は貓山の北麓にて試堀を行ひたるも結果不良にして停工せり其他の産鐵は貧鐵なり

一、無烟炭は其產地頗る廣く集賢關一帶百子山の東北麓黃梅山の南麓楊氏祠堂長安嶺一帶より分龍嶺頭山泉水山等に産し昔年採炭したることあれとも今は何れも休業せり

以上

昭和三年六月廿六日

井原囁託

(甲) 調査範圍

安徽省地質調査の繼續にして其豫定線路は原と東流、望江、宿松、太湖、懷寧、潛山、桐城、廬江等の八屬なりしも時に適々潯陽以上は戰雲彌漫して形勢緊張界内の東流、望江、宿松、太湖の四縣は皆な江濱に臨み湖北江西に分接して軍事區域に近く旅行不可能ならんことを恐れ原定の路線を變更し其の較安穩の處即ち懷寧、潛山、桐城、廬江等の各縣を先に調査を行ひ此四屬の調査の完結を俟ち長江の局勢安穩に至るを得ば再び豫定線路の調査を推進行して功を全ふせんことを期し民國十五年九月廿五日安慶より出發し沿途調査を遂げ十月十七日始めて懷寧、潛山、兩縣の地質を調査完了せり爰に兩旬に亘る地質鑛産の所見情形を簡略に報告す。

(乙) 地形概況

安慶より北二十里を集賢關と爲す、其間俱に沿江積成の階級の地となす丘陵起伏し其地質を考ふるに率ね一種の淺黃紅色の粘土にして、時に灰白色の粘土を夾雜す其高度を視るに宛も同一水平の如きも實は山嶺に近くに從ひ高度益々増加す、氣壓計を以て測算するに集賢關

附近に在るものは安慶一帶の同一階級地面を抜くこと約二十五米突餘集賢關を逾て山嶺分布の區に入るときは峰巒林立脈々相連り、巍然として大江北岸に挺峙して東北西南の狹帶狀形を呈し西南は懷屬の懷溪に起り東北に向て蜿蜒として桐城廬江に入り北は潛山と西は太湖の境内の諸山と俱に相連らす懷寧に屬する一段は東西長さ約百里南北長さ約六十里其脈絡連貫の狀を按ずるに南北二支脈に分つべし、兩ながら相併行し南支は西南石牌より起り東北瞎子山を逾て原野の中に没す、百子山黃梅山抱門山蜈蚣山梁山玉屏山連魚尖の諸峰を以て著はし高さは二百餘米突乃至五六米突等不同なり、北支は西は頭山より起り東北大龍山を逾り延て桐城の南境に入る中に大龍山の高度を以て最高と爲す約九百餘米突、次は頭山焦山磨々山烏頭嶺活龍嶺大橫山等高度俱に二百乃至三百五十米突の間に在りて平均の高度は南支界に遜る二支脈の間は幅約二三里の廣谷にして谷は沖積の分佈する所なり、谷の所在は殆んど皆花剛岩の暴露の區と爲す即ち沖積薄積弱の處は即ち花剛岩の露頭と爲す、但し露出部は多く風化作用を受くること深く散沙の如し捶扱を待たずして手を以て之れを捻るときは則ち碎粉と成るなり、北支の北は平原を以て接し潛山縣治は馬潛山の西北二十里に在り、安徽皖山脈即ち秦嶺尾閭の主幹山脊を爲す東北西南向を取りて集賢關大龍山一帶の山嶺と相平行し

層疊嶂展佈殊に廣く潜山所屬は其南麓に當り就中皖山の主峰を以て最高と爲す、高さ海拔約千五百米突以上にして崢嶸特に秀るを群山と爲す潜境の山嶺に冠たり、多く東西に縦列し西北に微偏し東南向し潜河後河の諸水も亦皆天然の形勢に循て東南に向て流る潜河の源は界嶺の南麓に發し東南流して來榜河五河水吼嶺を経て、野人寨に至て一山を出て南流し潜山城西を經、界嶺は潜山霍山兩縣分界の嶺なり、即ち皖山山脈の軸部に於て嶺南の水は江に入り嶺北の水は淮河に入るを以て亦江淮間の分水嶺也後河の源は其東に在り烏石堰より山を出て南流して大窪嶺を過ぎ潜河と會同して江に入る此れ懷潜地形の大略なり。

(丙) 地層系統

此行見る所の地層の最も古き者は太古界片麻岩系となす、次は志留紀石英層而して下石炭紀灰岩層而して二疊紀煤系而して二疊三疊紀を灰岩層而して侏羅紀煤系最新は第三紀紅砂岩層と爲す其分佈範圍は片麻岩系を以て最廣と爲す茲に各層岩石の性質及び露頭狀況を分別して下に述ぶ。

(一) 太古界片麻岩系 本系は雲母片麻岩角閃片麻岩及花剛質片麻岩を以て主となす、偶々雲

母片麻岩其間に夾雜す、但し其量頗る微にして片麻岩晶粒に粗細の別甚たしからず片理清晰層片亦た極めて整齊し上部の晶粒細緻風化較々深く下部の晶粒較粗にして、且つ常に花剛岩と相接近し堅度較強く火成岩の本系に侵入する者種類頗る多く脈狀を成す者は偉晶花剛岩となす、角閃岩長英岩等の塊狀を成す者を肉紅色花剛岩及び花剛班岩と爲す、花剛班岩は毎々花剛岩の邊境に當り常に片麻岩と相接觸し其の花剛岩との關係は殊に界劃し難し此れ殆んど岩漿上湧時に花剛岩と花剛班岩とは同一源にして侵入する處の深淺と主体を距る遠近に因り岩性に逐次變異の觀を呈するが如し、花剛岩は本系内に在ては暴露頗る廣く北は界嶺に至り南は墊脚嶺に至る西は潜山を越えて霍山に入り東南は銀湯石に至り東北は延びて桐舒の界内に入り南北廣約六十餘里大凡そ東西向を作す、其上湧地帯は皖山山脈の軸部に適當し片麻岩の其北に在る者は多く東北に傾向し、其南に在る者は則ち南西或は南東に向ひ南北層向相背きて外斜層を爲す、是れ此部山嶺の構成は誠に花剛岩と密接の關係あるが故なり、本系の展播範圍は至て廣濶なる潜山北部山嶺となす北は霍山に至り西太湖に接し東は桐舒の界上に至り全く片麻岩露出の地たるなり。

(二) 志留泥盆紀層 本層の露佈地域は片麻岩系の南約五十里に在り、中間は全部沖積の分佈

する所にして其片麻岩と如何の關係あるやは窺知するに由なきも、但た雙方地層の狀況を比較するに南方に在る者は新地層に比較して、概ね左に向ひ北の片麻岩に在ては則ち南に傾向す、雙方新舊地層相向ひ且つ皖山南麓潛山の一段に在ては片麻岩の上は即ち最新の第三紀紅砂岩と爲す、其の片麻岩及び第三紀間各地層に於ける界は均しく缺けて完備せず此れを以て之を推すに極大斷層其間に介在するなり、本系は懷寧一帶に在ては厚度大に減じ含む所の岩層は江南にて見る所と概ね相似たり、上部と下石炭紀灰岩と隣接する所は白色の硅質砂岩となす、厚約百米突許下部は黄綠色の細質砂岩、砂質頁岩、淺灰綠色頁岩白色砂岩及び黄色細質砂岩と爲す、相互層を成し厚約三百餘米突合計約四百餘米突之を江南にて見る所の者と比するときは動もすれば七八百米突もあるを以て其差相當大なり、其分佈は百子山黃梅山頭山等の處にある者は上下岩層俱に備はり抱門山南の兩小山且濟嶺の小山長安嶺の西山より分龍嶺の猫山等の處に在ては何れも上部岩層に屬し其花崗岩と接觸する處の岩石は均しく變質作用を顯はし百子山黃梅山一帶の如きは一部分頁岩は已に變じて板岩と爲り上部砂岩は則ち變じて石英岩と爲る。

(三) 下石炭紀石灰岩層 本層は厚層狀灰黑色灰岩にて組成し志留泥盆紀層の上に位し紡錘虫

の化石を含むこと頗る多く、含化石帶の下には石結核頗る多く其厚度等からず、百子山東北に在る者は厚約百五十米突黃梅山の北麓及び集賢關一帶に於ては厚約百米突許其餘の且濟嶺附近に在る者の如きは其厚度著減じて厚さ僅かに三四十米突のみ。

(四) 二疊紀煤系 本系は下石炭紀灰岩の上に位し不連續狀態を呈し含有する岩層は之れを上二部に分つべし、下部は黑色砂質の頁岩細質砂岩及び板狀頁岩と爲し其間に灰黑色灰岩の薄層を夾む上部は黑色頁岩灰色細質砂岩及び土灰色頁岩等と爲す、全系の厚さ約百六七十米突なり此の旅行中に且濟嶺附近の土灰色頁岩中にて頂部を距る三十米突足らずの處にて *Gastrioceras* 動物の化石を採取したる事多數なり、此系は各百米突内外の小山を組成し百子山黃梅山の東麓楊氏祠堂長安嶺の間抱門山且濟嶺一帶より分龍嶺頭山泉水山等の如きは何れも其分佈の處なり。

(五) 二疊三疊紀薄層狀灰岩 本層は二疊紀煤系の上に位し連續狀態を呈す含む所の岩層は薄層狀灰色灰岩を以て主となす、底部と煤系と隣接する處の層更に薄く灰岩の層片厚約一二センチメートル其間に土黄色灰質頁岩及び頁狀灰岩を夾み此部の厚約四十餘米突此部の上の層は較厚く灰岩の層片二三センチメートルより一デシメートル許中に仍ほ夾むに頁岩の

薄片を以てす、厚約八十餘米突是れ中部と爲す上部を厚層と爲す灰藍色を呈し厚約百二十餘米突此種の情形は抱門山にて見る所を以て最も明晰となす、各處にて見る所の厚度同じからず百子山玉屏山甘露庵及び抱門山集賢關等の處に見る所の厚度約二三百米突の間にあり、楊氏の祠堂長安嶺一帶及び且濟嶺附近に見る者層較薄く厚約百米許其花崗岩と接近する處は均しく變じて白色大理岩と爲り、玉屏山甘露庵長安嶺一帶より大龍山の東脈小白廟附近に至る一帶は均しく最も顯著なり餘は集賢關馬鞍山瞎子山黃梅山の北麓も亦た俱に變質の狀を顯はすも前數處の如く烈しからず。

(六) 羅紀煤系 本系は二疊三疊紀薄層狀灰岩の上に位し不連續狀態を呈す所括岩層は三部に大別すべし、下部は淺紫色厚層狀の砂質頁岩及び薄層狀の黃黑色頁岩と爲す中間に細質灰色砂岩及び砂質頁岩厚約九十餘米突中部は紫色厚層狀細質砂岩砂質頁岩となす時に灰綠色細質砂岩其間にあり、厚約百五十餘米突上部は初め厚層狀灰白色粗砂岩となす時に礫石の其間に散布するあり、但し礫石は散漫にして不定層を成さず礫石は多く石英岩の製成する者と爲す、徑長さ一二ミリメートルより一二センチメートル等不同なり此粗砂岩の上は即ち灰色にして較々細き砂岩と灰黑色砂質頁岩黑色頁岩と相互に層を成す炭層は即ち此れ

に儲藏する者なり、厚約百五十米突以上其上は沖積層の掩ふ所にして其全豹を窺ふ能はざるも其露出する者に就きて之れを量るに已に百五十米突に達し全部の厚さ約四百尺に達す、此二疊三疊紀薄層灰岩と接觸する處は今回見たる所にては馬鞍山の北脈を以て明瞭となす、灰岩の上は即ち直接淺紫色砂質頁岩となす其間に漸變したる處なく連續の象を呈す且つ二者の傾向は尙ほ稍々同じからず、灰石の傾向は北二十度東傾角三十度頁岩の傾向は北三十度東傾角四十度にして顯かに灰岩成岩の後繼たるものにして相當侵蝕を受け始めて侏羅紀の沈積あり侏羅紀煤系未成以前に在りて地殼に大變化なかりし者に過ぎず、故に侏羅紀煤系沈澱の後灰岩層向と尙ほ能く一致に近し其分侏の地は磨々嶺活龍嶺烏頭嶺夏家沖倪家沖峽山口等の處の如し。

(七) 第三紀紅色砂礫岩層 此層は紅色鬆粗の砂岩及び礫石の組成する處となす、礫石は多く片麻岩、石英岩、花崗岩の製成する所にして徑長さ一二センチメートル乃至一デシメートル餘等不等其の沈積の地は潜山縣の西北十五里金家墩蓮花帶塘一帶に最も發育す傾向は北十度西傾角五度片麻岩層の上に整合せず、潜縣の西北三十里劉河にて見る所を最も明晰と爲す、又た潜山縣南郷土桑樹附近も亦た小片の露頭あり傾向西北傾角極めて緩にして約五度

に及ばず跡水平に近し、此層は何れも岡阜小丘を組成し侵蝕較甚だしき處は即ち夷にして平地と爲る此岩の性質狀況を見るに前に大通にて見たる所と相似たり尙ほ第三紀に屬する物也。

花崗岩 本範圍内の花崗岩は最も發育し其侵入の地帯は概ね分ちて二つと爲すべし、一は懷甯境内に在る者にして大龍山、大橋頭附近金鈎樹鴿子嶺等の處の如き或は上二疊紀薄層狀灰岩中に侵入し凡そ花崗岩と隣を成す水成岩層の如き變質作用を顯はさざるなし、活龍嶺一帶は尙ほ侏羅紀層の内に侵入す其侵入の時期は當に侏羅紀以後たるを知るべきなり、其成分の大部分は正長石、石英、黒雲母及び磁鐵礦物の少晶粒を含む者となす、一は潜山縣境内に在る者は太古界片麻岩内に侵入し晶粒較々偉にして普通の長石晶粒は約一センチメートル許にして磁鐵礦物を含み片麻岩と其接觸する處は頗る錯亂紛紜の狀を顯はす、此岩の暴露頗る廣く南北廣約六十里東西俱に遠く潜境の界外を逾ふ潜龍の一段に就きて言ふも已に長さ百里其侵入の時期は頗る論斷し難し潜山縣に於て僅かに太古界に侵入するあるのみ。

(丁) 鐵 産 概 況

本區内にて見る所の鐵産に二種あり、即ち鐵鑛石炭是なり石炭は展佈廣しと雖も其炭質優良ならずして發達せず、昔年開採したるものありしも寥々たるものなりしが今は完全に休業せり左に之を分別して記述す。

(一) 鐵 砂 鐵砂は潜山縣の潜河及び後河兩流中に産し俱に磁鐵鑛と爲す鐵砂産出地點は後河は烏石堰以上寨拔山の南麓發源の處に迄及び、延長約百二十里潜河は思茶嶺以上界嶺南麓發源の處迄に及び長約百五十里鐵砂の來源を考ふるに約十分の三は片麻岩中より解出たる者十分の七は花崗岩中より解出したる者此種の鐵砂は均しく細粒を爲して花崗岩及び片麻岩中に散布して脈狀或は層狀を爲さざる者は鐵粒極めて細微目力を以て僅かに之れを辨識し得、鐵粒の片麻岩中に在る者は花崗岩と接近する處に多く遠くなるに従ひ微少なり、此の花崗岩中より解出する鐵砂は後河最も多し試みに後河の鐵路沖以上發源地に至る長さ五十里餘を見るに俱に花崗岩の範圍内に在り、鐵砂の多く目に觸るゝ者は皆な河中に在るにあらずして路傍の田中にも亦た均しく踪跡の尋ぬべきあり、此れ殆んど花崗岩の深く風化を受けて形散砂の如くなり、一たび雨水に洗はるときは即ち四散し遂に流れ去り鐵砂は遂に河流中に入るに因る鐵砂の來源は即ち易く、且つ此段の河道も亦た甚だ廣濶にして

地盤較々高く滯水に易からず、故に河水暴發の後水は即時に退去て鐵砂を淘洗するの方便となり河流の曲折する處に其堆積する鐵砂多量なり、鐵砂の豊富の處にては每人毎日鐵砂百餘斤(二十四兩を一斤と爲す)を淘淨すべしと鐵路沖以下の河道は窄迫し水流湍急龍潭河に至る迄の二十餘里の河中に鐵砂ありと雖も無きと同じく淘洗困難なり實に惜むべしと爲す龍潭河以下は即ち片麻岩區域に入り鐵砂は片麻岩中より來る者ありと雖も量頗る微にして淘洗するに足らず、且つ河中一二淘洗する處あれども龍潭河以上にして沖下の砂は専ら片麻岩中より解出したる者に恃む事勿論なり。

潜河の鐵砂は下五河以上に在り以て來榜河の界嶺に達す、長さ五十餘里其間多く花崗岩に屬し本河中鐵砂産出旺盛の區となす、下五河以下溪埠灘に至る長三十餘里其地は多く片麻岩と爲す鐵砂産出量右に次ぐ溪埠灘以下袁家渡に至る長二十餘里は全部片麻岩の所在地と爲す河中の鐵砂は微量にして採集するの價値なし、袁家渡以下白蟒灘水吼嶺一帶の如き鐵砂の産出亦た多量なり。

郷人の淘沙する時期は一定し居り毎年夏歷(陰歷)九月以後淘洗を始め次年二月に至て停止す、此種の情形は相沿ふこと已に久し一は九月以前は農繁期にして其暇なきため又一は各

煉鐵爐が總て毎年九月以後に開爐操業し次年二月に吹止めを行ふが故に淘砂に従事する者は煉鐵爐の進止と共に進止せざるべからざるに因る。

煉鐵爐壹基に付き廿四時間操業にて生鐵八百斤(十八兩を一斤とす)を産出し、鐵砂約一千三四百斤(二十四兩を一斤とす)を要し生鐵一斤にて熟鐵一片(十六兩を一片とす)を産出す、煉鐵用燃料は木炭を用ひ二十四時間の操業に木炭二千八九百斤(十六兩を一斤とす)乃至三千斤を使用す。

鐵砂一斤(廿四兩を一斤とす)の代價は制錢(一厘銅錢)十四文にして熟鐵の當地相場は銅元十四枚(壹仙銅貨十四枚)木炭一斤の相場は制錢十四五文なり、此鐵の大半は江淮一帶にて販賣せられ農具或は飯鍋及び日用器具製造用に供せらる。

潜山縣内に煉鐵爐十六基あり、此れは毎年操業する者にして此外操業不定の者四五基あり煉鐵爐一基が一ヶ年中五ヶ月間操業する者として計算するときは、熟鐵十餘萬斤を出すを以て此を以て推算するときは潜山一縣にて毎年熟鐵百六七十萬斤を産出す、此外霍山舒城太湖の諸縣にも亦た砂鐵を産出す。

(二)

鐵 鑛

此鑛は懷寧屬の黃土山、頭山、猫山、虎形山等に産し、鑛石は志留紀石英岩中

に生ずる鑛脈斷續常なし、猫山の東尾根は大塊の花崗岩と爲す以て本鑛の成因が花崗岩と密接の關係あることを知るべきなり、此れ蓋し花崗岩堀起の際含鐵氣質と溶液とが適宜の處に隨て遂漸停積し凝結して鑛脈を成す者なり、此鑛質分は黃土山を以て最優良となすも惜むらくは品質優劣等しからざるを缺點とす、民國六七年間豐寧公司猫山の北麓にて試掘を行ひたるも結果不良にして遂に停工せり、頭山、猫山、虎形山等は多く貧質鑛に屬し縦ひ貯鑛量豊富なりとするも終に重大の希望なきものなり。

(三) 疊紀無烟炭 此の石炭は二疊紀煤系の内に産し、産地頗る廣く集賢關一帶百子山の東北麓黃梅山の南麓楊氏祠堂長安嶺一帶より分龍嶺頭山泉水山等は均しく産炭の地となす、惟た俱に昔年開採する所の者にして今已に全く休業せり見るべき者は祇た廢坑の遺跡あるのみ、但し曾て坑夫たりし者の云ふ處によれば本系は懷寧一帶に在て曾て石炭三層を見第一層を岩口と名け厚さ一二尺炭質頗る劣僅かに石灰焼用に供すべし、第二層は仰脚排と名け厚二尺炭質較佳第一層を距ること六丈、第三層は擗槽と名け厚二三尺乃至四五尺等不同にして前二層に比し炭質佳にして第二層を距ること二十丈なり、質の如何は標本炭を採取すること能はざるを以て其實際を知ること能はず、外部の構造に就きて論ずるに集賢關一帶

甘露庵長安嶺楊氏の祠堂等の地の含炭地層は均しく甚だ平整廣濶にして大に徹底鑽探の價値あり、但し本炭田の價値如何を知らんと欲せば鑽探に依るに非ざれば其究局の處は知るべからざるなり、此外瞎子山抱門山且濟嶺分龍嶺等或は面積過小或は花崗岩湧擠の影響を受け良好の炭層其間に蘊蓄せられ居るとするも亦た重要な位置を認め難し。

(四) 侏羅紀無烟炭 無烟炭は俗に柴煤と稱す、意は燃燒して薪に代用すると云ふなり本炭田は東西延長二十餘里南北廣約四五里俱に懷寧の所轄なり、民國十二三年間に大正公司が夏家沖に於て土法を以て開採したるも炭質良好ならずして發達せず遂に休業せり、又た峽山口、倪家沖も亦た曾て土法にて開採せられたるが本系内にて已に開坑せられたる處三箇處あり均しく炭質不良なるを以て休業せり、此の行中峽山口及び夏家沖の廢坑堆積物中より侏羅紀の植物化石數種を發見せり、傳ふる處に據るに本炭田にては曾て炭層一層厚二三尺の者を見たるも炭質中等にして佳良ならず石灰焼用に供し得るに過ぎずと云ふ。

(以下省略)

合衆國の歴延工場能力

「アイアン、エーザ」一九二八年八月二日

合衆國製鋼地を十二に區分し各地に於ける主要鋼製品の生産能力と其の比較

概要

- 一、合衆國各種製品歴延能力
 - 一九二二年十二月一日現在 一四三三五萬七千八百四十五噸
 - 一九二八年一月一日現在 一五二二九萬六千噸
 - 増加率 二割一分
- 二、合衆國鋼塊生産能力
 - 一九二二年十二月一日現在 一五五五二萬二千噸
 - 一九二八年一月一日現在 一五九九七萬三千噸
 - 増加率 八分
- 三、全國中各種製品生産能力の最も大なる地方をピツバーグとし次を市俄古地方とす

附表及附圖

 - 一、一九二八年一月一日現在合衆國鐵鋼歴延品の年生産能力、工場數等地方別
 - 二、各地方の歴延品生産高細別比率
 - 三、各地方に於ける各種鋼製品の生産割合
 - 四、製鋼地見取圖
 - 五、各地方の主要製品と總生産能力に對する各地方の能力比較圖
 - 六、各製品に對する各地方の生産能力比較圖

三年前のアイアン・エーデー一月號紙上に各種鋼壓延工場の所在地及其の能力を示す表及地圖を掲載せり該表には各種製品壓延能力を細別し、各地方の各工場に於ける各種製品の生産能力を示したり、當時の調査に依れば一九二二年十二月一日現在の壓延能力總計は四三、一五七、八四五英噸と計算せられたり、同様に最近の數字に關する調査を再び茲に發表す、數字は總べて關係會社（二百以上）の立證と訂正を経たるものにして出來得る限り一九二八年一月一日現在の情態を示せり、左表及圖解は、各地方の各種製品に對する能力を示せり、能力總計は五二、一九六、〇〇〇屯に達し五年前に比し二一%を増進せり、製鋼地方の區劃は稍々ルーズの感ありと雖、左圖に示す通りなり。

圖解の一は、主要製品九種の生産高に關し各地方の能力の輕重を圖示するものにして各圖の大きさは、各種製品の生産能力の比率を他と比較せるものなり。

ピツバルグ地方は各種製品の生産能力に於て優勢の地位を占む（但しレールを除く、レールの生産能力は市俄古地方を第一位とす）、ピツバルグ地方の生産能力は、シートに於ては總額の二割五厘、管類に於ては四割四分を占め、各種製品を總括して全國生産能力の二割六分九厘を占む、市俄古地方はレールの生産に於て主位に座し全國總計の三割三厘を占む（ピツ

バルグ地方は二割三分四厘を占む）又圖解は、各地方の能力を細別して主要製品の生産能力を各別に比較せり。

各地方は大抵、棒鋼を以て主要製品と成し東部地方に於ては全製品生産能力中約七割六分、オハヨ河地方に於ては下つて一割二分を占め最少とす。

フィラデルフィア地方に於ては厚板を以て主要製品となし、ホイーリング地方及オハヨ河地方に於ては薄板を主位に置けり、特にオハヨ河地方に於ける薄板の生産能力は總額の六割五分以上に達す、ホイーリング地方の生産能力の大半は、薄板と鉄力板とを以てす。

壓延品能力の總計は一九二二年末の能力に比し二割一步を増加し五千二百十九萬六千屯に達したるも、此等諸工場の鋼塊生産能力に於ては斯くの如き増進率を見ず、其の現在の生産能力は五年前の五五、五二二、〇〇〇屯に對し五九、九七三、〇〇〇屯にして僅に八分の増進を示したるに過ぎず。

鋼塊生産高と壓延品生産高との割合を七四%（過去五ヶ年間に鋼塊に依り生産せられたる製品の生産高比率）と計算せば前記の鋼塊能力は、製品能力約四四、四〇〇、〇〇〇屯を要求することゝなるも前記の壓延能力は此の額を超ゆること一割七分五厘なり、然れどもこは

要求額毎年不同なるを以て、自然の状態に従ふものとす、而して壓延工場は常に蓋然的要求總額を超過すべきものなり。レール工場の多忙を極むる時期は年間僅に數ヶ月を數ふのみにして一年中の大部分を徒手空過す、其の他の製品工場に於ても同様なり。
 本年五月十七日發行アイアン・エーヂ、一四〇一頁に發表せし各種製品に對する生産能力と生産高數字とを以てすれば一九二七年中利用せられたる能力の平均割合は概ね次の如し。

線	管	鋼	厚板	形鋼	薄板	錫力板	管類	線材	素線 (net ton)
製造能力	製造能力	製造能力	製造能力	製造能力	製造能力	製造能力	製造能力	製造能力	製造能力
六二%	五六%	八三%	三二%	六二%	八一%五	七二%五	六二%		

一九二八年一月一日現在合衆國鐵鋼壓延品の年生産能力

(壓延製品生産額細別千英屯單位)

地方	工場數	鋼塊計	壓延品計	レール	剪斷及ニバーサ トルブレイ 形鋼	建築用 トバー バンド プレート	ワイヤ トワイ ワイヤ プレート	錫力用 板	管類	線材	素線 (net ton)
A 東部	二元	五四七	八八	一	四	六二八	一	三〇	一六六	二二	
B フイラデルフィヤ	五八	七、四八	六、三六	五八八	一、六五五	一、四五六	一、三三四	一八二	三六六	三四	
C ピツバーク	七六	一五、一〇一	一四、〇四	一、〇五八	一、八四〇	一、五三三	三、八七九	一、三二七	六九七	三、四八	
D ヴァレー	三〇	七、六四	六、〇六七	一	六四五	二、七三	一、〇八九	四七	八七〇	二、七〇	
E ピツファロー	一八	二、六七八	一、九八三	四〇〇	一〇〇	九二六	一、三〇	一	一七	一七	
F クリーブランド	三三	六、一三六	四、八八九	二〇七	二五五	二、一六五	一、〇三六	六五	六三三	一〇〇	
G オハヨ河	一六	一、八九八	一、四〇二	一一	一	一七二	九五九	一	一	二〇	
H ホイーリング	三〇	三、〇〇八	二、五〇〇	一	二六〇	五三九	六九六	六〇八	四七	一	
I 南部	一四	一、七九七	一、五八四	四三	一九八	五六六	九二	一	一	二四八	
J 市俄古	四八	一一、二八一	一〇、二二六	一、七三五	一、五五六	三、七〇〇	五三二	二七二	七三八	一、〇〇八	
K セントルイス	九	七四〇	八二四	一	二二八	三九五	八六	六七	一〇〇	一〇〇	
L 西部	二二	一、六五	一、五五七	三六〇	五	七二七	六六	...	一六四	一八四	
合計	三二二	五九、九三	五二、一九六	四、五三〇	六、六五三	四、四八九	一七、七三	六、四二七	二、三六二	五、五三	四、四六五

地方名	鋼塊	歴延品	レール	剪断及ユニ ニバーサル プレート	建築用 形鋼	パイプ バンド パイプ プレート	鉄力板 用黒板	管類	線材	素線 (net ton)
A 東部	0.92	1.59	—	—	0.09	3.53	—	0.54	3.72	4.93
B フィラデル フィヤ	2.92	2.33	2.7	24.88	3.47	7.50	7.71	7.01	7.95	7.77
C ヒツパーグ	2.55	2.69	2.35	27.66	3.13	22.82	29.49	43.95	29.23	28.18
D ヴアレー	2.72	1.62	—	9.70	—	15.33	19.94	15.81	6.05	5.47
E バツファロー	4.47	3.00	8.83	1.50	5.57	5.22	—	—	3.96	2.33
F クリーブラ ンド	10.33	9.33	4.57	3.83	—	22.8	22.5	22.51	10.26	11.15
G オハヨ河	3.16	2.00	2.45	—	—	14.92	—	—	4.93	4.87
H ホイーリン グ	5.53	4.85	—	3.91	—	10.83	25.75	7.76	—	—
I 南部	3.00	3.00	9.56	2.98	1.07	3.03	—	—	5.56	6.72
J 市俄古	1.81	1.95	3.03	2.98	2.07	20.99	22.52	13.42	3.44	24.05
K セントルイス	1.33	1.66	—	1.92	0.84	2.23	2.84	—	2.24	—
L 西部	2.69	2.98	7.95	0.08	5.46	4.03	—	—	3.67	4.33

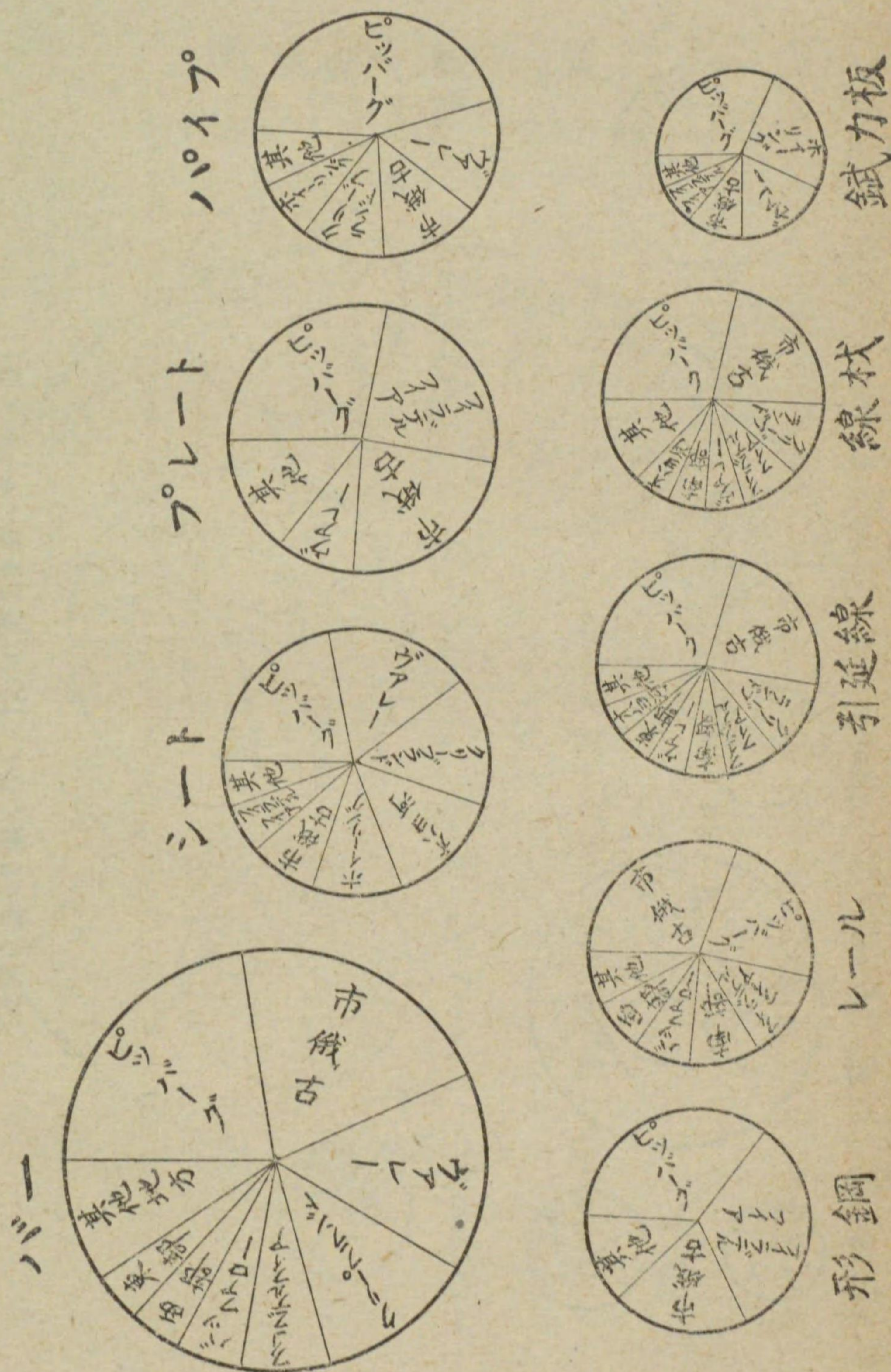
各地方に於ける各種鋼製品の生産割合

(合衆國總産額に對する各地方の比率)

地方名	歴延品	レール	剪断及ユニ ニバーサル プレート	建築用 形鋼	パイプ バンド パイプ プレート	鉄力板 用黒板	管類	線材
A 東部	100	—	—	0.5	75.8	—	—	10.1
B フィラデル フィヤ	100	9.2	25.9	3.8	20.9	6.7	2.9	6.0
C ヒツパーグ	100	7.5	13.1	10.9	27.6	9.4	5.0	17.2
D ヴアレー	100	—	10.6	—	44.9	17.9	7.8	14.3
E バツファロー	100	10.2	5.0	2.6	46.7	6.6	—	—
F クリーブラ ンド	100	4.3	5.3	—	44.9	22.5	1.4	13.1
G オハヨ河	100	7.6	—	—	11.8	65.6	—	—
H ホイーリン グ	100	—	10.3	—	22.3	27.5	24.0	16.9
I 南部	100	27.3	11.5	3.0	35.7	5.8	—	15.7
J 市俄古	100	13.6	15.5	9.0	36.8	5.2	2.7	7.3
K セントルイス	100	—	15.7	4.6	48.6	10.6	8.2	—
L 西部	100	13.1	0.3	15.7	46.1	4.3	—	—

各地方の歴延品生産高細別比率

各製品對ニ地方ノ生產能力割合



露西亞の炭鑛業及鐵鋼業

The Iron & Coal Trades Rev., July 20, 1928.

本評論は佛蘭西冶金工業委員會報を土臺として論じたり同會報所載の數字は總べて官邊又は民間に於ける露西亞の諸種出版物より再録せることを附言す

- 一、緒論
- 二、石炭の生産状態と輸出
- 三、鐵鑛石の資源と生産状態
- 四、滿掩鑛の生産状態と輸出
- 五、鐵鋼業の状态と獨逸人の投資
- 六、結論

附表

- 一、一九一三年より一九二七年に至る露西亞の石炭、骸炭、鐵鑛石、滿掩鑛、銑鐵、鋼及壓延品の生産高
- 二、地方別に依る露西亞の石炭産額

一、昨年度中に於ける露西亞の生産状態は數年前に比し増進し居るにも拘らず尙之を戦前の産額に比すれば一般に及ばざること遠し、戦前大を成せる生産状態は、新政体の當初數年間中は極度に低落せることを記憶せざるべからず。尙目下産額は消費額に順應せず、或る工

業に於ては不足を生じ一方に於ては夥しき剰餘を見るものあり、諸工場に於ける修繕作業は不十分にして設備の減損を防止することを得ず、顧みれば、工場の修繕又は擴張に多額の費用を投ずるに至りたるは僅々一昨年以來なり、特に獨乙人は露西亞内の産業樹立に十億馬克の大投資を行へり。

二、石 炭

ソヴェエツト政府統計の數字多様なるか爲め炭鑛業の状態を精確に觀察することは困難なり、然れども月産額數字の合計に依れば一九二六―二七年に於ける石炭の生産額は一歩を進め、前年の二四、四二四、七〇〇噸より三〇、九三〇、〇〇〇噸に増進し即ち二七%の増加を示したり、これは從來殆んど採掘せられざりし地方の開発に因れり、然れども主要炭田たるドネツツ盆地に於ける産額は一九一三年の産額に達することを得ず。技術的設備の最も發達し最新式設備の施されたるは即ち此のドネツツ盆地の炭田にして其の生産能力は四千五百萬屯に達するも革命以來著しき減少を示し居れり。

然れども此の地方に於ける炭山自身の消費量は減少し一九二〇年に於ける五〇%は一九二一―二三年に至り二五・六%に減じ、一九二六―二七年には九・一%に減じたり（一九一

三年は一三%）、大規模の電氣工場本炭山に建設せられたり。

ソヴェエツト政府の發表に依れば産額は増進し、一九二〇年に於ける坑夫一人當りの年産額は一九一三年の一五〇屯に對し三三屯に落下したるも一九二六―二七年には一三二屯に再び増進したり、截炭機廣く使用せらるゝに至り、此れに依る採炭額は一九一三年には一%に過ぎざりしも一九二六―二七年に於ては總産額中一一・四乃至一七・六%を占むるに至れり。

政府當局はドネツツ盆地の年生産能力を、新坑開發に依りて約一千萬屯を増加するの意圖を有す。石炭の輸出額は一九二五―二六年に於て一九、四九六、〇〇〇屯、一九二六―二七年に於て二四、四六五、〇〇〇屯に達したるが内ドネツツ盆地の分は、一四、三八七、〇〇〇屯と一七、四二二、〇〇〇屯とを算じたり。

三、鐵 鑛 石

鐵鑛石資源に關する最近の見積額は、ソヴェエツト當局の計算に依れば總額六、一九五、〇〇〇、〇〇〇屯に達し内四、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇屯はケルチ半島に、五二五、〇〇〇、〇〇〇屯はクリヴォイロツク盆地に一六七、〇〇〇、〇〇〇屯は亞細亞露西亞に在り。

生産は革命中殆んど休止の状態にありしが一九二五―二六年に於ては三、三〇六、六三四屯の採鑛を見、一九二六―二七年に至りては四、八一六、七〇三屯に増進したり、斯の如く採鑛高は増進を示し居るにも拘らず此れを一九一三年の其れに比すれば僅に其の五三%に過ぎず故に鐵鑛業の進歩は、炭鑛業の示せる進歩に比し尙數歩を譲れり、總産額中、クリヴオイロツク盆地の分は、一九二五―二六年に於て二、三〇九、〇〇〇屯、一九二六―二七年に於て三、五二二、〇〇〇屯に達したり。

四、滿 僱 鑛

滿僱鑛の生産も亦革命中は休止せり。獨逸人の援助に依り生産はニコポール地方に於ては急速なる増進を示し、一九二五―二六年の一、一九〇、〇〇〇屯は一九二五―二七年に於て二〇〇〇、〇〇〇屯に増進したり（一九一三年は二六五、〇〇〇屯）シアチュリ盆地に於ける一九二六―二七年中の産額は一九二五―二六年の三三七、二七七屯に比し二七〇、〇〇〇屯に落下したるがこはニコポール鑛山の競争に壓せられたるが爲めなり。

滿僱鑛の輸出額は漸増を示し、一九二五―二六年に於ける六七二、九〇〇屯は一九二六―二七年に至り七八四、〇〇〇屯に増進したり。

五、鐵 鋼 業

一九二六―二七年に於て特筆すべきは獨逸人の投資が鐵鋼業に與へたる影響にして此れが爲め産額は幾分増大の傾向を生じたるも品質は犠牲に供せられたり。

設備の消耗は漸次増大しつつあり、技術監督者の多數は現存建物の改新に對しては技能不十分なり、政府當局者は云ふ、舊設備を改造するより寧ろ新工場の建設を有利なりとす。

目下エカテクネンスキイ鐵道の沿線に製鐵製鋼所の建設を企圖し之に要する資本を米國に仰かんと努力しつつあり。斯業の財政状態は不良にして、一九二六―二七年度の建設計畫は其の實行を許さざるの状況に在り一九二七年十月一日現在斯業の負債は五億留を超過したり。

外國より購入せる設備は一九二六年に於ては僅に二百四十萬留に過ぎざりしか一九二七年に於ては一躍三千三百萬留に達したり。「ユーゴスタル」トラストは一九二六―二七年に於て骸炭の製造に百二十萬留を増資し之れに依りて生産額を八萬屯より十萬屯に増加することを得たり。鎔鑛爐二基の改造と又從來休止せる十一基の高爐の操業再開に依り銑鐵の月

生産額は十萬五千屯より十六萬屯以上に増加することを得たり。又鋼の産額も十萬屯より十四萬屯に増加したり月産額の數字に依れば露西亞の總産額は銑鐵に於て、一九二五—二六年の二、一九四、六六五屯より、二、九六三、二五三屯（一九二六—二七年）に増加し即ち約三七%を増進せり、鋼塊に於ては二、九一〇、九四九屯より三、五八六、二四九屯に即ち約二〇%の増加を示し、又壓延品に於ては二、二五〇、〇〇〇屯より二、七三〇、五四七屯に即ち約二〇%を増加したり、一九二七—二八年度の計畫に依れば銑鐵三、四一〇、〇〇〇屯、鋼塊三、八六五、〇〇〇屯及壓延品三、〇六〇、〇〇〇屯を生産する豫定なり。

操業中の製鐵製鋼工場平均數次の如し。

	一九二六年—二七年	一九二五年—二六年
鑄 鐵 爐	六八基	五四基
平 爐	一六六	一五二
壓 延 工 場	二四四ヶ所	二四六ヶ所
平 均	四一八	四一八

産額増進せるにも拘らず消費者は十分其の要求を満すことを得ず、加ふるに生産品の品質に關し不平を鳴らすこと屢々なり。ソヴィエツト當局は労働者の賃銀は減額せられたりと主

張するにも拘らず、生産費も亦昂騰を來せり。

六、ソヴィエツト治下十年後の今日に於る露西亞の鐵鋼業は其の他の産業と同様、之を技術方面より見るも、將又財政方面より觀るも共に戦前の繁榮を回復する迄には道尙遠しの感なきにあらざるなり。

附 表

一、一九一三年より一九二七年に至る露西亞の、石炭、骸炭、鐵鑛石、滿俺鑛、銑鐵、鋼及壓延品の生産高 (佛 施)

年 次	石 炭	骸 炭	鐵 鑛	滿 俺 鑛	銑 鐵	鋼	壓 延 品
※ 一九一三年	二五、二七三、三〇〇	四、四三三、三三三	六、三八八、〇〇〇	一、一五五、一三三	四、六三三、六〇〇	四、一五五、〇〇〇	三、五〇八、〇〇〇
一九一四	二六、五七三、九二〇	四、五五二、〇〇〇	四、七九三、三三〇	九〇五、〇三三	四、三三六、五二五	?	?
一九一五	二五、五三三、八八〇	四、一七三、六二四	三、九二二、七八九	五七、一一六	三、六八五、〇一〇	?	?
一九一六	二八、五七七、七六〇	四、四二二、七七二	五、一四九、八七三	二七八、四六〇	三、七九七、九六五	?	?
一九一七	二四、八三三、〇八〇	三、七三三、一七四	三、六三三、〇八四	一六三、八〇〇	?	?	?
一九一八	八、七九六、〇六〇	七〇四、一五〇	三、〇三〇、三三〇	五〇、七五〇	?	?	?
一九一九	五、三三三、五〇〇	四九一、一五〇	—	—	?	?	?

一九〇一二年	四、五三、六四〇	二四、七〇〇	三〇、〇〇〇	—	七四、〇〇〇	?
一九二一—三	一〇、三〇四、七〇〇	三二、一三三	四〇七、〇〇〇	二〇八、〇〇〇	七六、四九六	一九、八七二
一九三一—三	一一、四〇〇、〇〇〇	三三、〇〇〇	四三七、〇〇〇	三二一、三三三	三〇〇、〇〇〇	五八、八〇〇
一九三一—四	一五、八二二、〇〇〇	四三〇、〇〇〇	八九五、〇〇〇	四七一、九五	六五三、五六二	九九二、二〇〇
一九四一—五	一五、六三三、〇〇〇	二、五五〇、〇〇〇	二、六〇〇、〇〇〇	五二〇、九六	一、四八、〇〇〇	一、八六三、七九八
一九五一—六	二四、四三、七〇〇	二、六〇〇、〇〇〇	三、〇〇六、三三四	四六一、二七七	二、九四、六六五	二、九〇、九四九
一九六一—七	三〇、九三〇、五〇〇	?	四、八六、七〇三	四七三、三三六	二、九三、二五三	三、五六、四四九
合計						二、七〇、五四七

備考

※ 印は波蘭盆地を含まず
+ 印は假數字

地方別に依る露西亞の石炭産額

(噸)

年次	ドネツ盆地	モスコイ盆地	ウラル盆地	西部シベリア	東部シベリア	合計
一九二一—三年	六、六九、一〇〇	六三、五〇〇	一〇、四一、三〇〇	九三〇、一〇〇	一、一七、五〇〇	一〇、三〇四、七〇〇
一九三一—三年	八、〇九、一〇〇	六七、九六〇	一〇、五五、〇〇〇	七五一、一〇〇	八四、五〇〇	一一、三〇〇、〇〇〇
一九三一—四年	一一、五三、〇〇〇	六六、〇一〇〇	一〇、〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一五、八三、七〇〇
一九四一—五年	二二、〇〇、五〇〇	五〇、六、五〇〇	一一、一六、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一五、三三、〇〇〇
一九五一—六年	一八、八九、一〇〇	七九、九〇〇	一、五五、〇〇〇	一、六九六、一〇〇	一、四三三、八〇〇	二四、四三、七〇〇
一九六一—七年	二六、九六、〇〇〇	八〇〇、八〇〇	九〇〇、〇〇〇	一、三三四、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	三〇、九三〇、五〇〇

露西亞の滿俺鑛

The Iron & Coal Trades Rev., August 3, 1928.

概要

- 一、露西亞の滿俺鑛産額は戦前に於ては世界産額の半數以上に達したれども現在に於ては戦前産額の半數に満たす
- 二、露西亞に於ける滿俺鑛の産地は左の三地方とす
 - 一、ニコポール地方 (Nikopol District)
 - 一、チアチエリ地方 (Tshiaturi District)
 - 一、ウラル地方 (Ural District)
- 三、採鑛設備の不完全と資金の不十分とに依り埋藏量豊富なるにも拘らず産額増進せず
- 四、目下主なる採鑛會社は米國のハリマン商會なるも獨逸諸會社の採掘權を得るものありて兩者競争の狀態に在り事業は概れ外人との提携に依る
- 五、現価格は倫敦着値屯九二志、黒海ボチ港渡八〇志なり

一九一三年に於ける露西亞の滿俺鑛生産高は世界産額の約五割六分を占めたり。同年に於ては露西亞滿俺鑛の主要消費者は獨逸にして輸出總額の中獨逸へ向けられたるもの約二割五分に達したり。英國、白耳義、佛蘭西及合衆國等は次に位せり。露西亞の滿俺鑛産地を分ちて左の三地方とす。

- 一、ニコポール地方（中央露西亞のドニール河岸）
- 二、チアチユリ地方（高加索クリティス政府のシヤラベン地方に在り）
- 三、ウラル地方（ビーローレテスクの近傍）

一、ニコポール地方

此の地方の鑛石は元來主として内國市場に供給せられたるものにて革命以前本鑛石の輸出せられたるものは其の三分の一にも足らざりき、然れどもソヴェエト政府樹立以來其の産額は専ら外國に輸出せらるるに至れり、下りて一九二五年以來其の輸出額は内國需要の恢復に因り減少せらるるに至りれり。

Nicolaiev 港に於ける賣價は一ブート當り（三六・一一封度）三五・ニコベツクスを唱へたり、ニコポール地方の鑛山を採掘する採鑛トラスト“Yuzhno-Rudny”は Maximov 鑛山に於ける新開坑の採鑛繼續に努力を盡し又一方に於てはゴロヂシンスキイ鑛山に供給すべき七五〇KWの發電所を建設中なりしか資金の缺乏を來たせり。機械の購入鑛夫納屋等の建築に多額の費用を要したるか獨逸諸會社の援助に依りて資金を仰き得たり、而して此等諸會社はチアチユリ鑛山を採掘する米國のハリマン商會と競争をなしつつあり。ハマリン商

會はソヴェエト共和國の滿僱生産に對し獨占權を獲得せるかの如き觀あり。事情斯くの如くなるを以て一九二五—六年以來ニコポールの産額は獨逸の「ロツクエントグリュトンフェルド商會」との協定に依り著しく増進したり。事業は總へて獨逸技術委員會の協力に依り實行せらる該委員會は選鑛設備の改善特に從來殆んど利用せられざりし第二、第三品位の鑛石の處理を目的として組織せられたるものなり。一九二六—七年中に於ては總計二四〇、〇〇〇屯の生産を見たり（前年は一三七、〇〇〇屯）内三割五分は南部露西亞の鐵鋼業に使用せられ約四割は輸出せられ残りは「ストック」となれり。

二、チアチユリ地方

本鑛山の産額は一九一三年に於ては九六九、〇〇〇屯に達したるも一九一八年には二六、〇〇〇屯に下り越へて一九二〇年には全然生産を見ざりき。

革命後生産も輸出も共に漸次回復したり輸出は一九二五—六年に至る迄はストックの爲め生産額を超過したるが一九二四年十月一日現在のストック高は二一七、六〇〇屯を算じたり。戦前本鑛石のボチ港（黒海）渡値段は一ブード當り一七コベツクスなりき。

倫敦着値は一單位十一片を唱へたるが現在の價格は一志九片見當あり。戦前の屯當り運賃

は十志なりしが現在は十二志に上れり、故に戦前の價格は倫敦着値屯四六志、ポチ港渡三六志なりしが現在は倫敦着値九二志、ポチ港渡八〇志なり。

チアチエリ地帯に於ける鑛山の大部分は一九二四年八月迄は私人の手に在りき、鑛夫二千五百人の中國有鑛山に働きしもの僅に七百五十人を算したるに過ぎず外國の經營者は舊條件の下に作業を續けたり。ソヴェエト政府は全力を盡して總へて此等の採掘權を變改し政府提案の修正に多少の不服を唱へたる諸會社に壓迫を加へたり此の傾向は特にデヨヂア叛亂後に著しかりき。

「ソヴェエト經濟生活」と題する評論誌に従へば、チアチエリ採鑛業の再建並に其の世界市場に及ぼす擡頭の影響は技術的設備の缺陷に依り（戦前も然り）阻碍せられ居れり。チアチエリ鑛の採掘及運搬は不滿の點尠しとせず、採鑛業は多數の小會社に依つて營まれ居たるも皆其の設備の改善に利用せらるべき資本を有するものなかりき。鑛山の自然狀態有利なるに依り特に鑛石の露出に依り採鑛は容易なりき、然れども此れと同時に時代後れの技術的方法是、鑛石の豊富に準すべき産額の増進を妨げたり、掘場より鑛車までの鑛石運搬は全く原始的方法に依り主として採鑛の場合と同様手力に依れり、又山元より鐵道沿線

までの運搬には能力少なき小型のトラックを用ゆるか爲め自然發達を妨げられたり。採鑛積載方法の原始的なると運搬の缺陷及ポチ港に於ける鑛石積換用機械の不完全なる結果として元價の増進を來し此か爲め本鑛石は諸外國との競争に於て有利なるを妨げられ同時に利益も此れに準じて減せられたり。

一九二五年六月十二日本鑛山の採掘權は米國ハリマン商會に許可せられたり。契約の條件に依りソヴェエトは千五百萬屯の鑛石を控置し於て自己の採掘に當てたり、又露國工業に要すべき滿僱鑛は總へて元價を以てハリマン商會より購入し得ることとせられたり、然るにソヴェエトは此の方法に依りて購入せる鑛石の一部を獨逸に再委託して契約の本條項に違犯したり、ハリマン商會は此の競争に面しては契約の改訂を要求せざるを得ざりき最近の報に依れば、同商會はソヴェエト政府との該契約條項を抹消せりと傳へらる。

三、ウラル地方

此の地方産出鑛石の滿僱分は僅に四〇%に過ぎず（但五〇%を含む Bieloretsk 鑛山を除く）而して産額は比較的重要視すべきものにあらず。

次表は三地方に於ける滿僱鑛の生産高を示す。

（佛 馳）

年次	チアチユリ	ニコポール	ウラル	計
一九一三年	九六九、四九九	二六五、一五九	一九、四七五	一、二五四、一三三
一九一四	六六二、五〇五	二三九、一四八	三、六〇三	九〇五、二五六
一九一五	二五七、七七二	二七六、〇六八	三、二七六	五三七、一一六
一九二一—二二	一五〇、七〇二	五五、四六四	五、九六七	二一二、一三三
一九二二—二四	三二〇、一三二	一〇〇、〇三三	七、〇三〇	四二七、一九五
一九二四—二五	三四〇、〇〇〇	八〇、九〇〇	三、〇〇〇	四二三、九〇〇
一九二五—二六	三三七、二七七	一一九、〇〇〇	五、〇〇〇	四六一、二七七
一九二六—二七	二七〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	二、二三六	四七二、二三六

備考

ハリマン商會の採鑛權は別紙新聞記事に依れば勞農トラストへ移動せられたるもの如し

譯者

ハリマン會社の採鑛權

露國トラストへ

〔モスコ―四日發聯合〕勞農全國委員會は四日アメリカハリマン會社との間に締結された新契約調印を終了した右の結果デヨルジア共和國内チアトリー地方に於けるマンガン過酸化物採掘利權はハリマン會社の手から今回新に組織された勞農トラストに移つた譯である尙曩にハリマン會社が該事業に投資せる三百四十五萬弗は償還期限十五ヶ年七分利付公債を擔保として該トラストが引受ける事になつた。

(三年九月六日福岡日日新聞所載)

世界の石炭消費額と産額（一九二七年）

(The Iron & Coal Trades Review, 7, 27, 1928)

- 一、全世界石炭産額一九二七年見積 十四億六千七百五十萬噸
- 一、全世界石炭消費高一九二七年見積 十三億九百十萬噸

例年の通り獨乙聯邦石炭局は一九二七年中世界の石炭産額並に消費額に關する統計通覽を刊行せるが、一九二七年は産額の點に於ては新記録を作れり。

石炭、褐炭を合せたる全世界の産額は十四億六千七百五十萬佛噸に達し一九二六年より八%一、一九一三年より九%四の増進を示したり(合衆國鑛山局の見積に依れば一九二七年中の世界石炭産額は十四億七千五百萬噸と報せり參照の爲末尾に同鑛山局の報告を添付す——譯者——) 昨年の産額中其の八割七分は石炭、一割三分は褐炭にして一昨年の比率も略ぼ同様なりしが一九一三年に於ては、前者は九割七厘、後者は九分三厘の割合を示せり、大戰以來此の割合は漸次變化して石炭の産額を減するに至れり、過去三ヶ年中褐炭の産額は總額の一割三分の率を保持し、一九二二年及二三年(産額大減少の年)に於ては一割四分以上に達したり、昨年中の世界石炭産額は次表の通り十二億七千六百四十萬佛噸にして比較の爲め一九一三年、

一九二五年及一九二六年の産額を示す。

洲別	世界の石炭産額 (單位百萬噸)		
	一九一三年	一九二五年	一九二六年
歐洲	六〇六・八	五三八・七	四六二・八
亞米利加	五三一・六	五三六・八	六〇八・六
亞細亞	五四・七	七一・七	七四・九
亞弗利加	八・七	一七・一	一三・四
大洋洲	一四・五	一八・七	一九・五
合計	一二一六・三	一二八三・〇	一二七九・二
			一二七六・四

※印は假數字にして修正を要するもの

表に就て見るに、一九二六年亞米利加に一步を譲れる歐洲の石炭産額は昨年に於て再び主席を回復したり、其の他の洲の昨年中の産額は一九二六年に於て獲得せる地位を維持するこ

とを得ざりしとは雖各洲皆一九一三年の産額を突破せり。
本統計通覽には初めて全世界の石炭消費額表を載せたり、就て見るに消費額に對する石炭産額(石炭、褐炭、骸炭及煉炭を石炭の名稱を以てす)の剩餘は一九二七年中全世界を通じ

約一億屯に上れり、然れども之れを歐洲のみに就て見れば、一億一千万屯の剩餘を生じ居れり、昨年亞米利加は自己の産額を以てしては其の要求額に應ずることを得ざりき、聯邦石炭局の表に従へば、亞米利加に於ける昨年中の消費額は五億六千七十万屯の産額に對し五億六千五百五十萬屯にして約五百萬屯の不足を示せり、此の不足は歐洲に依つて滿され、殆んど英國のみの輸出に仰げるものなるが英國の亞米利加全部に對する昨年の輸出額は五百八十五萬屯に達したり、大戰以來英國の亞米利加に對する石炭の年輸出額は昨年を以に最大とし一九一三年の輸出額より少なきこと僅に百十五萬屯に過ぎず、昨年中おこなべて英國は歐洲外の市場に於て活躍し其の輸出額も著しく増進せる月ありき、
次表は全世界に於ける石炭及褐炭の産額と消費額とを比較せり。

産額	世界の石炭産額と消費額 (單位百萬噸)		
	一九一三年	一九二五年	一九二六年
歐洲	六八九・五	六五三・三	五七七・五
亞米利加	五三二・〇	五四〇・四	六一二・二
亞細亞	五四・七	七一・七	七四・九
亞弗利加	八・七	一七・一	一三・四
			一二二・一

尙一九二八年八月三日「アイアン・コールド・レド・レヴュー」所載英國「チーフインスベクター・レポート」の附表に依れば、英國に於ける工業別の石炭消費額次の如し。

英國の石炭消費額 (百萬屯單位)

太平洋	一九二七年	一九二八年	一九二九年
合計	一一四・七	一一九・一	一二九・九
消費額	一一三〇・六	一二九七・九	一四〇三・八
歐洲	一九一三年	一九二五年	一九二六年
歐洲	一九一三年	一九二五年	一九二六年
亞米利加	六二一・〇	五三六・三	四八五・一
亞細亞	五二二・六	五四三・二	五九八・九
亞弗利加	六二・六	七六・四	七八・八
大洋洲	二二・五	二〇・七	一五・九
合計	一一五七・四	一一九五・三	一二〇二・〇

備考 石炭には褐炭、骸炭及煉炭を含む。
一九二七年の數字は假數字にして修正を待つべきものとす

消費者	一九二三年	一九二五年	一九二七年
五斯會社	一九二三年	一九二五年	一九二七年
合計	一六・七	一六・四五	一六・九七

一九二七に於ける消費額割合
九・五

電氣發電所	四・九	八・〇八	※ 八・九六	五・〇
(認可済の事業に屬するもの及官營鐵道及電鐵に屬するもの)				
鐵道會社	一一三・二	一三・三六	一三・五八	七・六
(機關車用)				
近海航路船用炭	一・九	一・一六	一・一八	〇・六
銑鐵業	二一・二	一一・〇三	※ 一四・〇二	七・八
※ 其の他の鐵鋼業	一〇・二	九・二六	◎	◎
炭坑(機械燃料)	一八・〇	一五・四二	一四・五五	八・一
家庭用	四〇・〇	四〇・〇〇	四〇・〇〇	二二・三
(坑夫使用炭を含む概算とす)				
一般製造業及其他の他の目的	五七・七	五三・八一	△ 七〇・二七	△ 三九・一
合計	一八三・八	一六九・五七	一七九・五三	一〇〇・〇

備考

※ 印は假數字

△ 印は國立鐵鋼製造業者聯合會の範圍に在る製品の製造に使用せられたる石炭即ち骸炭等量のもののみを指す

◎ 印は此の數字は一般に入手し得ざる生産業者と消費者とが有する在庫品の數字の變化に依り異動を生ずべきものとす

△ 印は「一般製造業及其他の他の目的」の項目中に含む

△ 印は其他の鐵鋼業に於て消費せる石炭の量を含む

因に本邦主要製鐵業の消費せる石炭高次の如し。

本邦石炭産額と主要製鐵所の消費高

年	産額	消費高
一九一三年	二一、三一五、九六二噸	不明
一九二五年	三一、四五九、四一五	二、七一五、三八八噸
一九二六年	三一、四二六、五四九	二、八〇五、〇九一
一九二七年	三三、五〇〇、〇〇〇(豫想)	三、三〇〇、〇〇〇(豫想)

備考 前記數字は一九二七年を除き二年六月調査商工省製鐵業參考資料及三年八月鑛業組合月報に依る

(内製鐵所約二、100,000)

一九二七年中、世界の石炭及褐炭産額

(The Iron & Coal Trades Reco 6. 15. 1928)

(参照)

合衆國鑛山局の見積に依れば、一九二七年に於ける各種石炭の世界産額は、十四億七千五百萬噸に達し前年に比し八パーセントの増加を示せり、内一億九千七百萬噸は褐炭、十二億七千八百萬噸は瀝青炭及無煙炭なり、合衆國の産額は、輸出需要の減少と組合炭田に於ける罷業の爲め前年に比し八%七の減少を示したり。一昨年七ヶ月間に亘る英國炭礦夫の罷業終息後歐洲諸國は、從來拂底せるストツルを再び築き始め而して昨年は大低産額の増進を示せ

り、獨逸は七パーセントの増進、白耳義、波蘭及露西亞は夫々多少の増進を示したり、一九二七年に於ける無煙、瀝青及褐炭の見積生産額を主要國別に示せば左の如し。(噸)

國別	一九二七年	一九二六年
合衆國	五四四、七二〇、〇〇〇噸	五九六、七四七、〇二九噸
加奈陀	一五、七九五、三六九	一四、九四八、六三一
白耳義	二七、五七三、五五〇	二五、二五九、六〇〇
チエコ、スロバキア	三四、三五一、〇〇〇	三二、六九二、六六四
佛國	五二、八四六、七〇〇	五二、四七七、九七二
獨逸	三〇四、四〇三、三一	二八四、四四六、二八一
ザール	一三、五九五、八二四	一三、六八〇、八七四
波蘭	三八、〇五七、〇〇〇	三五、八四一、九五七
英國	二五九、五一六、六〇〇	二八、三〇五、二九一
露西亞	三一、〇〇〇、〇〇〇	二二、二二〇、〇四四
英領印度	二一、〇〇〇、〇〇〇	二一、三三六、二〇四
南亞聯邦	一一、五〇〇、〇〇〇	一一、九四九、九五〇
其他諸國	一一九、六四〇、六四六	一二四、〇九三、五〇三
合計	一、四七五、〇〇〇、〇〇〇	一、三六五、〇〇〇、〇〇〇

佛國製鐵業狀況（一九二七年）

（昭和三年六月二十五日附在佛 帝國特命全權大使安達峯一郎報告）

左に掲ぐる所は本年五月十日巴里に於て開催せられたる佛國製鐵業者組合（Comite des Forges de France）總會に於て發表せられたる一九二七年の佛國製鐵業狀況の報告書中より主要なる點を抽出したるものなり

（一）佛國及世界に於ける製鐵業の一般狀況

一九二七年の初頭に於ては、政府の保持する堅實なる財政々策に依り、一般經濟界は良好なる影響を受くべきも、獨り製鐵業に關しては相當の動搖あるべきを豫期（註）せざるを得ざりしが、實際に於て受けたる打撃は左迄大なるものにあざりしは幸なり。

（註、一九二六年に於ては「フラン」相場の激落乃至急激なる變動に依り、佛國製鐵業者は輸出の増進を見るに至り豫期せざる利益を擧げたるも、ポアンカレ内閣成立以來「フラン」安定政策を採りたる結果、他の産業は物價の安定と共に事業上の危險を見ざるに至り好結果を受くるも、製鐵業にありては却て輸出の減少を見るに至るべきを以て、或は事業上相當の打撃を受くべしと豫想せられたるものなり）

唯同年中受けたる打撃は先づ繼續的註文のなかりしことに在り。其結果操業の短縮を餘儀なくせられ、失業者は一九二七年二月に於て約八萬人に達せり。然れども右失業者は其後外國勞働者の歸國に依り著しく緩和せられたり。

今一九二七年に於ける生産量を一九二六年の生産量と比較するに左の如し。(單位噸)

銑鐵生産高

一九二六年 九、四三二、〇〇〇

一九二七年 九、二九八、〇〇〇

鋼鐵生産高

一九二六年 八、四三〇、〇〇〇

一九二七年 八、二七六、〇〇〇

一九二六年に於ては鋼鐵の國內消費は全金屬の消費量の六割六分を占めたりしも、一九二七年に於ては五割三步に減少せり。國內の消費量右の如く減少の趨勢を示せるに付、佛國內に於ける製鐵工場を休止せしむることなく、且失業者の發生を防止する爲には、勢ひ全力を輸出増加の方向に盡すを要したり。

今一九二七年に於ける重要鐵材の輸出量を示せば左の如し。

一九二六年 三、六二二、〇〇〇噸

一九二七年 四、九二二、〇〇〇噸

即ち一九二七年に於ては前年に比し一、三〇〇、〇〇〇噸の増加を見居れるが、生産費は却て前年度よりも昂騰し居れり。

右の如き國內の消費減少を補ふ手段として、外國市場の獲得に努力せざるべからざるの状況にある處、之が實行の困難なることは左の事實に依り之を諒解し得べし。

一九一三年より一九二七年に至る間、鑄鐵の世界全生産量は七千八百萬噸より八千四百萬噸に増加したるが、右の増加は主として北米合衆國の生産増加に因る。鋼鐵に付ては歐洲に於ける五大生産國、即ち佛、獨、英、白、ルクサンブルの總生産量一九一三年に於て三千三百萬噸なりしもの、一九二七年に於ては四千壹百萬噸に増加し、北米合衆國に於ては三千壹百萬噸より四千四百萬噸に増加せり。世界總生産量に於ては一九一三年の七千五百萬噸より一九二七年の九千九百萬噸に増加せり。

殊に世界の二大需要市場なる露西亞及支那は目下殆ど閉鎖の状況にあり、且又其他の諸國

に於ける消費も戦前の如く一定せず。此消費不振の状況は一時的の現象にあらずして、根柢深き需給の不均衡に基くものなり。故に製鐵業者に於て必要なる對策の確定に努力せざれば危機の那邊に及ぶべきかを付度することさへ困難なり。

一九二七年に於ける佛國の鐵生産は比較的平調にして、鑄鐵毎月平均生産量は一九二六年毎月平均生産量七八六、〇〇〇噸、一九一三年の同平均生産量七四九、〇〇〇噸に對し七七四、〇〇〇噸を示し、從業爐數一九一七年一月一日調一四七なりしもの同年十二月三十一日現在一四四を示せり。

粗鋼に付ては一九二六年の七〇三、〇〇〇噸、一九一三年の五五九、〇〇〇噸に對し一九二七年は六八九、〇〇〇噸を示す。

然れども此等生産品を國內に販賣するに當り、製鐵業は鮮からざる犠牲を要したり。蓋し一九二七年十一月當時に於ける此等生産品の賣價は、金貨に換算し戦前の僅に七割乃至八割に過ぎざりしを以てなり。

以上の不利なる状況より脱するの途は生産條件を改善するの外途なかるべし。

(一) 製鐵原料品の供給問題

製鐵に必要なコークスの補給問題は、佛國コークス製造業者の努力に依り幸ひ之を不由なく供給することを得るに至れり。次に鐵鑛に關しては一九二七年に於ける採掘は順調に進み、四五、四二六、〇〇〇噸の採出を見、其の内二五、〇〇〇、〇〇〇噸は佛國內に於て、又六、〇〇〇、〇〇〇噸はサール地方に於て夫々消費せられ、一四、六〇〇、〇〇〇噸は外國に輸出せられたり。

右鐵鑛は佛國々富増進の重要な一要素にして、税關統計に依れば一九二七年に於ける鐵鋼輸出總價額三八五、〇〇〇、〇〇〇法に達す。一九二六年に於ては輸出總量一一、二三三、〇〇〇噸にして、此總價額二四四、〇〇〇、〇〇〇法なり。

右一九二七年の輸出總量一四、六〇〇、〇〇〇噸の輸出先左の如し。(單位噸)

白耳義及ルクサンブール	一一、四〇〇、〇〇〇
獨逸	二、一〇〇、〇〇〇
和蘭	一、〇〇〇、〇〇〇

一九二七年に於ては獨逸が佛國より購入したる鐵鑛は、一九二六年に於けるよりも増加し居れるも、一九二六年に於て獨逸が佛國より購入したる鐵鑛の總量は獨逸の鐵鑛總消費量の僅に一割一分に過ぎず。佛國當業者内には獨逸が其製鐵業を維持する爲には必然的條件とし佛國より大部の鐵鑛を購入することを餘儀なくせらるべしとの意見を有する者あるも、右意見は前記の割合を考察せば直に其誤謬なることを知り得べし。

茲に特筆すべきは佛國に於ける鐵鑛の採掘は勞力の缺乏にも拘らず著しき進歩を見居れり坑夫一人が一箇月の採掘量は、一九一三年メッツ・ティオンヅイル (Metz-Chionville) に於て一〇九噸なりしに、一九二七年は一一五噸・五に増加し、又ムルト・エ・モーゼル (Meurthe-et-Moselle) に於ては同じく九四噸より一一五噸に増加し居れり。佛國全体を平均すれば七一・六噸より一〇五・六噸に増加し居れり。

次に生産費節約の點よりして佛國當業者が憂慮しつつあるは屑鐵供給に關する問題なり。マルタン鋼 (Acier Martin) の製出には、其原料の八割は屑鐵を以て充當せらるる處、強力なる爐に屑鐵を利用するときは多量のコークスを節約し得るものにして、一九二七年に於ける屑鐵の消費量は三百萬噸を超過せり。而して右消費量は遙に佛國に於て求め得る處より

大なり。

屑鐵の利用右の如くなるに付、歐洲西部諸國に於ては何れも之が補給を顧慮し、之が輸出を禁止するの狀況なり。一九二七年十一月瑞西國ジュネーブに於て開催せられたる輸出輸入の禁止撤廢會議に於て、佛國委員は當該條約實施の日よりも少くとも三年間は屑鐵の輸出を禁止し得るの權利を留保したり。

佛國に於ける屑鐵輸出取締に關する現制度は極めて寛容にして、佛國の隣接國に毎年輸出せらるる量は戰前の分量よりも遙に大なり。而して實際に於ては品名不明の貨物として税關に申告せられ、又は船舶解体品として輸出せらるるもの多量ありて、屑鐵として輸出せらるる分量(註)の十割にも達し居るべし。

(註) 佛國に於ては原則として屑鐵の輸出を禁止し、二、三隣接國に對しては特に一年間に輸出を許可すべき一定の分量を定め此範圍内の輸出を許可し居れり。(Contingent system 2114)

佛國統計と隣接國との統計を比較せば、右の事情は容易に判明する處にして、此點に關し吾人當業者は佛國政府の考慮を煩はし度所なり。右の結果佛國內に於ける屑鐵は減少し、價

格は騰貴す。獨り當業者にとり憂慮の因を爲すのみならず、國防上よりするも等閑に附し難き所なり。

(三) 運賃問題

運賃が鐵材の生産費に極めて大なる影響を與ふるは多言を要せず。従て本年佛國鐵道運賃引上の實行ありたる際（註佛國の鐵道運賃は一九二八年二月一般に引上を實行せり）

本組合は我製鐵業の現況に關し、工務省の注意を喚起し、且一九二八年二月以來佛國鐵道管理委員 (Comite de direction des grands reseaux) に對し、鑛、燃料品、屑鐵及製鐵に對する運賃率案を作成し、之を具陳したるが、佛國鐵道諮問委員會 (Conseil superieur des chemins de fer) は本組合の具陳を考慮し、一九二八年二月二十二日の會議に於て鐵道業者に對し其計畫せる運賃五割増の案を鑛物、燃料及鐵材等國民經濟上重要な生産品、原料品に向ふ三箇月間適用せしめざることとせり。

最近に及び鐵道業者は左の運賃率に關し主務省の同意を得、之を實施することとせり。

一、北部地方 Pas-de-Calais 縣、アルザス州、ロレーヌ州及ザール地方より巴里地方に運

送せらるる燃料品は現行運賃率(即ち引上前の舊率)に依ること。

二、ミヂ (Midi)、巴里オルレ線及 P. L. M (Paris-Lyon-Marseille) 線にて運搬せらるる鑛石は、從來二割五分引の利益を受け居たりしが、今後は右二割五分の三割五分を増加するべし。

三、ブーノー (Boucau)、ニッソー (Pamier)、サンヂェリー (Saint-Jery)、デカズヴィル (Decazeville)、モンリュノン (Montlucon) より發送せらるる半製品に對しては舊率を課するべし。

四、ドシーズ (Decise) よりクルゾー (Creusct) 又はモンシヤナン (Montchanin) に運送せらるる油に對しては舊率を課するべし。

鐵道業者は右の外本組合が從來數次希望したるザール產品に對する鐵道運賃の割増率撤廢方に關し同意を表したり。又全車借切りに對する割引實行にも應じたり。

(外務省通商局編纂 海外經濟事情 第二三號より)

國際粗鋼カルテル例會の決定

(昭和三年七月十五日附在漢堡 帝國總領事來栖三郎報告)

本年六月二十六日 Dusseldorf に於て國際粗鋼「カルテル」の例會開催せられたる處、先之關係方面の一部に於ては今年第一四半期に於て從來割當額以内に止れる佛國の粗鋼生産も初めて割當額を超過したる爲、「カルテル」加入國全部其割當額を超過せることとなり、其結果或は今回の例會に於て生産額増加の提議あるやも計られずと觀測せられつゝありたるも、同會合に於ては右には何等の變更を加ふること無く、從來の生産額を其儘踏襲することを決定せり。

右の外同會合に於て中歐國(奧、洪、致須)より同團を更に奧、洪、致須の三組に分たむことを提議ありたるを以て、其分割より生ずる諸問題を攻究する爲特別の委員會を組織することとなり、且右分割に伴ひ「カルテル」規約第四條を適宜改正することを決定せり。蓋し同條規定に依れば生産割當額に付ては四分の三以上の多數を以て決定することを原則とするも或一國を除外せる他諸國の一致あるに於ては縱令當該國が四分の一以上の投票權を有する場

合に於ても（各國は其割當額に應じて一定の投票權を有す）是等多數諸國の決定に依ることとなり居り、從て若し現行規約の下に於て中歐團が愈々分割せらるゝに於ては、獨逸の Vereinigte Stahl Werke は塊の Alpine Mountain Gesellschaft に對して一大勢力を有するを以て、獨逸側は事實上獨逸二國の投票を代表し得ることとなり、右第四條に存する或一國が他諸國に對抗し得ざるの規定は獨逸に對しては實効無き結果と爲るの虞あればなり。

超て七月十三日同地に於て更に前項委員會の開催を見たるが、同委員會は先づ一九二七年二月四日致須國との間に締結せられたる取極に代ふるに本年七月一日より効力を有する新取極を以てすることを決定し、其結果致須側は國內市場に對する供給の點に於ては完全なる自由を有し、唯對外輸出に對し年額四十三萬二千八百三十六噸の割當を受くることと爲れり右割當額は一九二七年に於ける同國の輸出量に相當し、今後「カルテル」生産總額の變更に應じ増減せらるゝものなり。蓋し右新取極は「カルテル」加入條件として國內市場に於ては完全なる自由を保有し、唯國外輸出額に對してのみ一定の割當を受けむことを要望しつゝありし波蘭の「カルテル」加入問題に對し一刺戟を與ふるものなるべしと雖、同委員會に於ては別に本問題に觸るゝこと無かりし趣にして、一般に現行「カルテル」契約存續期間中新加入の實現

を見るが如きことは恐らく無之かるべしと觀測せられつゝあり。尙塊地利及洪牙利は今後各獨立團として夫々「カルテル」總生産額の一・四五七%及一・〇七一%の割當を受くることと爲れり。

但し前述せる規約第四條の改正は遂に實現を見ず、唯獨逸及塊地利は今後生産割當額に關する投票に際しては二箇の團體として非ずして、單一團體として見做され可然き旨の聲明をなすに止めたり。

右中歐團分割の外、同委員會に於て決定せられたる重要事項は罰金制度に關する改正にして、即ち今後總ての加入國に對し割當額超過七・五%迄は一噸に付一弗、更に二・五%迄は二弗、夫れ以上超過の場合に於て初めて從來通り四弗の罰金を課することとし、唯獨逸の國內割當額超過に對しては從來通り一噸に付一弗の罰金を課することと決定せり。傳ふる所に依れば最初自耳義側より其割當額増加の要求ありたるも、若し其要求にして容れられむか、他團體も亦同様割當額の増加を要求するに至るべく、斯くては問題聊か機微に亘るの虞ありたるを以て、結局右の如く罰金制度に改正を加へ、以て其希望を幾分緩和することと爲せるものなりと云ふ。

尙獨逸當業者は昨年中は國內市場に重きを置けるも、其後國內市場漸く不景氣の徴候を示し來れる結果、自然對外輸出に重點を置かざる可らざるに至り（右は本年第一及第二四半期に於ける Vereinigte Stahl Werke の營業統計に徴するも明なり）、前記委員會に於ても此事態に鑑み獨逸側の輸出割當額を本年七月一日より毎月三十萬噸（從來は二十七萬五千噸）に増加することを決定せり。此輸出割當額増加は前述新罰金規則と相俟ち獨逸の海外輸出を容易ならしむるものと認められつゝあり。

參考迄に粗鋼「カルテル」創設以來に於ける各國生産額の割當額に對する過不足を示せば左の如し。（單位千噸）

各四半期に於ける割當額	割當額に對する過不足(+)は過(-)不足			
	一九二七年三月迄	一九二七年四月以降	一九二七年一月一齊	一九二七年七月一齊
獨逸	三六二	三五五	一九五	一〇〇三
佛蘭西	二六六	一八六	一三二	一四四
白耳義	八〇三	一三三	一三三	一四九
ルクセンブルグ	五七七	一〇	一〇	一〇
ザール地方	四〇三	一〇	一〇	一〇

一九二六年七月一齊
一九二七年一月一齊
一九二七年七月一齊
一九二七年一月一齊
一九二七年七月一齊
一九二七年一月一齊
一九二七年七月一齊
一九二七年一月一齊
一九二七年七月一齊
一九二七年一月一齊
一九二七年七月一齊

昭和三年九月十日、海外經濟事情第二六號所載

輸出市場開拓策（米人の觀察）

一九二八年六月二八日發行アイアン・エージ誌

新に製造業者等が製品を海外に賣捌かんとするに當り執るべき開拓策は精神誠意輸出品の永續策を企圖することを必要とするから最初に於て現狀を固守すべきか或は現狀を打破し發展策を講ずべきかを決定すること肝要で此は輸出業者の必ず到達すべき結論である、それ故に若し製造業者が新事業に對し癡學的の計畫をなさば必ず其結果は不良に陥るべきこと明である、それ故に永き將來の販路を考慮し輸出品を取扱ふにあらざれば他日對岸に於ける商機を掌握せざりしことを悔ゆるに至らん。

製品の販賣に適すべき市場を撰定するに當りては順序として其市場の狀況調査を必要とする、而して此方法は輸出市場に廣く代表者を多數に有する大會社に取りては比較的簡易にして豫備調査の目的にて代表者を其市場に派遣し疑問點を攻究し進んで代理店を設置して居る勿論此手段は特殊製品に對する市場開拓策の理想的方法である。それ故に現今に於ても我國代表者等の一員は各地市場に視察員を派し適宜に代理店を設置し東洋通過にて長途の旅行よ

り歸省中にあり、他の一員は同様なる使命にて目下南米方面を週歴中である。

吾々は此等の視察員の復命書を基礎として正確なる考察を下し適當なる市場を撰定し國民の期待に背かない様な代表者を派遣するの準備をするの必要がある。

外國市場調査の基本的考察

未着手の新市場調査に際しては市場の殷賑を來し製造業者に特殊方面に於て可及的利益を提供し得る如き方法を決定すべきである。其の爲には次に示す様な基礎條項を熟慮と慎重なる態度にて精査せねばならない。

大 さ……輸出に際し考慮すべき最も肝要なる問題は其市場を経て供給さるべき其國の面積であつて、此より大凡その輸出量の豫想をなすことが出来る。

言語と通貨……商業上の用語を決定すること、同時に英語通信を普通商業上の取引に使用許可さるるや否や並に通貨知識の習得と其安定策の調査。

人口と購買力……何れの諸國を問はず人口問題は個人購買力を推定するの一條件となるものである。例へば將來の發達を豫想しメキシコ、露西亞、及支那に於ける可能性ある自動車の旺盛なる需要を今日より考慮し將來の製造計畫を立つる必要あること、此に類似

せる理由に據り製品に對する個人購買力を慎重に考慮することが必要である。

主要都市と港……地圖を開き輸入港と主要都市との關係を研究することは新市場侵入の最も捷徑にして機宜に適せる手段である。

地理及氣候狀況と季節關係……輸出すべき國の地理、氣候、風土の狀況を調査することは甚だ緊要である例へば國によりては海岸にある主要諸港より内地都市に輸送するに當り途中にある山脈の爲に重量ある又は嵩高き製品の運搬を隔離され又海岸線上にある港及都市は特殊商品に對する優越なる市場となるべき氣候風土なるべきも其他の點にては全く不毛地なること屢々であるが山間地方は全く之と反對なることがある。

外國市場の季節は米國とは自ら異り冬期及夏期に於て商取引閑散なることがあるから之を熟慮研究することが必要である。

工業……其國に於ける主要工業の調査を行ひ如何なる職業が其市場に適すべきかを決定することが必要である。

地方的競争……競争製品が地方的に製造さるべきや否や若し製造さるとせば其品質と値段を調査することが必要である。次に輸出市場に於て競争せねばならない外國製品の品質と

値段につき考慮すること、此際米國製品が常に高價で特に其市場に於て然りとすも其品質は優良で其他の點につき顧慮するを要しないならば品質本位の商品として永久に其市場に於て存在し得ることを記憶し置くことが必要である、此は現今に於ける英、獨、佛、伊、諸國へ輸出さるべき高級機械及工場諸設備の量により明であるが此等諸國では重税を賦課することが普通であるから遙に低廉なる値段にて其地方の製品と競争して居る。

貿易の關門……貿易上の關係は國によりて影響さること大であるから或る種類の米國製品輸出に反對さるゝことがある。若し斯かる影響を米國製品が受くるものとせば看過してはならない。

販路と販賣政策……販路は甚だ重要で市場によりて其方向種々變化するから慎重に考慮することが必要である。而して普通の場合には米國製造家の理想を應用し各國の流行を模倣する様市場の要求を計畫するよりは寧ろ其進路と習慣を利用し流行せしむる様製品の採用をすることが一層良好である。

又米國製造家は多數の市場に於て單に自己の利益のみを立場とし大規模輸出をなす目的

を以て強固なる基礎を有する會社によりて盛大なる市場に於ける獨占的權利を要求しつゝあると同時に各種の卸賣品販賣店への製品配給につきても大輸入商館又は製造家代理店を各市場に於て利用しつゝあり。

船積と内地運搬の難易……市場への運搬につき最善、最速の方法を調査し熟慮決定すること而して輸入港迄適當に製品を交付し得る方策確定せば製造家の利益は蓋し停止することなからん輸入國によりては今尙内地運搬を一ケ年の中一部が航海し得ない様な河を小船にて遡るか又は驢馬の群を利用して嶮岨なる山路を越ゆるを要するから道路が運搬を容易ならしむるや否やは大なる要素となるのである。特に製品が重きか嵩高きものであれば運搬問題につきては一入慎重の考慮を拂ふことか必要である。

符牒と包装の必要……符牒と包装の研究は特に必要である。何故なれば各國ともに此取締は頗る嚴重であるから特別の容器を準備し包装又は貼紙は特別に印刷を要するのである。此等の勵行を怠ると屢々罰金又は高い關稅を賦課さるゝか又は内地運搬の困難なる場合には輸送荷物の延着を生ずるか或は再包装の必要を生じ重大なる結果を來すものである。税關の規則と申告書……製品が最低輸入税にて入國し得る様に關稅の規則及税關申告書を研

究する必要がある此くの如き研究は製造家をして大凡製品の陸揚費と賣價とを決定せしめ得るのである。

商標と專賣特許……製造工業に従事せる國を研究するに當りては特に商標、專賣特許問題を考慮すべきものである。若し此等のものが存在しないか又は保護され得ないときは代理店は製品の配給計畫に當り其地方の製造家により模倣さるる懸念があるから希望する様な収益を得ないだらう。

價格の調節……價格の調節は如何なる市場に於ても歓迎希望さるゝものであるから創造的計畫を以て其市場を支配せば常に維持し得るものである。次に市場によりては競争者よりも廉賣せねばならない其結果製造者並に代理店の利益をも失ふに至るから新市場の開発にあたりては此等の狀況決定に特に注意を要するのである。

廣告……廣告問題は早晚何れの市場に於ても充分研究を要すべきか故に市場に於ける新聞廣告の價値を決定せねばならない。同様に地方販賣店が地方的廣告を自己費用又は製造者の費用にて行ふ習慣あるや否や、目錄及廣告文の印刷物を英語以外の言葉にて示さねばならぬや否や、加ふるに印刷及廣告に對し税を科せらるべきや否やを研究すべきである。

而して新聞廣告は缺ぐ可からざるのみならず多くの場合に於て希望すべきことである。

此等の調査報告は商業會議所、製造輸出組合、地方輸出管理者俱樂部及老練なる代理業者等に委ねることが甚だ有望である。又今日の輸出貿易を報告する新聞は時勢の發達に伴ふ輸出業者の百科全書とも云ふべきもので輸出に關する多數の複雑なる事項を解決する鍵となるものである。

原價の攻究に就て

The Iron Trade Review, June 14, 1928.

備 考

本記事は本年五月十七日市俄古市スクリュー機械製品協會に於て同市スワンソン・エンド・オギルグイ會社のスワンソン氏が成せる講演の概要を摘出したるものにして科學的原價計算の必要を力説したるものなり。現在米國に於ては原價を無視し或は等閑にする諸會社あり而して眞面目に原價を計算して合利的に利益を得んとする者は、原價を無視する競争者の爲め尠からず打撃を蒙り之れが爲め折角の科學的原價計算の實行上に頓挫を招くの止むなきに至る。原價を等閑視するは畢竟原價の發見と其の計算方法の困難に起因するものとなし論者は之が宣傳と其の計算方法の教授と其の制度の採用を力説す。一譯者

「原價發見」の知識を極めよ、原價を知れ而して之を攻究せよ。

原價發見の方法を用ひずして原價以下に價格を切り下ぐる同じ畑の競争者に禍せられ科學的原價計算の開發及び之れが實行上に絶へず頓挫を招きつゝある會社尠なしとせず、此の難問題を解決するには「原價發見」を宣傳し、此れを力説し、之を教ふることに在り、他人の經濟的過誤に依つて自己の見解を蒙蔽せざることに努めざるべからず。諸君の工場設備が如何に完全なりとも機械が如何に貴重にして能率に富むとも、將又管理及勞力が如何に發達せるものありとも、若し諸君にして、原價の知識に乏しとせば事業の繁榮は誓つて望むこと難か

るべし。

原價の知識は事業の經營上必要缺ぐ可からざるも、之を聰明なる管理と善良なる勞力と適當なる裝置其他と括り付けざれば玩具に等しかるべきは論を俟たざる所なり。

要するに企業は年末に於て利益を見ざるとせば成功と云ふべからず。吾人は終始利益の爲めに營業しつゝあり。

利益は業務の伸張を招き得る如く作らざるべからず。業務の量は着々増進せざるべからず。諸君は奉仕の爲め事業に従事すと言ひ得ることあるも、結局奉仕は目的を達する手段に過ぎずして、眞の目的は利益に在り、餘りに奉仕に過ぎたる爲め或は又餘りに奉仕の足らざる爲め失敗を招けるものあるを見る、要するに利益を得る爲めには原價を研究せざるべからず。

原價の知識は、製品の價格を決定する上に重要な要素たり、價格の決定は原價と需要とを折半して考慮せざるべからず。業務の診斷器は原價を以て最良となす。

工場の能率を増進する爲には原價を知らざるべからず、而して之れが研究に際しては項目を種別に分解して後攻究せば容易に取りかゝることを得べし。

原價の發見は決して簡單なるものにあらず、多くの會社が原價の意を適確に掴むことを得

ざる理由の一は原價の發見には最高の知識を要する諸種の困難横はるが故なり。又企業は元來製品の製造に興味を有したる工人或は機械工に依つて當初小規模に着手せられたるもの多し、此の事實は即ち原價發見上に現在興味を缺ける理由の一たるを失はず斯の如く當初の原價は極めて簡單にして直接勞力費を主とせり、而して業務の進行に連れ正確なる原價を知ることなく、事業は經續せられたり。

原價の發見を試みて失敗を招けるは恐らく制度の貧弱に因れるものと思惟せらる。而して之れが爲め原價制度の設置に關し冷淡の態度を取る傾向あるを見る。須らく良制度を學ばざるべからず。

原價發見の方法實施に就ては多少の經費を要す、經費を要するが故に躊躇すべからず。

競争者の原價無視は斯界を攪亂し紊るものなることは言を俟たざる所なるを以て産業團體の指導者は宜しく原價發見を宣傳し、其の方法を教へ而して之れが眞價を廣く認めしめざるべからず。

原價發見方法の組分けは、出來得る限り一定せざるべからず、此の一定は總べての團體をして同一の原價術語を使用せしむるに便あり。業務の當事者は指導の才能を有する有爲の士

にして教育者所謂教師の任に當らざるべからず。

合衆國に於ける製鋼用銑鐵減少し屑鐵増加す

The Iron Trade Rev., August 9, 1928.

過去十七年間即ち一九一一年以來合衆國に於ける鋼塊及鑄物の産額は銑鐵の生産高を超過せり一九一〇年以前に於ては鐵銑は鋼の生産に對し餘裕を保てるものなり過去數十年に於て鋼製品に對する需要が殆んど鋼の製産を二倍せることは普く人の知る處にして多言を要せざるも同期間に於ける銑鐵の産額増進率が僅々五〇%に過ぎざりしことは恐らく未だ一般に知られざるが如し現在に於ては鋼一噸の製造に要する銑鐵の量が減少せることは次表に依つて窺ふことを得。

年次	鋼生産高に對する銑鐵生産高の比率	年次	鋼生産高に對する銑鐵生産高の比率
一九〇八年	一一三・八	一九〇九年	一〇七・八
一九一〇年	一〇四・七	一九一一年	九九・九
一九一二年	九五・〇	一九一三年	九八・九
一九一四年	九九・三	一九一五年	九三・一

一九一六年	九二・一	一九一七年	八五・九
一九一八年	八七・八	一九一九年	八九・六
一九二〇年	八七・六	一九二一年	八四・四
一九二二年	七六・五	一九二三年	八九・九
一九二四年	八二・八	一九二五年	八〇・九
一九二六年	八一・六	一九二七年	八一・四

本表(亞米利加鐵鋼學會の蒐集せる生産統計に基き作製せるもの)に依れば鋼に對する銑鐵の比率は一九〇八年以來遞減し一九二七年に於ては八一・四パーセントに落下せり米國鋼の大半は平爐にて製出せられ此の製法の發達に依り多量の屑鋼使用せらる、電氣爐鋼の製造又盛にして茲に於ても更に多量の屑鋼利用せらる。若し屑鋼の消費に關する統計ありとせば鋼に對する屑の比率は、銑鐵の比率と反比例を呈せん。

尙鐵鋼學會編纂の附表に依れば、熔鑛爐に挿入さるゝ鐵關係の原料割合は一九二六年に於ては鐵鑛石九一・四パーセント、Cinder八・六パーセントなりしも一九二七年に於ては前者は九〇・八、後者は九・二パーセントを示せり、此の變化は至りて少なりと雖、熔鑛爐操業者が以前廢物視せられたるシンダーを利用しつつあること明かなり、斯くの如き經濟は生産費節

減の必要を反映するものなり。

英 國 鐵 鋼 業

(昭和三年六月二十三日附在倫敦帝國總領事代理米澤菊二報告)

(一) 一 般

大戰後の英國鐵鋼業に於ける最顯著な現象は現實生産額は別とし、生産力の増加であつて之を三重要製産過程別として左記の通表示せられるが、此現象は主として戦時需要の所産であり、又一部は設備の改造乃至改良に對する放資に起因する。

生産能力	一九二七年	一九二三年
熔 鑪	一二、〇〇〇、〇〇〇 噸	一一、〇〇〇、〇〇〇 噸
製 鋼 所	一二、〇〇〇、〇〇〇 強	八、〇〇〇、〇〇〇
煉 鍛 工 場	一一、〇〇〇、〇〇〇 乃至 一二、〇〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇 乃至 八、〇〇〇、〇〇〇

即ち製鋼、煉鍛能力は熔鑪の其より増加し、製鋼生産力は戦前と反對に熔鑪能力を凌駕する現狀であるが、煉鍛事業の可能生産額は機械の多くが、全然新規であり、其能力が未

經驗であるから、尙未定の問題である。其他亞鉛板、電線、鋼管等の工業も亦、生産設備を増加した他、戦時中電氣爐の設備が、殊にシェフィールド地方に汎く行はれた結果、各種混合鋼の生産事業が勃興するに至つた。

然し鍊鐵爐 (Puddling furnace) 鋳力板、坩堝鋼等の工業は、其生産力に就て戦前と同様である。

英國鐵鋼業の最要地方は北東沿岸であつて、同地方は全國の熔鑛爐 (Blast furnace) 能力の約三分の一を擁し、年額約四百萬噸の銑鐵を生産し、平爐 (Open hearth) 製鋼か二百八十萬噸弱に達する。

蘇格蘭内の平爐製鋼力は北東沿岸に稍劣り、熔鑛爐能力も北東沿岸の約三分の一に満たぬ而も熔鑛爐は主として鑄鐵、鍛鐵製品を目的とする爲め、製鋼用銑鐵の大部分を他の地方に仰ぐ地位に居る。

又ウエルス南部は一九一三年以降新熔鑛爐の設置を見たが、比較的製鋼設備が熔鑛爐よりも優れて居り、平爐製鋼力、熔鑛爐能力は夫々全國の一八%及一〇乃至一二%を占むるに過ぎぬ。

更にシェフィールドは全國の約一四%に相當する平爐製鋼力を有するが、熔鑛爐生産能力僅少のため、大量の銑鐵を他地方から移入する。
熔鑛爐及平爐の分布及基數を表示すれば次の通である。

(一) 熔鑛爐數

所在地方	總數	生産		
		週五〇一 至七五〇 (年三六、〇〇〇噸)	週七五〇一 至一、〇〇〇 (年三九、〇〇〇噸)	週一、〇〇〇一 至一、五〇〇 (年四一、〇〇〇噸)
ダービーシャー、リース ーシャー、ノッティンガ ムシャー、ノーサムプ ト ンシャー	七四	四八	一六	八
ランカシャー、ヨーク ー(シェフィールドを含む)	三二	七	九	五
リンコンシャー	二五	三	二	一三
北東沿岸地方	一〇八	一	八	五〇
蘇格蘭	一〇一	九七	四	一
スタフォードシャー、 シエロツプシャー、ウ ォスターシャー、ロ ーキツクシャー	五四	一三	二〇	一四
ウエルス南部及モン マ スシャー	二六	一	四	一
				七
				一四

週一、五〇〇
及以上
(年六、〇〇〇
及以上)

四	十	噸	一	三	九	三二	一一	二四	八〇	一〇八
四	十	噸	一	六	一	一一	四	二五	七	
五	十	噸	一〇	四六	五	三六	一六	一一	一二四	七八
五	十	噸	二	一	八	四	一	一四	一	
六	十	噸	一九	三三	四	一二	三四	一六	一一八	三七
六	十	噸	二二	一	一	三	一	四	二九	八
七	十	噸	七	一	三	一	一	一	一二	九
七	十	噸	一	五	一	一	一	一	六	一
八	十	噸	四	一	六	一	一	一	一〇	三
八	十	噸	三	一	一	一	一	一	三	三
九	十	噸	一	一	一	一	一	一	一	一
百噸及以上		噸	一八	四	一	一	一	九	三一	一四
計	一九二六年		一一二	一二六	四五	一三九	一〇九	一〇一	六三二	
一九一三年	計		一一五	一一五	三二	一一三	七二	八九		五四六

英國鐵鋼業の設備及生産方法上の能率を外國(殊に歐洲大陸、米國)の其に比較するに、設備の不同及國情の差異の爲め意見の相違を免れぬが、其二、三を摘出すれば、(イ)英國の機械が米、獨に比し一定して居ない觀がある。是は斯業の發達が他國より早期な爲、既存設備

の改善に遲速が生ずる結果であつて設備、生産方法共に最新な英國工場は現在僅少に過ぎない。又(ロ)工程の異なるに従ひ、生産力に均衡を缺くことが屢々であるが、此缺陷は主に事業不振のため大資本を得ることを至難とするに基因すると共に、戦時中及大戦直後の資本化を遠因とする。英國熔鑛爐の大部分は、能率上工程所要の容積に不足し、海外の大規模爐に對して遜色があり、從て英國の熔鑛爐作業は歐米諸國より遙に劣つて居るが、該作業に比すれば英國に於ける製鋼法、ロール法は、戦時中及大戦直後に新機械の大量を装置した結果、大に優秀である。(ハ)燃料消費に就ても、多大の改善を見たとはいへ、燃料經濟施設の應用及骸炭爐の能力、骸炭製造事業の組織に至つては歐米諸國より退步して居る、是は英國が海外に於ける戦後の發達に反し、歐洲大陸が戦前に使用した爐を依然使用して居るからである。獨、佛、白等歐洲大陸諸國は最新式爐を設備して舊爐を大部分廢棄して居るから、此等諸國の骸炭製造事業は米國と比肩するに至つたが、英國に於ける最新式爐の採用乃至大規模の陶汰法は極めて遅く、一九〇五、一九〇六兩年副産物採取爐の大量据付以來、廢棄爐數は些少である。骸炭爐所有者の代表は、新爐裝置不可能を高費額に歸し、歐洲大陸の事例を以て、通貨下落の結果新設備に對する投資を容易にしたと釋明する。

然し英國の生産方法の一部が歐洲大陸諸國より下位にあるに不拘、鐵鋼品、特種品を問はず、一般製品の質に於ては遙に他國品を凌駕して居る事實は明てあり、従て品質等の見地からすれば英國鐵鋼業が普通品の大量生産用に歐米諸國の設備するが如き大機械を英國に建設することは必ずしも利益と斷じ得ないのである。

(一) 經營組織

一九一三年以降英國鐵鋼業内の進化は生産工程、機械の外、經營方面に於ても之を看取し得るが、此點に就ては殊に大企業の發達を注目すべき現象とする。

委員會の取扱つた大企業十二社

Baldwins Ltd, Bolckow Vaughan and Co, Dorman Long & Co, Ebbw Vale
Steel, Iron & Coal Co, Guest, Keen and Nettlefolds Ltd, Pease and Partners,
Ltd, Richard Thomas and Co, Stewart and Lloyds, Ltd, United Steel Co,
Harland Wolff, Ltd, Armstrong Whitworth & Co, John Brown & Co.

は年額、銑鐵五百六十萬噸(英國銑鐵生産力の約四七%)、鋼七百二十萬噸(英國鋼生産力の

約六〇%)を所有し、又右企業の普通株、優先株、社債に表示される資本總額は一億一千四百萬磅を超え、而も此總額は其支配する資本の一部に過ぎぬ。

此等の合同的企業に共通する現象は一定地域内に事業の集中することであつて、リンコンシャー、北東沿岸地方、ウエルズ南部、西部沿岸地方所在鑄鑪の約三分の二は、大企業の何れかに所屬すると稱せらる。

一般に事業の主要經濟條件は、秩序ある組織生産の協定、仲介商の除去、賣價の低減に存するが、前記合同的企業が此點に幾何の効果を及ぼしたかは、未だ推論し得ない。然し合同の成否は第一に經營の能率に依繫する以上、事業が繁榮期に際し關係企業を買収し、又は其利益を支配することは、不況時に於ける配當能力の見地から、過度資本化の現象を招致する傾向があり、而も此弊は既に先例の證する處である。

事業經營に就ては、合同以外に横斷的組織があり、其形式として各種の有限協定又は組合を指示し得べく、又其内容は一般に生産の制限、價格の裁定、生産又は販賣條件の協定を目的とする。

此種の協定は鐵鋼業の各部に亘つて多年存在し、只其除外例として銑鐵と半製鋼業とを舉

げ得るが、銑鐵の場合には其價格條件は海外市場によつて決定せられ、半製鋼品の場合には其が大量輸入品であつて、普通、輸出品ではないから、此種組織を不要としたのである。又鐵鋼業内の組合は英國全土又は一定地域内を通ずる一定生産工程を包含し、其大部分は價格の協定を内容とするけれども、最近數年間協定の價格に及ばず勢力は、外國競争の激甚な爲め一般に微々たるに止つて居る更に組合によつては各種の Piling System を有するが、其中組合員が生産高又は賣上高に應じて釀金し、之を加入者間に均等に分配する組織を普通とする。Piling System は一九二六年二月鐵力板業に採用されたのを嚆矢とし、其組織は普通例と異り、各組合員は一定取引比例を有し、其比例を超過する場合に釀金し、之を比例以下の加入者に賠償する形式を採るものである。

國際協定は戰前軌條に存在したか、戰後（一九二六年）英、佛、獨、白、ルクセンブルグの同業者間に復活し、英國配當率は四三%と傳へられる。

(三) 事業狀況

鐵鋼業は一九二二年以降事業の不振に當面して居るか、其態様は（一）一般物價に比し鐵

鋼價格が低落せる事實、（二）主要鐵鋼會社の財政狀況（三）失業率、（四）生産及貿易額を表示する下記統計が明白に之を示して居る。

(一) 鐵鋼價格指數 (單位一九一三年100)

年次	鐵鋼價格指數	一般物價指數	鐵鋼指數に對する鐵鋼指數の比例
一九二〇	三五七・八	三〇七・三	一一六・四
一九二一	二〇九・九	一九七・二	一〇六・四
一九二二	一三六・八	一五八・八	八六・二
一九二三	一四七・二	一五八・九	九二・六
一九二四	一四二・九	一六六・二	八六・〇
一九二五	一二六・〇	一五九・一	七九・二
一九二六	一二三・五	一四八・一	八三・四
一九二七	一一九・九	一四一・四	八四・八

(二) 主要會社の財政狀況 (單位磅)

年 度	利 益	普通配當	優先配當	社債、利子	積立金其他	繰越金の増(七減)(一)
一九一九—一九二〇	五,三七,四三三	三,〇七,七六八	五四,四二二	四六,二四五	九〇,〇三〇	(十) 三三,九六六

一九〇一—一九二一	三、八九〇、九六六	一九一五、一四三	六六六、〇五二	五五五、三四五	四九七、五三四	(七) 三六、九〇三
一九二一—一九三三	一、四九九、三三二	五九二、三三八	五八一、七九六	八四三、二一〇	(借方) 四三、四九九	(一) 一六、六六四
一九三三—一九三三	二、五七四、七〇一	七〇四、〇八一	五三三、七三三	九六九、一七六	(借方) 二〇六、四五四	(十) 五三、四一四
一九三三—一九三三	三、六七五、三六一	七二、〇〇四	六五九、二六七	一、一九、〇四八	五九八、二八九	(十) 四六、七三三
一九三三—一九三五	一、八七八、〇七九	七〇一、四三二	三九七、九七七	一、七四、八三九	二四三、五二五	(一) 六四、〇七四
一九三五—一九三六	七六、〇三三	六四七、九四八	三四七、三三〇	一、三四、八六五	(借方) 六〇、七五八	(一) 八三、七三二
一九三六—一九三七	九九、四四四	六四七、九四八	三二、八七二	一、三六、三五六	(借方) 二六、八七一	(一) 九四、三〇六

備考 右表は下記主要會社九社の成績の累計である。

社名 事業地

Dorman Long and Co., Ltd.
 Belckow Vaughan and Co., Ltd.
 Cargo Fleet Iron Co., Ltd.
 South Durham Steel and Iron Co., Ltd.
 Pease and Partners, Ltd.
 Baldwins, Ltd.
 Guest, Keen, and Nettlefolds, Ltd.
 Ebbw Vale Steel and Iron Co., Ltd.
 United Steel Companies, Ltd.

北東沿岸地方

主としてサエルス南部地方

シエフイールドを主としカムバーランド、リンコンシャーに及ぶ

(三) 失業率

右表は失業保險法に依る銑鐵業各業被保險者數であつて、右側數字は被保險者總數、同左側は同推定現在就業者數を表示し、其差數は失業者數に該當する。

業別	一九三三年七月	一九三四年七月	一九三五年七月	一九三六年七月	一九三七年七月
銑鐵製造業(熔鐵爐)	二八、八九〇	三〇、〇九〇	二五、五〇〇	二四、三〇〇	二四、九三〇
銑鐵製造業(熔鐵爐)	二六、一〇〇	二六、一〇〇	一九、六〇〇	六、一〇〇	二、八〇〇
銑鐵、熔鐵爐、ロール、フォーシ	二二〇、六九〇	二〇六、五八〇	一九八、〇七〇	一九三、三三〇	一九四、四九〇
銑鐵、熔鐵爐、ロール、フォーシ	一六、七〇〇	一六、六〇〇	一四七、〇〇〇	八、六〇〇	一六、九〇〇
銑力板製造業	二九、九〇〇	二九、二六〇	二八、七〇〇	三、七三〇	三、三三〇
銑力板製造業	二八、八〇〇	二八、五〇〇	二六、〇〇〇	一〇、七〇〇	二四、一〇〇
鋼、鐵管	二四、八〇〇	二七、〇〇〇	二七、五〇〇	二八、〇五〇	二八、一〇〇
鋼、鐵管	二〇、九〇〇	二四、一〇〇	三、六〇〇	二〇、一〇〇	二四、六〇〇
ワイヤー、ワイヤーネット、ワイヤーロープ	二四、二〇〇	二四、四五〇	二四、六〇〇	二四、八七〇	三三、八七〇
ワイヤー、ワイヤーネット、ワイヤーロープ	二二、九〇〇	二二、九〇〇	二二、一〇〇	一九、七〇〇	一九、四〇〇
ストープ、グレート、パイプ等一般銑鐵業	八三、五九〇	八、一九〇	八四、三〇〇	八九、一八〇	八〇、〇六〇
ストープ、グレート、パイプ等一般銑鐵業	六九、三〇〇	七、八〇〇	七五、八〇〇	七四、五〇〇	八、一〇〇
ホールト、ナット、スクリーン、リベット、釘等製造業	二九、七〇〇	二七、五九〇	二七、二七〇	二六、一八〇	二五、九〇〇
ホールト、ナット、スクリーン、リベット、釘等製造業	二四、七〇〇	二四、一〇〇	二三、六〇〇	一八、二〇〇	二三、五〇〇
計	四三三、七二〇	四三三、一〇〇	四二六、三〇〇	四二五、六〇〇	四二七、五〇〇
計	三五八、四〇〇	三五三、一〇〇	三三一、四〇〇	三三一、〇〇〇	三五六、五〇〇

(四) 生産及貿易額

(四) 海外貿易

年次	イギリス及 カステイン 内國生産額	製鋼用輸 入イ ンゴ	總計	輸出鋼品 のイ ンゴ	内國消費 のイ ンゴ	總計に對 する輸出 比例%
一九二〇	九・七	〇・九三	一〇・〇〇	三・五	六・七五	三・五
一九二一	三・七	〇・九四	四・六四	一・九	二・七五	四〇・七
一九二二	五・八	〇・七	六・六〇	三・七	三・三	四九・五
一九二三	八・四八	一・三	九・七	四・三	五・四〇	四四・四
一九二四	八・〇	二・五	一〇・五	三・七	六・八	三・〇
一九二五	七・三	二・六	九・九	三・九	五・九七	四〇・〇

海外貿易の推移と現状とは下記國別及種別の各統計が仔細に之を表示して居るが、其内（イ）製品に於て外國品殊に「ピレット」、「バー」の如き鋼品が英國市場に優勢を示して居る事實は、外國に於ける大量生産の影響と看るべく又歐洲大陸が剩餘生産を英國市場に注入する此現象は、大陸の操業を大に助成すると共に、必然英國當業者の損失、能力減殺乃至高價生産を招致する結果になるが、最高級品に至つては輸入額僅少なるのみならず、英國品は海外

市場を壓倒して居り、更に（ロ）貿易國に於ても英領土に對する輸出は戦前より増大し、愛蘭自由國の建設、大戰による領土の擴張を考慮に容れても、其増加率は多大の發展と云ふべく、只此増加傾向が英領土一般に亘らざることは、對北米、南米諸國輸出減と共に留意すべき點である。

(一) 鐵、鋼及其製品の輸出國統計

仕向國	(單位千噸)					(單位千磅)					比 例
	一九三三年	一九三四年	一九三五年	一九三三年	一九三四年	一九三五年	一九三三年	一九三四年	一九三五年		
歐洲大陸	一、三三〇	一、一〇七	九七七	一一、八八九	一六、五六八	一三、八六四	二一・五	三三・二	二〇・三		
獨逸	一九九	八九	七六	一、六九一	一、〇八一	一、〇三六	三・一	一・五	一・五		
和蘭	一四六	七七	一〇一	一、四四八	一、七〇三	一、八八五	二・六	二・三	二・七		
白耳義	二二六	一六七	一二二	一、〇五二	一、二九	一、三三七	一九	二・六	一・八		
佛國	一〇三	一一三	七三	一、五九五	二、二七五	一、三三四	二・九	三・一	一九		
西班牙	四三	五〇	五一	九〇〇	一、三三六	一、三三四	一・六	一・八	一・八		
伊太利	一四	三三	一〇六	九七	一、〇八八	一、一四五	一・六	一・五	一・七		
愛蘭自由國	一	七	六	九七	一、〇八八	一、一四五	一	二・八	二・六		
印度	八二	五五	五九	九、四九一	一〇、四五三	一〇、六六六	七・一	一四・〇	一五・七		

品名	出	入	出	入
ワイヤーネール(ステー アルチを含む)	不詳	四九七	四九・六	六九・四
鐵鋼製品全額	一、八四九・二	四、七四六・九	二、四三九・四	三、八五〇・四
	二、七九・九	三、七三・四	二、七九・九	三、七三・四
	四、四〇六・一	四、一九九・七	五八〇	七〇・二
			七〇・三	六三・一

(五) 鐵鋼業の將來

世界生産額は戦前の比例によつて無限に増加し得ないと共に、年生産又は需要額の限界が未到の問題であることも明瞭である。寧ろ世界の生産及需要の遞増は、現在一時的澁滞を経験して居ると見るべく、而も世界生産額の左記表示から鐵鋼業が既に復活の途に在ることも推論し得られると思ふ。

年次	銑鐵	ステイルインゴット及カステインダ
一九一三	七七、九〇〇	七五、一五〇
一九二〇	六二、八五〇	七一、二一〇
一九二一	三七、六八〇	四三、四四〇

世界生産額 (單位千噸)

一九二二	五四、七八〇	六七、八六〇
一九二三	六八、九一〇	七六、九八〇
一九二四	六七、二〇〇	七七、四五〇
一九二五	七五、九二〇	八九、一五〇
一九二六	七七、七四〇	九一、七〇〇
一九二七	八四、四六〇	九九、五七〇

更に鐵鋼品の國際貿易額は戦前著しく増大し、戦後も遞増の趨勢にあることか看取せられ又英國鐵鋼業にとつて新興諸國の生産の勃興及關稅壁の存在を無視し得ないといへ、新生產國の一部は其需要の小部分を自給し得るに止り、且多くの國は大規模の鐵鋼業を樹立するに至つて居ない。従て英國鐵鋼業が國際市場に關與し、一般の需要増加によりて利益を享受する現狀に省み、其將來は他の輸出國、特に歐洲大陸の同業との角逐に於て、其長所殊に品質の優越を保持する能力如何に依繫すると言はねばならぬ。

昭和三年九月十日 海外經濟事情第二六號所載

印度「タタ」製鐵會社罷業績報

本件に關する本月十五日著カルカタ駐在總領事村井倉松電報左の如し。(外務省)

其後「タタ」は前電所報(去月九日及同十八日本欄參照)六月二十六日發表の工場再開條件の結果思はしからざりに鑑み七月二十八日右條件を緩和し讓歩的態度を示したる結果復業者漸次増加し八月上旬に於て八千人を超ゆるに至りたるも罷業指導者は之に對抗し強硬分子の結束を固めて復業者に對し妨害手段を取りたるため充分の復業者を得るに至らず茲に於て會社は八月十日最後の通告として八月十四日より八月二十までに於て所要人數(一日約三萬人を要すと謂ふ)に滿つるまで復業の申込に應ずるも之に滿たざる場合には他より新規雇入を爲すへき旨發表せり。

尙ほカルカタに於て取調へたる所に據れば前電以後の鋼鐵市場は「タタ」製品益々拂底を告げ Rods, Joists 等は全く在荷無く Bars, Angles, Tees 等は更に噸當り凡そ三四留比方甚しきは六七留比方騰貴し居れり(歐洲品の輸入あるものは相場幾分緩和せられ居れり)今後も尙ほ騰貴の見込にして銑鐵には依然影響なご因に六月(括弧内)及七月中の同社生

產噸數は

Pig Iron	一六三二二(一三三七六一)
Bars Angles and tees	一三八〇(九)
Plates	八二九(六)
Galvanized Sheets	六四(八九八)
Bar mill billets	四九(一)
28 Inches mill billets	二五九〇(〇)
Tin bars	七三八(〇)

なりこか目下にては Finished Steels 一日約三百五十噸を産すと謂ふ。

昭和三年八月二十一日號官報掲載

歐米各都市實際賃銀比較

アイアン、エンド、コイル、トレード、レピウ一九二八年八月三十一日所載

歐洲及北米の各都市に於ける實際賃銀の算定に關する統計國際勞働局より發表せられたり
 斯の如き比較は多少の誤謬を伴ふことは勿論にして、又國際勞働評論七月號中に掲げられた
 る統計を讀むに當つては、諸種の手當を考慮に入ることゝを忘るべからず、本統計は十八都
 市に於ける勞働階級の實際賃銀の比較を示せるが但しこは平常時の率に於ける四十八時間の
 勞働賃銀を以て購買せられ得る食糧の量に依りて測定されたることを記憶せざるべからず。
 勞働者は、各都市に於ける建築業、機械工業、家具製造業、印刷及製本業に於ける各種代
 表的の成年男工に限られたり。

國際勞働局は其の計算を一九二八年四月現在に取り而して別表の如く八欄の異なる基礎
 に於て比較せり。最初の六欄迄は、勞働階級食糧消費高の標準を國別に取つて比較せるもの
 第七欄は、關係諸國に對する一般平均を示す食糧消費高の集成標準を基礎として比較せり、
 最後に第八欄は此の集成標準を基礎とし各國に於ける勞働者の經費豫算に表はれたる家賃の

割前を斟酌して修正を加へ比較せるものなり、各場合共倫敦を一〇〇とせり。

英國の食糧標準を基礎とせる場合の第三欄に於ては、歐洲の十五市中倫敦と比肩する都市は、コーペンハーゲンとダブリンの二市に過ぎず又同欄に於て巴里の指數が四三とあるは聊か奇異の感無しとせず、尤も英國の食糧消費高標準は、倫敦にて普通販賣せらるゝ上等牛肉及羊肉が殆んど得られざる大陸都市と倫敦との差等を大きくすることは一般に認めらるゝ所なりと雖餘りに其の差の大なるに驚かざるを得ず一方本統計に収録せられたる亞米利加の二市、フライデルフイヤとオツタワどが倫敦より遙かに上位に在ることは言ふ迄もなし。

食糧消費高基準の轉換に伴うて各都市の地位又轉換せり即ち佛白の基準に於ては倫敦基準が下位に於ける巴里の指數四三は五三に上り伯林は逆に六七より六三に下れり。維納に在るは當然なり、又全都市中最も下位に在るはワルソーにして倫敦基準に於て三四、中央歐羅巴基準に於て四四%を示せり。

食糧消費高の集成標準を示す第七欄に於ては、倫敦は其の優勢の他位を若干失へりと雖尙八都市は倫敦より五〇%以下に在り、家賃を斟酌せる第八欄に於ては、又若干地位の轉位を見る。全欄を通じ倫敦の地位に稍接近せるは、亞米利加は別として、アムステルダムとスト

ツクホルムの兩市あるのみ。

本統計表を見るに當り特に注意すべきは、加熱、點燈、家具、衣服及其他普通の消費物資の經費を全然計算に加へ居らざる點に在り、又四工業に於ける二三の代表的職工のみを取れることも注意せざるべからず故に國際勞働局編纂の本統計は、比較の爲めに撰擇せられたる都市及職業に於ける實際賃銀を概略比較するの資に過ぎざるものとす。

尙參照の爲め「歐米勞働賃銀の比較」と題する横濱正金銀行の調査に係はる統計を末尾に添付す。

倫敦及歐米各都市に於ける實際賃銀比較指數 (消費食糧ヲ基礎トス)

都市名	佛白ノ食糧消費高標準ヲ基礎トセル場合							勞働者ノ家庭ニ於ケル各種食糧消費高ヲ基礎トセル指數		食糧ノニケル平均指數		家賃ノ平均指數	
	(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)	(七)	(八)	一般指數	平均指數	一般指數	平均指數	
London	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
Amsterdam	八五	八三	九七	八四	九三	八四	八五	八五	八五	八五	八五	八五	

中央歐 英國 南歐 スカンディナヴィヤ諸國 海外

佛白ノ食糧消費高標準ヲ基礎トセル場合

中央歐 英國 南歐 スカンディナヴィヤ諸國 海外

食糧ノニケル平均指數 家賃ノ平均指數

譯者

Berlin	六三	七	六	七	七	七
Brussels	四七	四	四	四	四	四
Copenhagen	五五	二六	一〇〇	九	二九	一〇
Dublin	七	一〇四	一〇三	六	一〇一	一〇
Lodz	三	三	三	六	四	四
Madrid	五	五	五	五	五	四
Milan	四	四	四	五	五	四
Ottawa	一四	一五	一七	一六	一六	一
Paris	三	三	三	五	五	一
Philadelphia	一六	一〇	一八	一七	二〇	一
Prague	四	五	四	四	五	一
Rome	三	四	四	四	四	一
Stockholm	八〇	六	八	七	一〇	一
Tallinn	元	元	四	四	五	一
Vienna	七	四	四	四	五	一
Warsaw	六	四	三	四	五	一

備考 各場合トモ倫敦チ二〇〇トス

ヨーロッパやアメリカの労働賃銀の比較

横濱正金銀行調査課 (三年十月三日官報附録所載)

合衆国外數箇國における各種労働者に關する數字が先頃労働統計局から發表されたが、これによると、アメリカの労働賃銀は他國に比して、はるかに高いばかりでなく、一九一三年以來その騰貴率は常に生活費のそれを上回つていて、労働者の懐工合は従つてよいことになつてゐる。

それは左の表によつてうかがはれることである。

オースタリー	煉瓦工	大工	建築職工	石炭礦夫	農業労働者	工場労働者	同上普通職工	水夫
ベルギー	一・三	一・三	〇・九	一	一	一	一	一
フランス	一・七	一	一	一	一・五	一	一	一・七
ドイツ	一・四	一・六	一・七	一	〇・六	一・八	一・四	三・〇
イギリス	一	二・六	一	二・〇	一・七	四・五	一・六	四・〇
イタリー	一	一・三	一	一	一	一	一	一

ノルウェー	1	1	1.6	1	1	1	1
スイーデン	1	1	1	1	1	1	1
チエツコスロバキヤ	1	1.3	1	6.6	1	1	1
アメリカ	3.6	10.6	3.9	9.5	2.6	7.6	3.6
							100.0

合衆國において労働賃金の最高點に達したのは、一九二〇年であつた。當時一時間あたり労働賃金は(農業労働は別として)、これを一九一三年に比すれば一三四%だけ高なつていた。

一九二一の不況からやゝ低下したが、なお一九二二年には一九一三年の倍以上であつた。

一方生活費の方は、一九二〇年には一九一三年に比して一〇九%の高位にあり、二一―二二兩年は下落し、爾來一九二六年まで比較的著しい上騰を認めなかつた。

一九二六年の生活費指數は、一九一三年比して七五%の高位にあつたが、翌二七年には約一・五%の下落を示している。

以上より推して、アメリカ労働賃銀の純増加率は一九一三年に比して、一時間あたり一九二〇には一二%、一九二六年には三〇%となるのである。労働組合加入者はさらに恵まれていて、組合賃銀率は一九一二年以來上昇して、一九二六―二七年にいたつては、やはり、

一九一三年を基としてこれ等組合労働者一時間あたり賃銀は一九二六年には一五〇%、一九二七年には一六〇%の上位にあり、一九二七年の生活費は一九一三年に比し七二・七%の高位にあるから、これはそれぞれ四三%および五〇%の實際賃銀の増加とゆうことになるのである。

鐵 鋼 市 況 (其の一)

獨逸の製鋼界事情

アイアン・エージ 七月二十六日

- 一、産鋼減の豫想
- 二、市場軟弱と輸出の不振
- 三、内國消費量の不定
- 四、鋼コーポレーション利益漸増
- 五、製鋼業は譬へ損失を以て輸出するも其の財政能力は鞏固なり
- 六、日本との取引に關し獨乙の線材カルテル中に闘争始まる

伯林七月七日發

内國市場は月初めより依然軟弱の歩を辿り輸出は不良の度を増しつつあり。

ヅツセルドルフの消息通は曰く「本年後半期に於ける生産の維持は主として輸出の如何に依るものと思惟せらるゝも深刻なる不景氣狀態到來するとせば輸出の増加を如何に多く見積るゝとも歴延工場の多數は閉鎖の止むなきに至るべし、何となれば景氣時に於ける内國消費量

の動搖余りに激しければなり」と

一九二七年に於ける鐵鋼の内國月平均消費量は、一、四八四、〇〇〇噸なるも一九二六年には僅に八八三、〇〇〇噸に過ぎず、而して本年一月には一、七一八、〇〇〇噸の多きに達したるが五月には一、三二五、〇〇〇噸に落下したり尙六月の消費量は更に低落を豫想せらる。此れが爲め市當局及其他の公共団体は、公共事業(交通機關をも含む)の着手を出來得る限り不景氣時期に集中して以て生産の變動を緩和し此れに依りて備役状態を一様ならしめんとする方法を講じつゝあり。

鋼の注文尠く、壓延工場は主として五月の價格値上以前に發せられたる舊注文を以て作業す、建築用鋼材に對する需要は減少せざるも大口の注文を見ず、バー市場は閑散にして短期ものゝ契約あるに過ぎず、薄板物は沈滞せり加ふるに半製品の需要も下向に在り。輸出の不振はアントワープのドック罷業にも其の責あるを免れず、一方競争激しく價格は幾分下落の氣味あり。

佛蘭西及ルクセンブルグの製鋼所に於ては歐洲の買手に對しては其の價格を維持するも海外輸出に於ては之を犠牲にしバーの如きは五磅一二志(FOB) (五磅十二志は邦貨換算約

六十圓)を以てす此の輸出の不振は六月に始まりたるも其れ以前は獨乙の外國貿易は順調の歩を辿れり、五月の重鐵鋼(機械を除く)輸出額は二一二、〇〇〇噸と云ふ近來になき高額に達したり、一月より五月迄の月平均輸出額は約一六〇、〇〇〇噸にして昨年同期間の平均は一三七、〇〇〇噸を示したり。

佛蘭西及白耳義よりの報道に依れば現在に於ては鐵鋼價格増進の見込無し、佛蘭西の法の安定は、恐らく向後暫くは金の眞價格を恢復する上に何の効果も與へざるべし此の推論は白耳義の經驗より成せるものにして、同國の通貨は長らく安定を保てるも其の價格の水準と賃銀とは今尙金のベースに回復せずと云ふ。

獨逸のスタール・ウインド・アイゼン誌は豫言して曰く、「法の價值の下落(舊價值の約五分一)は佛蘭西の爲めに永久に順調なる競争状態を産出すべし」と

こは、獨逸が内國價格以下にて又生産費以下にて競争的輸出を持續すべきことを意味せり獨逸の財政的能力が此の負擔を支持し得べきことは疑なきものゝ如し、フランクフルテル紙は「最近の産業景氣は量の景氣にして利益の景氣にあらず」と云ふ製鋼業者等の論争を反證する目的を以て獨逸コーポレーションの利益の精密なる分解表を公表せり、各種産業に於け

る主なるコーポレーション八十五社の支拂へる配當金額の推移は馬克の安定後次の如し。

一九二四年	一七一、三〇〇、〇〇〇馬克
一九二五年	二二八、六〇〇、〇〇〇
一九二六年	二七三、六〇〇、〇〇〇
一九二七年	三五七、九〇〇、〇〇〇

若し配當金のみならず準備金の増額を勘定に入るとせば、コーポレーションの内最も良結果を収むるものを鋼及石炭のコーポレーションなりとす、今準備金の増額を別として眞の所得狀況を示せば兩コーポレーションは一九二四―二六年の三ヶ年間に於て約五倍の増進を示せり、コーポレーション八十五社の内、一九二四年に於ては無配當のもの二十九社を數へたるが一九二七年には僅に五社に過ぎざりき、一方一割以上の配當をなせるもの一九二七年には二十八社を算したるも一九二四年には僅々四社に過ぎざりしなり。

右の調査は政府の貿易推移調査協會の數字と合致し居れり尙同協會は「不景氣に損失を以て輸出するも財政は十分に革固なる工業」の一として製鋼業を指摘し居れり。

日本との取引に關し獨逸の「線材カルテル」中に鬭争を惹起せり

(アイアン・エーヅ 七月二十六日)

漢堡七月六日發

最近日本との取引に關し獨逸線材カルテル中に鬭争開始せられたり從來日本は四月迄は月五千屯乃至八千屯の線材を獨乙より輸入せるが五月の輸入は(五月には價格の増進を見たり)四月の七千三百屯に對し三千二百屯に減じたり此の虛に乘じ亞米利加及加奈陀は競争を挑みつゝあり獨逸商人は日本との取引回復に努む。

英國産鋼材に對する需要更に旺盛

(アイアン・トレード・レヂイウ 七月十九日號抜萃)

大陸よりの競争減少の結果相場益々強含み——印度産銑鐵ガラスゴロに移入を見る——白國波止場人足ストライク調停濟——獨逸輸出市況沈靜——銑鐵生産額年間を通じて最少額

倫敦七月十七日

大陸よりの競争激減の結果として本週中に於ては英國鋼材市場に於ては更に活況を認むることを得、建築用鋼材及びピレット生産工場は更に般盛を加ふるに至れり。鐵道方面に於ては注文を發しつつあり、現在に於てはワイヤードは大陸より得ること不可能にして且一般競争の制限の結果價格は強含みを示しつつあり。スタフォードシャー・チエーブ業は活氣を呈しつつあり。亞鉛引鋼板に對する可成の取引引合中央アメリカ地方及西印度諸島方面より來りつつあり。殖民地向鐵道車輛に對する數種の契約英國メーカー側と締結を見るに至れり。銑鐵市場は沈靜なり。印度銑鐵五百屯分近來グラスゴー地方に移入を見る。

六月中英國に於ける銑鐵生産額は五月中に於ける五九一、五〇〇屯に比し五六三、七〇〇屯を示す。六月三十日現在作業中の高爐數は一四一基にして五月三十一日現在に比し六基減なり、因に六月中に於ける鋼材生産額は五月中に於ける七五二、七〇〇屯に對し七〇九、五〇〇屯なりとす。

次に六月中に於ける英國に於ける銑鋼輸入額は五月中に於ける二三六、八五二屯に比し二一〇、四〇五屯にして輸出額に於ては、五月中に於ける三五九、九一七屯に對し六月中は三六五、八九〇屯なりとす。

アントワープよりの報道は波止場人足罷業の調停済となり白國銑鋼市場の強固を報す。佛國銑鋼工場は注文充溢し相場は強含みにして一般概況は満足すべき状態にあり。獨逸に於ける輸出狀況は沈靜にして六月中銑鐵生産額は本年に入りてよりの最少額を示すものとす。

白國鋼材相場更に軟弱氣配

ブラッセル六月二十九日

白國市場に於て目下悲觀材料を提供するものは、近來の満足すべき相場は八月迄の維持も至難なりとせらるゝの事實にして更に相場低落を伴ふべしとの恐怖感專なり。

アントワープに於ける波止場人夫の罷業は繼續せられ罷業團は工務郷の提議を拒絶せり、これ其の提議中に船主との商議開始に先達ち仕事開始を示せるを以てなり。

白國フラン安定の結果状態に更に對應せしむるため白國關稅率を上げべきものなりとは一般に知悉さるゝ所にして、この變更は七月一日に實施を見るべき筈なりしなり、然れども委員會を組織せる四大臣に於て更に經濟問題につき研究を開始することとなり且外國諸國との協議の結果、新關稅率の實施延期をなすこととなりしなり。因に關稅率に關する部分的變更

は既になされつゝあり、且諸外國との商議も亦既に開始を見つゝあるなり、而してこの商議終結を見るには少くとも數ヶ月間はかゝるものと見ざるべからざる結果よりするも、この新關稅の實施延期は當を得たるものと思料せらる。

六月二十六日デュツセルドルフに於て開催されたる歐洲スチール、アンタントの生産割當額を現狀に維持すべしとの決議は相場低落原因の一部分をなせるものと言ふを得べし、何者生産割當額は増額を見るべしと一般に豫期されたる所なるを以てなり。歐洲銑鐵アンタントは相場を従來通りに維持することに決定せり、即ち鑄物用銑(含硅素量二・五—三・〇%)はアントワープ渡一佛屯當り三ポンド三志(一五・二五弗)の相場を維持するに到れり。

半成品相場の低落は屯當り二志乃至三志(五〇仙乃至七五仙)なり即ち六吋ブルームは四ポンド四志(二〇・四〇弗)を提唱するも、英國側買手は四ポンド一志(一九・六五弗)以上にては買収に應せざるが如し。二吋ビレットは四ポンド十三志(二二・五五弗)に安定、三吋及四吋ビレットは四ポンド十志(二一・八五弗)シートバー、四ポンド十四志(二二・七五弗)の相場なり。バーに於ては三志(七五仙)方の低落を示す、即相場は五ポンド十二志六片(二七・二五弗)に落下せしも更に五ポンド十三志(二七・四五弗)まで高昇を見たり。

ビーム及形鋼に於ては佛國工場中多量を普通型四ポンド十四志(二二・七五弗)英國型四ポンド十六志(二三・二五弗)を以て提供せるを以て、これに相應せる相場低落を示す。

アントワープ波止場入夫罷業に關し、アントワープ船主同盟及同地商業會議所より商館宛の通信によれば波止場人夫は六〇〇票對七〇〇票を以て罷業を繼續すべき旨決定せりと報ず更に全世界の船主を包含しその中央事務所を倫敦に有する、國際海事協會の援助によりアントワープ船主同盟は罷業團の行動に對抗し如何なる讓歩をもなさざることに決したり。

歐洲鋼材取引緩漫

(アイアン・トレード・レビュー誌七月二十六日號抜萃)

英、佛、獨方面に於ては注文減少を報ず——英國軋力板工場に於ては秋期二度の強制的操業停止時期を決定す——白國輸出業満足すべき状態に在り

倫敦七月二十四日

英國鋼材市場に於ては近來印度よりの取引引合の結果が現實注文となりて來ることの少なきたり以前よりは沈靜の度を増すに到れり。ウェールズ地方製鋼工場方面に於ては大陸工場

の唱ふるビレット相場の高昇により景氣を恢復しつつあり。獨逸はストリップに對して盛に競争を挑みつつあり。亞鉛引鋼板市場は更に強固の度を増したり。鋳力板取引は大いに下向き氣配にありて製造家側に於ては八月より十一月の間に於て強制的操業停止期間を二度採用することに決定せり、ハードフィールド地方に於ては、ニュー、サウス、ウエールス向満俺り鋼製レール一〇〇〇屯分の注文を獲得せり。

英國産銑鐵市場も亦制限さる、ミッドルスポロ地方に於ては銑鐵生産額を減少しつつありて秋期迄には景氣恢復を期待することは困難なりとす。

巴里よりの報道は銑鋼市場の靜穩なるも各種組合に於て相場を維持しつつあるため相場は強含みなることを報じつつあり、伯林よりの報道によれば獨逸の輸出向方面は取引緩慢なるも、英國及米國に對し釘の輸出可成の數量に上るを報ずると共に内國銑鋼商業は沈靜せるを知らしむ、白國輸出向方面は満足すべき状態にあり。

英國鋼材取引界輸入漸減のため活氣旺盛

バーミンガム(英蘭土) 七月十三日

本週バーミンガムに於て開催されたる年四回の大會合に於ては銑鋼業界に於ける不安を一掃するには何等の貢獻する所も事實上なごせざるべからず因に總ての關係工場地帯より代表者の出席を見たるも多分この會合に於て會心の笑をかべたるは鋳力板市況の恢復によるウエールス地方代表者のみ、然れども鋳力板に對する注文を支持したるは單に錫相場の低落によりたるものなるを以てこゝに於ても其他位はなほ幾分不安を免れざる所なりとす。本月の海外貿易時報は輸入のなほ減少傾向を示すより見て幾分の活氣を鼓舞する所あらんか、即ち大陸産成品半成品の購入の減少は他面國內鋼材市況の好轉を意味するものなればなり。

亞鉛引鋼板取引に於ては多數の引合特に中央アメリカ及西印度諸島より來りつつありて相場も底強く十三ポンド十志六片(八五弗)乃至十三ポンド十志(六五・六一弗)なりとす、スワンシー方面よりの報道は該方面に於ける販賣價は高昇せることを指示す。鋳力板に對する需要は過去數週間中程は強固ならず。

建築用鋼材製造工場に於ては微かながら活氣の増大せるを認むることを得る所にして注文は鐵道工事に附屬して橋梁及築造及停車場の改築等のため注文到來しつつあり。壓延工場方面に於てはビレットの供給を一般に英國内工場に需めつつありて或種工場特にサウス、ウエ

ールス地方に於てはビレット、バー及びスラップ等に對する可成の注文を把持しつゝありてビレットに對する標準相場は屯當り六ポンド(二九・一六弗)なるも目下六ポンド五志(三〇・三四弗)を要求するもの多く至急材料を必要とする場合に於ては六ポンド七志六片(三〇・九八弗)の相場を實現しつゝあり。ワイヤードは大陸方面よりは得ること困難にして英國内製造家側に於ては九ポンド十志(四六・一七弗)乃至九ポンド十六志(四七・三八弗)を提唱するに到れり、大陸側の競争は少範圍に限られつゝありて常に購入も少規模なりとす或程度迄の材料は各港に輸入を見つゝあるもこは遠き前に締結されたる契約の實行として引渡されつゝあるものに外ならず。

近來六ポンド十志(三一・五九弗)程度を以て移入を見つゝあるバー・アインは大部分スタフ・オードシャー方面に於けるポルト・ナット製造工場によりて使用せられつゝあり、然れども該材料供給の不充分なる結果相場は一翻を來し十ポンド(四八・六〇弗)を表現したるため、スタフ・オードシャー地方に於ては該材料を其の地本に於て供給をうくるに到るが如き一大轉換を來すに到れり、メデイウム・バー及マークド・バーの製造家は從來よりも確固たる歩調を採るに到れり。

車輛製造工場方面に於ては内國に於ける取引殆んど無く大部分其の能率を外國及英殖民地よりの注文充實に向けつゝあり、然れども競争激甚にして英國側に於ては常に注文獲得につきては激裂なる大陸との競争を覺悟せざるべからず。

大陸相場の方面を見るに、カルテルは銑鋼市場の現状を顧慮するために會合を開くこととなりたり、尤も目下の所に於ては相場値下げを暗示すべきものは何等これを認めざるも少くとも國外契約に關してはその政策を改訂するに至るべき可能性ありと認められつゝあり。ミッドランド地方に於ける銑鐵相場は弱含みにして、ノーサムプトン地方に於ては三ポンド十志(一三・二六弗)と云ふが如き低價を以て販賣されつゝありて、ダービーシャー地方にては二ポンド十九志(一四・三二弗)を示しつゝあるも生産制限の親玉たる北部スタフ・オードシャー地方に於ては相場強含みにして三ポンド三志六片(一五・四二弗)を示しつゝあるもロール鑄造用及壓延工場機械類製造用として冷風銑の需要多大なりとす、これ製鋼工場方面に於ては目下各工場の改造を要求しつゝありて特にサウスウエールス地方は鉄力板製造用に使用する小型ロールに對する良顧客となりつゝあるを以てなり。

スコットランド地方銑鋼製造工場方面に於ては從來沈靜の極にありたるが工場の大部分は

本日休業を延し工場を閉鎖せり然れども彼等は八月に於て再び花々しき開始をなさんことを望みつゝあり、前週中グラスゴーに輸入を見たるものの内印度よりの銑鐵五〇〇屯は注目しに價す。

鑄鋼製造團體の會議

巴里七月五日

佛國に於ける鑄鋼シンヂケートの組織問題は其の經過に於て一步を進めたり、過日主要鑄鋼工場三十工場の代表者の出席を見たる會合に於ては該計畫は一般的に是認賛成を見たるも佛白工場（フランコ・ベルギヤン・ファーム）の一部のものは留保をなしたり、然れども最後に於て將來に關する特殊行動につきては各團體員に委任することを絶体に避け單に該問題に關する徹底的研究をなすため一團體を構成することに決定せり。

英國輸出相場低廉

倫敦六月二十五日

商務局時報五月號に於ては銑鋼製品に付ての英屯當り平均輸出相場を掲ぐ、此等の數字は數ヶ月前になされたる事實上の契約より檢集したるものにして従て此等相場と公表標準相場との間の差異を明にすることを得べし。五月中に於ける相場は一年前に於けるものに比較し一般に低廉なり但しビーム及軌條はこの例外となす、前月に比較するに亞鉛引鋼板及鑄物用銑鐵相場は事實上同一にして軌條の相場は聊か高昇せるも他の製品は全部前月に比し低廉を示す。

鑄物用銑鐵は一年前に比し十九志（四・六一弗）の低下にして本年四月に於けると同様なりビームは一年前よりも一ポンド七志七片（六・六九弗）方高く本年四月に比するときは十三志五片（三・二五弗）方の低下なり、軌條は一年前に比し一ポンド二志七片（五・四八弗）方高く本年四月に比するも十四志九片（三・五八弗）方の高昇なり。プレートは一年前よりも六志（一・四六弗）方の低廉にして本年四月中に比するも亦十一志三片（二・七三弗）方の低下なり。ブラック・シートは一年前に比し一ポンド十八志十片（九・四二弗）方の低下にして本年四月に比すれば四志三片（一・〇三弗）方安し。

商務局時報に依る五月中英國平均輸出相場

鑄物用銑	三ボンド十三志一片	(一七・七二弗)
ビーム	九ボンド十六志〇片	(四七・五三弗)
軌條	九ボンド五志九片	(四五・〇四弗)
プレート	九ボンド十五志二片	(四七・三三弗)
ブラックシート(1/8吋以下)	十二ボンド一志九片	(五八・六二弗)
亞鉛引薄板	十五ボンド六志九片	(七四・三八弗)
鋳力板	十九ボンド九志四片	(九四・四一弗)

白國輸出額四月中減少を示す

ブラッセル七月九日

四月中白國及び、ルクセムブルグよりの鋼材輸出額は三月中に於ける四五八、三七七屯に比し三二一、七二八佛屯にして多大の減少を示す更に銑鐵輸出額に至りても三月中に於ける一一、九七一屯に對し四月中に於て九、五八三屯にして同じく減少を示せり、右四月中に於ける輸出品の主なるもの左の如し。

形鋼	五一、四四六屯
半成品(スチール)	四八、五〇〇屯

プレート及シート	四四、五五五屯
ワイヤー	二〇、六四九屯
軌條	一三、一三四屯
フーア	一一、九五〇屯
釘及ボールド	一〇、七五九屯

次に四月中白國及ルクセムブルグの銑鐵輸入額は三月中に於ける四三、六一二屯に比し三六、七六九屯にして更に四月中白國及ルクセムブルグの鋼材輸入額は三月中に於ける三一、二九四屯に對し二九、二〇三佛屯にして本年に入りての最少額なりとす。

比較表を示せば左の如し。(單位佛屯)

月當り平均	輸入額		輸出額	
	銑鐵	スチール	銑鐵	スチール
一九二五年	二七、〇九五	一五、八六〇	八、〇六〇	二四二、三二五
一九二六年	二七、五〇五	二七、二六五	一三、一〇五	三〇四、〇七五
一九二七年	三一、七六〇	二七、七一五	一一、三五〇	三八七、四一五
一九二八年一月	三七、六二五	三四、三五七	六、七九三	二八九、八五四
二月	四〇、二九三	三七、四八一	七、九五二	四〇一、五〇二
三月	四三、六一二	三一、二九四	一一、九七一	四五八、三七七
四月	三六、七六九	二九、二〇三	九、五八三	三二五、七二八

米國側輸出取引上英國側に接近す

(生産割當額と罰金)

デユンセルドルフ七月六日

歐洲スチール、アンタンの執行委員會の會合は六月二十六日テユツセルドルフに於て開催せられたり、而して五大組合員國に對する割當生産屯數は依然年額二九、二八七、〇〇〇佛屯に決定せり、この數字は一九二七年四月一日以來不變のものなり。因にこれに先達ち各地に於ては一般に割當生産屯數の増加を豫期したる所なるが委員會當時に於て春期以來の活氣は既に凋落の兆を示すものと感せられたるよりして生産割當屯數は増加せざることに決定せるものなり。

佛國は今回初めて本年第二期(一期は三ヶ月間)間割當生産屯數を超過したるを以てこの超過部分に對しては屯當り四弗を支拂はざるべからず、更に亦罰金を料するにつきても何等の方法には變化をなさざることに決定を見たり、従つて獨逸の割當額も依然二部分に別たるることに決定せり即ち、一は國內市場に他は輸出向との二部分に分つものにして、輸出市場向のものにつきては超過部分につき屯當り四弗内國市場向につきては全様單に一弗の罰金を科

するものなり。當委員會に於ては更に白國及チエコスロヴァキヤ兩國より其の割當額の増額を請求したるもこれに關する協議は次回委員會まで延すこととなりたりと報せらる。

尙、ユー・エス、スチール・コーポレーション及ベスレーム・スチール・コーポレーションの輸出代理店の合同も亦討議を見たりと報せらる、而して或方面に於てはこの有力なる組織機關は歐洲及海外市場に於ける競争を激烈ならしむるに至るべしと感せらるゝと共にこの新しきアメリカ輸出代表者は或英國筋と可成り密接に協同して活動するに至るべしと信せらる、この結果は實に歐洲スチール、アンタンの全組合員を包括せる輸南向販賣シンデケートの設立に對する一大刺戟となるべしと思料せらる、因に此のシンデケート設立問題に關ては過去二年間に亘りて商議されたる所なるも近來中絶せられ居たるものなりとす。

更に、チエツコスロヴァキヤ、オーストリア及ハンガリーに於ける中部ヨーロッパ製造工場に關ては、從來これらのものはアンタンの一體として代表されたるものなるが、チエツコスロヴァキヤ工場方面に於て割當額超過をなすに到りて以來此等中部ヨーロッパ団体は各國各月獨特の割當額をなされんことを要求せしが今回の委員會に於て許可する事に決定を見たり。

エム、メイリツシユ氏の死後空席となり居るアンタント會長の席には、アルベッド社長のエム、マイヤー氏を据へることに決定を見該氏はこれを受諾せり。
 尙右委員會と略同時に倫敦に於て開催されたるヨーロッパ、レール、メーカーズ、アツンシエーションの會合に於ては、レールの輸出相場はこれを變更せず従前通りアントワーブ渡六ポンド七志六片(三〇・九〇弗)の相場を持續することに決定を見たり。

佛國銑鋼輸出額減少

巴里七月九日

四月中佛國鋼材輸出額は三月中に於ける三七七、三五一屯及二月中に於ける四一五、一四八屯(レコード月なり)に對し三一九、七五三屯にして減少を示す、因に此の四月中の輸出屯數は本年に入りてよりの最少額にして主として此の期間に於て國內市場の活氣充分にして採算充分なりし結果輸出市場に於ける少々の利益を放棄するも尙ほ有利なりしに基因するものなりとす。更に四月中銑鐵の輸出額も亦三月中に於ける五七、五三四屯に比し減少を示し四六、四九九佛屯なりとす。

他方四月中佛國鋼材輸入額は三月中に於ける八、九一三屯に對し一〇、三四八佛屯にして輸入銑鐵は三月中に於て四、四二二屯に對し四月中に於ては二、八六四屯なりとす。
 因に佛國銑鋼輸入額比較表を示せば左の如し。(單位佛屯)

月當り平均	輸 入 額		輸 出 額	
	銑 鐵	スチール	銑 鐵	スチール
一九二五年	二、六九三	一一、七〇三	五八、八三五	二七二、二七〇
一九二六年	一、九九〇	一一、九三〇	五八、五四五	二六四、五三〇
一九二七年	三、二三〇	六、四九〇	六九、六四〇	三六三、三〇五
一九二八年一月	二、四七二	三、六六三	五七、四九六	三二八、二六九
二月	五、二四六	七、五四八	四九、五一五	四一五、一四八
三月	四、四二二	八、九一三	五七、五三四	三七七、三五一
四月	二、八六四	一〇、三四八	四六、四九九	三一九、七五三

佛國銑鋼市場穩にして常態に近し

巴里七月六日

佛國內市場は從來に比し靜穩なれども注文は相當に在りて各工場は多數の注文を把持す、

市場の活氣は目下常態にして且満足すべきものなりと思考せらる。佛國內多數工場は再び輸出市場に現るゝに至れり、これ特に本年初めに於ける強大なる需要に鑑み高爐中再活動をはじめたる等に基因するものなり、然れども一月前に於けるが如き輸出市場に於ける有利なる高相場を利用せむとするには既に時遅きの感深し。

國內市場相場のレベルニ關しては目下各組合に於ては價格安定を維持するには充分の力ありて且政府の大建築計畫の採用によりて鐵鋼業界に與ふる刺戟も亦大なりと信せらる。

半成品及ビーム相場は組合によりて一定せらるゝ所によれば従前と變化なし。プレートは佛屯當り八〇〇乃至八二〇フラン（三一・四五弗乃至三一・一五弗）相場にして中間厚み、シートとの相場は三五〇フランより八七〇フラン（三三・三〇弗乃至三四・一〇弗）なりとす。薄番物市況は満足すべき状態に在りて相場も強含みにして一一二〇フラン（四四弗）にも達しつゝあり。プレート及シート、シンデケート組織に關する商議は未だ實を結ばず然も夏期の未だには確固たる結果の到來を豫期することは至難なりとす。ワイヤー製品の景氣は中等程度にして、ワイヤードッド相場はシンデケートによりて高昇を見たるもワイヤー製品相場は依然變化なし。

五月中獨逸鉄鋼輸出入均衡上有利

伯林七月六日

五月中獨逸鉄鋼輸出額は本年に入りてよりのレコード月たる四月には僅か乍ら及ばざるも五月中輸出は貿易均衡上有利なること従前に比し大なり、これ下表に示す如く輸入が一大激減を示し一八六、四五〇佛屯に下落したるの事實に基因す。

鉄鋼輸出入比較表（單位佛屯）

月	輸 入 額	輸 出 額
一 月	二六五、三九二	三六三、〇二六
二 月	二四〇、三二四	三九〇、七七六
三 月	二四八、三三五	三三四、七九八
四 月	二四六、四一一	四一二、八一〇
五 月	一八六、四五〇	三九八、四七〇
一九二八年乃一月至五月	一、一八三、九一一	一、九九九、八八〇
一九二七年乃一月至五月	九九六、〇七七	二、〇九八、八七〇

本年初期五ヶ月間に於ける鉄鋼輸出額は英米兩國に對する販賣額の特に減少したる結果、

前年度同期内に於ける一七七、三八四屯に比し八七、五九九佛屯にして大減少を示す、現在銑鐵輸出に就きては再び白國及ルクセムブルグと競争をなさざるべからず、然も目下白國及ルクセムブルグは獨逸メーカーが提唱し得るよりも低相場を以て提供することを得るが如き地位にあるに於ておや。

建築用形鋼の輸向販賣高も亦減少を示す、プレートに對する需要は造船所方面の要求の大なる爲め増大を見るに至れり、バンド及フープの主たる向地は英國なるも米國にも亦可成の數量の輸出を見るに至れり。

獨逸國內販賣方面に於ては活氣を失ふに至れり、獨逸造船所、車輛製造所等建築業方面に於ては新注文獲得を熱望しつつあるも現状は尤ろ沈靜なり。製造家方面に於ては彼等の銑鐵鋼塊、未成品等の生産額を減少し、數基の高爐は作業休止を見るに到れり。建築用形鋼の生産制限を行ふもの多數あるもマーチャント・バーは尤ろ多量に海外より購入されつつあり。薄物シートにつきては、シンデケート組織問題未だ落着せざるため依然として活氣薄なり。現在までガラス製造業を營みつつありし一獨逸工場は今般ワイヤロードを生産することに決したり、而してその能力は年産約二五、〇〇〇屯なりと見積らる。

鐵鋼市況 (其の二)

製鋼業保護を目的とする英國

(アイアン・トレード・レヂイウ誌八月二日號抜萃)

保護關稅實施請願は容れられざるも鐵道課稅は輕減せられむと従つて運賃額も亦低下を見るに至るべし——壓延工場方面に於ては注文多數なるも熔鑛爐方面に於ては閉鎖なむとするの現狀に在り——南亞方面に於ては車輛注文を多數發す

倫敦七月三十一日

英國政府に於ては所謂工業保護關稅の適用を請願する銑鋼工業方面よりの願出を再度拒絶するに至れり然れども來る十二月に於て鐵道に對する課稅を輕減し従つて原料に對する運賃率の低減を可能ならしむるの形式に於て彼等の救濟をなさんとの言質を與へたり。

蘇格蘭地方に於ける熔鑛爐は一ヶ月間休止を繼續したると共に他地方に於ても生産額は低減されつつあり。

英國内製鋼業は稍活氣を呈するに到り充分の注文を把持するものも少からず南阿弗利加鐵

道に於てはバーミンガムに對し車輛建造注文を發す建築用鋼材に對する需要は僅少なり。チユーブ及ストリップに對する獨逸よりの競争は繼續されつゝあり、冷風銃に對する需要は活氣を恢復しつつあり、鋳力板工場方面に於ては全能力の九十%の活動をなしつつあるも新なる注文は捗々しからず。

ブラッセルよりの報道は白國市場の強含みなるを報ず支那に於ては各種鋼材に對する注文を發しつつあり佛國製鋼工場方面に於ては充分の注文を把持しつつありて價格も安定す、獨逸工場方面に於ては南阿向七輛の汽關車及印度向二十二輛の汽關車の注文を接受せり。

英國市場建築界と運命を共にす

バーミンガム(英蘭土) 七月二十日

一般に鋼材業界に關しては靜穩なる途を辿りつつあり、こは建築界及鐵道方面よりの材料注文僅少なればなり。

然れども建築業界に於ては或範圍までの利益を上げつつありて従前よりも多量の内國產鋼材を使用しつつあるものの如くこは一面建築業界に於ける活況に基くと共に他面目下アメリカ

カ式の高大なる建築様式を廣く採用するに至りしにもよる、しかも鐵道方面に於ては材料鋼材を購買すること實に僅少なり、これ最近橋梁建設の良注文を拋棄したると一方停車場改築も現在其の極限に達したるが如きを以てなり。

外國工場より内國工場に需要を變向するの點に於ては甚だ芳しからざる成績なり、こは壓延業者に於て國外より材料を購入すること實に數千屯を以て算したるに拘らず國內工場よりの供給を受くる段に至りてはこれを極少量に限るが故なり、更にこの一原因をなすものは彼等壓延業者に於ては數ヶ月間外國材料を購入せずとするも昨年十月以來の長き期間に亘りて購入したる材料を壓延することによりてなほよくバー等建築材の多量の生産をなし得るを以てなり。

本週中大陸相場に於ては何等の變更をも公表されず、然れども鋼材需要家方面に於ては大陸相場の下落は信すべきものなりとの信念よりして購買をなすの數量少し。

輸入業者方面に於ては大陸相場が少くとも一週間に十志(二・四三弗)方落下する迄は大陸よりの輸入量を増さずと信す。ピレット生産業者方面に於ては外國物と英國物との生産費の略同様なるよりして多忙を感じつつありて特にウェールズ地方に於ける製鋼業者方面に於

ては多量の注文を把持す。

外國特に獨逸よりの競争激烈なるはブライト・ストリップなりとす工業電化の異常なる發達以來スタフオードシャー方面の工場に於ては獨逸との競争激しき高級薄手ストリップの生産に着手するに至れり、しかも當地に於て屯當り四十磅(一九四・四〇弗)のストリップは獨逸に於ては三十磅(一四五・八〇弗)を以て購入することを得べく、更に薄手物十九磅(九二・三四弗)のもの十七磅(八二・六二弗)を以て濫賣されつゝあり、然れども幸にもこの激烈なる競争あるに拘はらずスタフオードシャー地方産ストリップの購買さるゝものなほ多量なりとす。

材料鍛鐵特にチューブ・スケルプの生産者方面に於ては大口多忙を極めつゝあるも獨逸産チューブは一般に製品たると半製品たるとを問はずスタフオードシャー地方ウエンズベリーに於ては強大なる競争者なりとす。

鋳力板工場に於ては充分の注文を把持するもメーカー連は未だ強制的生産制限を安全に撤廢することを得べしとは信するに至らずして本週スワンシー地方に於て開催されたる會合に於ては八月二十七日より十一月二十四日迄の間に於て二度の強制的操業休止週間を命令する

ことに決定したり因に各自休業期間の選擇は自由なりとす、而して市場は一般に強固なれども相場は稍々下向傾向にありて一箱十八志一片二分の一(四・四〇弗)乃至十八志三片(四・四三弗)なりとす、この鋳力板相場の軟弱原因の一は錫價の低落より來れるものにして若し錫相場にして少しにても強含みとならんか直に鋳力板相場の恢復及買氣の増大を來すに至るべしと思料せらる。因にテイン・プレート・バーはウエールス産のもの依然六磅(二九・一六弗)なるも外國産のものに至りてはサウス・ウエールス渡五磅四志(二五・二七弗)を以て購入し得べし。

銑鐵市場の現況は國內全地方の頭痛の種である、即ちミッドルスポロー地方メーカー側に於てはこれ以上の値下げをなさざること決定したると共に其の結果生産額の統制を嚴にするに至れり。G.M.B.三號銑は辛して三磅六志(一六・〇三弗)の相場を持続するも東岸地方産へマタイト銑は非常に弱含みにして三磅八志六片(一六・六三弗)の相場を認めざるを得ざるに至りしもなほ且現實販賣に於てはこの値を切ることを往々なりとす。

英國工業界に於ては關稅改正を再び追求せむとす

倫敦七月二十日

保護關稅により自己の工業を擁護せむとする英國銑鋼生産業者の運動は依然繼續されつゝあり然れども首相ボールドウィン氏は此等代表者の運動に對し忠告して曰く、余は余が會てなしたる誓言に基き銑鋼に關稅を科すること不可能にして次の總選舉までにはかかる手段は如何にするもなし得ずと言明せり、然れども他面政府に於ては工業保護條令の下に於て關稅賦課を許容するを目的とし更に調査委員會を開始することの妥當なりや否やを檢する目的を以て該銑鋼工業の現状を徹底的に調査しつゝありと専ら噂さる。

明に當國に於ける多數銑鋼工業者に於ては彼等の工業保護を獲得せむため總ての努力を拂ふことに決定したり然も猶ほ此れが反對論は多數存するも然も遂にはこの方面に於て何等かのなさるべきことは不可能事には非ずとなす、この問題は實に大陸産銑鋼の英國向輸入に關し重大關係を生ずるものにして大陸生産者間に於ては一大センセーションを惹き起しつゝあり、因に六月中に於ける英國の銑鋼輸入額は一九二七年同月に於ける三三二、六三七屯に比し二一〇、四〇五佛屯にして實に大なる減少なりとす、こは茲二ヶ月間中大陸相場の高昇による所にして若し大陸相場にして下落せば輸入額は再び増加を示すに至るべし。

クライド地方よりの銑鐵移出は實に僅少にして銑鐵輸出業の實に落潮にあるを示すもの如し。アントワープ波止場人夫は就業を認諾し賃金問題は本月末迄には落着し終るべしとの大陸通報は自己生産品の海外搬出に異常なる困難を感じ初めたる白國生産業者側に於ては大満足をもてむかへられつゝあると同時にブラッセル銑鋼取引所に於ける相場は強含み態度を採るに至れり、尙相場好轉の他の理由として、ヨーロッパ、スチール、アンタントの生産割當額の増加を見ざりし事實並にヨーロッパ、レール、メーカー、アツソシエーションが總計四〇、〇〇〇乃至五〇、〇〇〇屯の軌條注文を把持し居るの事實を擧げざるべからず。

白國に於ては主要銑鋼生産業者方面に於て自己生産品の輸出機關を形成するため協同しつゝありと傳へらる、然れどもこの報道を確むべき根據は何等なし、しかして注意すべきはかかる噂が亞米利加に於ける、スチール、エキスポート、アツソシエーションの組織成立公表についてうまれたるの點なりとす、新亞米利加輸出機關組織は大陸地方銑鋼業界に大評論を巻き起し、やがては、スチール、アンタントの統制の下に歐洲販賣シンデケートの組織に向ふ一大刺戟となるべしと期待さる、しかれどもこの問題は未だ、デュツセルドルフに於て開催されたる最近のアンタントの會合に於ては公然討議はされざれし所なりとす。

佛國スチール。メーカー夏期に拘はらず可成
多數の注文を把持す

巴里七月二十日

通例夏期に於ては銑鋼市場は活氣を示さざる所なれども當佛國工場方面に於ては満足すべき状態に在りて注文は過去二ヶ月内に受けしものにて充分なりとす、因に新なる注文は僅少なるも、過去の注文實行を以てしてもなほ二三ヶ月間分は充分なりとす、故にこの状態を以て夏期中を切抜ければ、秋期の初めに於ては再び斯業の活況を期待し得べき所とす。

壓延材の現在相場は強含みなれども、ワイヤー製品に於ては僅少ながら下落傾向に向ひつゝありて或方面にては、ワイヤー、ネイル屯當り二十フラン(一・九五弗)方の割引を以て販賣せられつゝありと報せらる、本週パリに於て開催せられたるコムプトアアの會合に於ては市場の満足すべき状態なるを認められ、半成品ビーム、レイル、ワイヤーロッドの相場には何等の變更を加へざることに決したり。

最近ワイヤーロッドの多大の注文を接受せる旨報せらる、銑鐵相場は變更なし、半成品に對する注文多し、マーチャントバー相場は一佛屯當り六八〇乃至七〇〇フラン(二六・六〇

乃至二七・四五弗)なれども事實上、或取引は六七〇フラン(二六・二五弗)を以て締結されたるを見る。

プレートは七九〇乃至八一〇フラン(三〇・九五弗乃至三一・六五弗)を以て販賣されつゝありと報せらる、而して中間厚みシート相場は、八八〇乃至九〇〇フラン(三四・四五弗乃至三五・一五弗)にして薄手シートは約一一二五フラン(四四弗)なりとす。

大陸方面銑鋼業活況

(アイアン・トレード・レヴィウ誌八月九日號抜萃)

獨、佛、白各工場は可成の殷盛を示すも英國製鋼工場は沈黙——銑力板に對する取引引合新に注目惹く——銑力板と競争すべくアルミニウム渡金板製造さる

倫敦八月七日

銑鋼業は目下英國に於けるよりも大陸方面に於て満足すべき状態を示す、即ち英國市場は沈靜なるも、白、佛、獨の生産者側に於ては可成の活氣を呈す、伯林よりの報道によれば獨逸各工場は多量の輸出向注文を有し特にバー形鋼、ワイヤーロッドに於て著しきものありと

報せらる、從つて相場も亦更に強含みの度を増したり、ヘツシュ製鋼工場に於ては鉄力板に對すべく、アルミニウム渡金板の製造のため新工場を建設しつつあり、白國市場は強固にして新注文多量に南米、印度及支那方面より來りつつあり、佛國に於ては製鉄製鋼兩方面共に多忙にして市場一般に樂觀的氣分横溢す、ワイヤー・ネイル製造者側に於ては白國工場よりの競争になやみつゝあり。

前週中一般に英國製鋼工場方面に於ては事業沈黙せり、ミッドルスポロー地方も沈靜なりドルマン・ロング會社に於ては從來ヘマタイト銑の製造に従事したる豫備の熔鑛爐を閉鎖せり、ミッドランド地方も亦事業不振にして銑鐵市場は生氣なし、極少量ながら特殊銑鐵のバロー地方より輸出さるゝを見るのみ、然れども英國フープ工場は多忙にして鉄力板に對する需要は再活氣を思はしむ即ち目下大陸及南阿方面より多大の取引引合來りつつあるを見る。

英國鋼材生産費の將來に於ける低減確實となる

倫敦七月二十七日

英國銑鋼工業界には重大なる展開を起しつつあり、この展開はやがては英國銑鋼輸出業界

に重要な影響を齎すと共に、自國內市場を自己のものとするものにつきての能力を増す點に於ても實に重大なる影響を持來するものとす、即ちこの展開とは總理大臣の言明する所に基くものにして即ち總理大臣の言明する所に依れば、政府に於ては鐵道會社にして農産物、石炭、骸炭、特許燃料、坑木、鐵鑛石及滿俺鑛石及製銑製鋼用石灰石に對する運賃率を低減することを條件としてこの十二月より鐵道會社に對し課税の輕減救済を許容すべく着々歩を進めつつありと公表せり、即ち斯の如くして銑鋼製造工業は生産費の低減により間接に利益を得るに至るべし、而して右運賃輕減の額は一ケ年間四、〇〇〇、〇〇〇ポンド（二〇、〇〇〇、〇〇〇弗）に達すべしと見積らる、同時に輸出保證制度の實施期間をも二ケ年間延すことに決定を見たり、他面銑鋼工業に對する保護關稅計畫は一般政策問題とするも將亦工業保護條令の延長とするも何れの方面よりするもこれが實施計畫は全く晝餅に歸したり而して該問題は來年の總選舉までは再び殆んど論せらるゝことなきに至るべし。然れども確なる方面に於ては何れ、銑鋼工業は關稅に依りて保護せらるべく且つこの觀念は明に確固たる根據を有すと信せらる、しかも一般に研究する所に依るも、この保護關稅のみが銑鋼工業の目下の萎微を救ひ得る唯一の方法なりと認めらる、目下英國銑鋼輸出業は沈靜なり而して英國消費

者側に於ては大陸半成品を市場に求めつゝありてその取引引合も現實注文に進みつゝあり、然れどもこれら注文も出来るだけ目下の必要數量に限られつゝあり。

大陸輸出業は可成殷盛にして特に白國、佛國兩國に於て盛にして且國內事業も亦満足すべき状態にあるを以て相場は良好に維持されつゝあり、これ等工場方面に於ては新なる進出は少數に止るも目下可成の輸出向注文を獲得しつゝあり、且注目に價するは、支那側より市場に取引引合を發するもの多數にしてそれ等の大部分は現實注文に展開しつゝありて特に、バ
ーニ對する需要は注意すべき所にして相場は良好に維持され、アントワープ渡五ポンド十五志(三三弗)なりとす。

獨逸五月中輸出入額減少

伯林七月二十四日

獨逸五月鋼材(スクラップを含む)輸出額は、四月中に於ける三九三、二二七屯に比し三八〇、〇二五佛屯なりとす、更に五月中銑鐵及鐵合金の輸出額は總計一八、四四五佛屯にしてこれを四月中の一八、五八三屯に比するときは全様減少を示す。

五月中銑鐵及鐵合金の輸入額は四月中に於ける二七、一一三屯に比し二六、七四二佛屯にして鋼材(スクラップを含む)の輸入額も亦四月中の二一九、二九八屯に比し一五九、七〇八屯にしてこの五月中の數字は本年中の最少輸入額とす。
比較表を示せば左の如し。(單位佛屯)

月當り平均	輸 入 額		輸 出 額	
	銑 鐵	銑鐵以外の鐵及鋼	銑 鐵	銑鐵以外の鐵及鋼
一九二五年	一七、一九〇	一〇三、五二五	一八、五四〇	二七七、一九〇
一九二六年	九、二三〇	九五、八九〇	四二、七三〇	四〇二、九〇五
一九二七年	二三、八九五	二二七、五〇五	二九、九一〇	三四七、六四五
一九二八年一月	二七、四九三	二三四、八九九	一三、八七九	三四九、一四七
二月	二三、〇八六	二二七、二三八	二一、五七九	三六九、一九七
三月	一九、〇六八	二二九、二六七	二六、四八八	四〇八、三一〇
四月	二七、一一三	二一九、二九八	一九、五八三	三九三、二二七
五月	二六、七四二	一五九、七〇八	一八、四四五	三八〇、〇二五

獨逸製鋼業者新輸出割當額を有利とす

國內市場は一般に不満足なる状態にあり。

歐洲大陸市場強固

(アイアン・トレード・レヴィワ誌八月十六日號抜萃)

佛獨兩國工場活況——七月中英國銑鋼生産額減少

倫敦八月十四日

大陸方面に於ける鋼材業界は依然として興味を中心たるを失はず、佛國市場は活況にして各工場は充分の注文を把持し、相場は上向傾向に在り、白國に於ける本夏暑氣の酷しかりし結果其の生産量を少しく減じたるも尙一般市況は良好なり、アントワープ波止場罷業は確實に落着を見るに至り、取引發送も規則正しく舊に復するに至れり、獨逸に於ける鐵鋼業界は堅固なる發展を見つゝありて相場は更に強含みなり。

ミッドランド地方工場に於ては南亞向全鋼製車五百輛の建造注文を落手せり、北部リンカーンシャー地方に於ける、レッドボーン、スチール工場に於ては四年間沈黙を續けたる後事業再開をなす、オーストラリアに建設さるべき骸炭工場及副産物工場(四、〇〇〇、〇〇〇ポ

ンドのもの) 建設契約英國内或工場との間に締結を見る。

七月中に於ける英國内銑鐵生産額は六月中に於ける五六二、七〇〇屯及五月中に於ける五九一、五〇〇屯に對し總計五三七、八〇〇屯にして減少を示す、即ち七月三十一日現在作業中の熔鑛爐數は一三一基にして六月三十日現在に比し十基の減少なりとす、七月中に於ける鋼材生産額は六六六、九〇〇屯にして之を六月中に於ける七〇九、五〇〇屯及五月中に於ける七五二、七〇〇屯に比するときは減少の傾向を示すものと言はざるべからず。

英國産鋼材大陸工場に迫らんとす

バーミンガム(英蘭土) 八月三日

本週中に於ける當國銑鋼工業界は再び首相に對し工業保護條令の準用を請願することによりて異彩を放つ、然れども首相ボールドウィン氏は如何なる壓迫あるにも不拘確固たる態度を持し如何にするともかゝる救済は之を許可すべき意なきことを斷然言明せり。

バーミンガムに於ける昨日の取引合に於ては各代表者の報する所に依れば彼等の工場は向ふ一週間作業を休止し、藏さらへの手はずを進めつゝありと報す、大陸産材料の打續く高昇

對の結果は英國内生産者をして自己の地位を益々確保するの機會を得せしめつゝあり。
 有利なる車輛注文本週に入りて海外鐵道より來りつゝあり、アルゼンチンは地方工場に
 どし車輛建造注文を發し、スーダン政府鐵道は、ダレススター、レールウエイ、キャリエヂ
 アンド、ワゴン會社との間に三十屯積有蓋ボギー貨車七十五輛及キャメル、レアド會社
 の間に三十五屯積無蓋ボギー貨車五十輛の建造契約を締結せり、英國直轄殖民地よりの需要
 は著しきものありて、ケンヤ、ウーガンダ鐵道よりの機關車及車輛の建造注文多數ありて英
 國工場に分配注文を發せらる。

銑鐵市況は沈靜なり、目下消費者側に於ては目下の必要品は把持し居りて更に一步を進む
 るの域に達せず、ミットルスボロー地方に於ける生産額は更に減少を來しドルマン、ロング
 會社はニューボートに於ける高爐一基の作業を休止せり、目下生産減少の時に於ても尙供給
 は充分にしてために相場は三ポンド八志(一六・五一弗)より三ポンド十志(一七・〇一弗)の間
 を大動遙しつゝあり、スコットランド地方に於てはなほ工場は休業状態にあるものありて全
 部百基の熔鑛爐中作業中のものは僅に二十基に過ぎず。

バロー地方に於ける、バロー及ウオーキントン軌條工場は相當注文を有し居りこれを以て

休日明けの作業開始に備へつゝありて目下作業中のものは單に、フープ工場あるのみなり。

製造者側に於ては輸入量の激減を見つゝあるよりして自己銑鐵生産額を更に減少するの必
 要なきに至りしを以て希望に充ちつゝあり、目下の需要は主として、ミッドランド地方より
 來りつゝありて、特殊高級銑は海外に輸出されつゝあるを見る。

ウエールス地方鋳力板市況は本週に入りて活氣を恢復しつゝありこれ主として錫價の安定
 を見たると生産制限計畫の採用によるものなり目下極東地方、大陸地方、南亞地方より大量
 の取引引合來りつゝありて輸出向最低値として十八志(四・三七弗)を取らんとしあるも相
 場は強含みにして十八志三片(四・四三弗)を辿りつゝあり、目下ウエールス産鋳力板原料バ
 ーは不變にして、サウス、ウエールス渡屯當り六ポンド(二九・一六弗)なれども外國品は強
 含みなれども五ポンド七志六片(二六・一一弗)なりとす、スクラップ市況は獨逸よりの多大
 の需要あるを報ずると共にサウス、ウエールス地方賣手側に於ては屯當り三ポンド七志六片
 (一六・三九弗)の相場を提唱するに何等の困難を感せず。

英國輸出相場變化僅少

倫敦七月三十日

商務局報一九二八年六月號は或種銑鋼製品に對する一英屯り平均輸出相場を揭示す、右相場は數ヶ月前以來の事實上の契約より編集したる數字にして、よくかかる實際相場と公定相場との間の差異を明にすることを得べし。

これ等の相場につき一年前のものとの比較を見るに本年六月中相場にして低下せるものは鑄物用銑、ブラツクシート、亞鉛引鋼板、鋳力板にして高昇したるものはビーム、軌條及プレートとなす、五月中相場と比較するに低下相場を示すものは、鑄物用銑、ビーム、軌條、ブラツクシートにして高昇せるものは、亞鉛引鋼板、プレート、鋳力板なりとす。
南務局報六月相場左の如し。

鑄物用銑	三ボンド十一志三片 (一七・二八弗)
ビーム	九ボンド十三志二片 (四六・八四弗)
軌條	八ボンド十七志二片 (四二・九六弗)
プレート	十ボンド十七志二片 (五二・六六弗)
ブラツクシート (1/8以下)	十二ボンド〇志六片 (五八・三二弗)
亞鉛引鋼板	十五ボンド八志九片 (七四・八七弗)
鋳力板	十九ボンド十志四片 (五一・〇〇弗)

佛國銑鋼貿易順調

巴里七月三十日

五月佛國よりの主要銑鋼製品の輸出額は四月中に於けると大差なし、銑鐵の輸出額は少く増加を示す、銑鐵の輸入額は増大す、比較表を示せば左の如し。(單位佛屯)

月當り平均	銑鐵	輸入額	銑鐵	輸出額
一九二五年	二、六九三	一一、七〇三	五八、八三五	二七二、二七〇
一九二六年	一、九九〇	一一、九三〇	五八、五四五	二六四、五三〇
一九二七年	三、二三〇	六、四九〇	六九、六四〇	三六三、三〇五
一九二八年一月	二、四七二	三、六六三	五七、四九六	三二八、二六九
二月	五、二四六	七、五四八	四九、五一五	四一五、一四八
三月	四、四二二	八、九一三	五七、五三四	三七七、三五一
四月	二、八六四	一〇、三四八	四六、四九九	二一九、七五三
五月	四、五〇六	一〇、八〇三	四八、七二五	三一九、〇二八

英國鐵鋼業界好調

(アイアン・トレード・レヂイウ誌八月二十三日號抜萃)

スチール・メーカー側秋期に近づくと同時に注文量の増加を確信す——車輛に對する注文多大——
 ノッテインカム地方製造工場に於てはブエノスアイレス向鑄鐵管一〇、〇〇〇屯の注文を引受
 く——獨逸輸出業展開

倫敦八月二十一日

英國銑鋼製造業者は本秋に入りての斯業の異常なる發展を期待しつつあり。機關車及車輛に對する各種注文は多數に上りつゝあり。ドルマン・ロング會社に於ては豫備熔鑪二基の點火を行ひたり、一基はヘマタイト銑製造用にして他の一基は滿俺鐵製造用なりとす。ノッテインカム地方に於けるスタントン製鐵所に於てはブエノスアイレス向鑄鐵管一〇、〇〇〇屯の製造契約を締結せり。ハルランド・エンド・エルフ會社に於てはホワイトスターラインの六万屯級船一隻を建造するの手筈をなしつつあり。

亞鉛引鋼板に對する注文は普通状態なれども鋳力板に對する需要は依然として強調なり、印度向鋼材としての引合多數來りつつあり。

七月中に於ける英國銑鋼輸出額は六月中に於ける三六五、八九〇屯及五月中に於る三五九、九一七屯に對し總額三五二、四七五屯にして輸入の方面に於ては六月中に於ける二二〇、四〇五屯及五月中に於ける二三六、八五二屯に對し七月中に於ては二三四、二九九屯に上れり。

巴里よりの報道によれば佛國製鋼工場に於ては十一月迄の注文を把持し居り従つて市場も亦強含みなるを報す、白國製造業者側に於ても亦強固なる地位を保持しつつあり。獨逸に於ては輸出方面に於ける著しき恢復を報すると共に内國取引の緩漫を報す。六月中に於ける獨逸の輸出額は四五三、〇〇〇屯なるに對し輸入額は單に一七七、〇〇〇屯にすぎず。

白國鋼材取引は緩漫なるも工場方面に於ては
 注文殺到す

ブラッセル八月十日

白國銑鐵市場は従前と同様の状態を持續しつつあるも最近市場の取引會合に於ける參加者の小數なるより見るも各種鋼材に對する相場制限を確保することは困難なりとす、目下一般の觀察は樂觀に傾く。

銑鐵市場に於ては何等の變化をも見ずして相場は依然満足すべき状態を持續す。半成品に對する國內市場は良好なり、これ多數壓延業者に於て最近把持したるマーチャントバーの注文のためこれが製造用としてビレットを購買せざるべからざるに緣由する所となす、而して半成品價格の高昇は二志六片(六〇・〇〇仙)、白國フランにして二〇フランなりとす、即ちブルーム相場は四磅五志六片(二〇・七五弗)乃至四磅六志六片(二二弗)、二吋ビレット四磅十六志(二三・二五弗)にして二吋半乃至三吋ビレット四磅十二志(二二・三〇弗)となす。

佛國鋼材工場に於ては市場に於て活躍せるものあるを見る、特に北部及東部地方に於ける工場に於ては重量物特に溝形、ビーム等に對する注文を引受けつつあり、獨逸工場も亦市場に横行す。建築用形鋼界に於ては普通型のビーム相場は四磅十八志六片(二三・八五弗)にして英國型のもの四磅十九志六片(二四・一〇弗)なりとす。マーチャントバーは過去二週間五磅十四志(二七・六〇弗)五磅十六志(二八・一〇弗)の間を動く。

多數注文英國工場に向けらる

(アイアン・ドレド・レグイット誌八月三十日號抜萃)

鐵道用車輛の輸出多大——三、六〇〇、〇〇弗の電氣器具類製造契約締結さる——一、〇〇〇、〇〇〇箱の鐵力板製造注文發せらるると報ず——白國鋼材相場絶頂に近し

倫敦八月二十八日

輸出向鐵道用車輛に對する多數の注文バーミンガム地方に發せらるバロー地方に於ける製鋼工場に於ては國內外向鐵道材料製造契約を締結せり。メトロポリタン・ウイツカース電機會社に於てはニュー・サウスウエールズ向七五〇、〇〇〇ポンドの電氣器具類の註文を獲得せり。

ボイラー用鋼板に對する需要は更に良好ならんとすと報道せらる。鐵力板一、〇〇〇、〇〇〇箱分の製造註文英國工場との間に締結さると報せらる。ヘマタイト銑市場に於ては幾分の恢復報せらる即ち最近伊太利に向て一、五〇〇屯の出荷を見る。特殊銑鐵に對する取引引合アメリカより來る。

伯林よりの報道に依れば輸出向需要は増加しつつありて價格も亦強含みなるを報ずるも國內取引は慘落を見る。英國消費側に於ては多量の白國産シートバーを購買しつつあり、白國に於ける鋼材相場は一般に絶頂に近づきつゝありと報せらる佛國市場は強固にして活氣横溢

英國鋼材取引界一般に希望に満つ

バーミンガム(英蘭土) 八月十七日

幾分の悲觀材料は有するも英國銑鋼業界の好調は希望多く關係有力筋に於ても秋期に於ける斯業の發展を確信するもの多し、生産額統計上に於ては依然減少を迎る、因に七月中に於ける銑鐵生産額は五三七、八〇〇屯にして、スチール、インゴット及キャスチングの生産額は、六六六、九〇〇屯なりとす、而して銑鐵に於てはこの數字は本年中に於ける最少の生産額にして、これは北部地方夏期休日に伴ふスコットランド地方熔鑛爐の作業基數の急激なる減少に基くものなりとす、然れどもこの傾向は一轉期を表現するが如し即ちドルマン、ロング會社に於ては直に二基の熔鑛爐の火入をなさんとしつゝあり、一基はヘマタイト銑製造用に於て他の一基は滿庵鐵製造用なりとす、銑鐵製造業者に對しては相場を下ぐべく多大の壓迫が作用されつゝありしが、これは當業者によりて頑強に擊退され今や當業者に於ては直に價格を低下せしむることなくして切抜け得べしと期待さるゝに至れり。

バロー地方に於ては熔鑛爐尙十一基作業しつゝありて、メーカー側に於て本月末迄には事業好轉を期待し得べしとの確信を表現しつゝあり、現在に於てはストックハ尙尤ろ多けれども車輛材料其他鐵道材料の需要よりして活氣は大ならんとす、相場の強調は希望を強からしめつつあり。

ミッドランド地方産銑の相場には何等の光明をも認め得ず即ち、ノーサムブトン、デルビシャー及スタフォードシャー産銑鐵は夏期に於ける低相場を持續しつゝあり。

昨週發せられたる鋼製車の註文につき機關車及特殊車輛多數に對する註文發せられたり、因に鐵道方面に於ては休日中に於ける多數貨物によりて活氣を恢復し更に今や運賃率の割引によりて一大投機的態度に出でんとしつゝありこれ實に彼等が自動車界より受けたる一大打撃に對し敢然對抗せむとする決意を表現したるものと見ることを得べし。

茲數年間英國に取りて最大の妨害たりし大陸は今や英國斯業にとりては刺戟者たるの役目を演じつつあるに至れり、目下大陸工場は十一月迄は充分の註文を把持しつゝありと報せらる、而してミッドランド地方製鋼業は今や彼等の競争は彼等相互間の競争にして外國よりの競争にあらざることを明白に自確するに至れり、全製鋼工場は目下全力を傾注して好調に乗

せむとし、英國壓延業者より發せらるるピレットの注文より多大の利益を享受しつつあり。南部スタフオードシャー地方に於ては、多數工業に於て低廉なる大陸産材料を利用し得ざるの結果として近來異常なる活氣を示すに至れり、マークド、バー製造業者側に於ては一時よりも多數の生産をなすに至り常に一週間分位の注文を把持し得るに至れり、而して此種最良質鐵の大部分は機關車の部分品、ケーブル、チェーン、エンヂンシャフト等に使用されつつあり。

亞鉛引板は依然可成の需要を見つつありて相場は十三ポンド七志六片(六四・八六弗)乃至十三ポンド十志(六五・四六弗)なれども七月中に於ける輸出額は一年前に比し良好ならず。因に一月以向七ヶ月間に於ける總輸出額は昨年同期間に於ける四四八、八二三屯に比し四〇三、九六九屯なりとす。鋳力板の輸出に於ては七月に於て尤も良好となり且七ヶ月間に於ける合計につきて見るも昨年の同期間に於ける二九二、四七四屯に對し可成多數の増加にして三一四、二八五屯なりとす七月に於ける商務局報中不満足なる數字は實に輸出方面に於ける減少なりとす。

八月中に於ける銀行休日週間を利用したる鋳力板工場の一般的作業休止は其の目的に寄與

したる所大なりと確信せらるる所にして第二回の休止は未だ豫知し得ず、一箱當り十八志三片(四・四二弗)の現在相場は大部分この生産制限の結果として維持し得るものとの確信せらる。

良好なる取引引合市場に出現しつつあるも、其の現實注文となることは尤も緩慢なりとす或商人筋に於ては鋳力板の相場を十八志(四・三六弗)に値切らんと努力せしもこの努力は尤も不成效に終りたり蓋し或場合に於ては十八志一〇片(四・三九弗)の相場許容せられたるものあるを見る。

重量物スクラップは尙可成の需要を見つつありて、相場は三ポンド七志六片(一六・三五弗)乃至三ポンド十志(一六・九六弗)にして特にピレットの注文多數の結果としてウエールス製鋼工場方面に於て一層多數の材料を要求しつつあるを見る。

獨逸に於ける銑鋼工場發展緩慢

伯林八月十八日

獨逸聯合製鋼工場組合に於ては、一九二七—二八會計年度の第三の三ヶ月間即ち本年四、

五、六月の三ヶ月間に於ける生産額を發表せり、石炭の生産額は昨年度同期内に於ける六、八九七、〇〇〇屯に對し六、二八九、六〇〇佛屯なりとす。次に骸炭の生産額は同じく二、二三一、〇〇一屯に對し二、三〇一、九五九佛屯なりとす、更に銑鐵生産額は一、七〇三、一〇五屯に對し一、五四一、八七一佛屯にして、スチール生産額は一、八四二、一八七屯に對し一、六一九、一五〇屯なりとす。而してこれらの數字は總て本年本期間に於ける生産額は昨年度同期間に於けるものよりも減少せることを示す、本年六月三十日現在に於ける組合雇傭職工數は一九二七年六月三十日に於ける一八二、〇一四人に對し一七七、〇九〇人にしてこの本年度の人數中八五、五二〇人は炭鑛に於ける従事者なりとす、而して職員は昨年 に於ける一五、八一三人に對し一五、五三〇人なりとす。

本年當三ヶ月間に於ける組合外のものとの賣上高は一九二七年同期間に於ける三六〇、八九七、七二五マーク(八六、〇〇〇、〇〇〇弗)に對し二三九、七九七、四六三マーク(八一、〇〇〇、〇〇〇弗)にしてこの中一二三、一八六、四八六マーク(二九、二五〇、〇〇〇弗)は輸出向のものなりとす、而してこれを昨年度の一一四、九三九、六二九マーク(二七、四〇〇、〇〇〇弗)に比するに、國內取引の衰へたるに反し輸出向取引の増大せるを示す、因に本三ヶ月間中熔

鑛爐にして作業を休止せるもの四基にして火入をなせるもの一基とす。

英國銑鋼販賣高輸出方面に於て秀づ

(アイアン・トレッド・レヅイウ誌九月六日抜萃)

南米南阿向機關車注文多大——印度方面各種鋼材を購買す——一九二九年度分生産品に對する取引引合出現す——アメリカ消費者側に於ては銑鐵取引引合をなす——白佛銑鋼取引活況

倫敦九月四日

英國産鋼材に對する注文は雜多なれども總額に於ては僅少なり。印度向鋼材の販賣目下の市場に於ける花形なりとす。南阿南米向機關車の建造注文も亦注目すべきものなりとす。亞鉛引鋼板製造工場方面に於ては注文充實しつつあるも印度に於て白國筋との間に激烈なる競争あるを報ず、鋳力板に對する需要は底強く取引引合は一九二九年度分のものに及ぶ。

ミッドランド地方銑鐵市場は沈靜にしてストックは増加しつつあり。北東部地方産へマタイト銑に對する需要は恢復を見つつあり。ドルマン・ロング會社に於ては更に一基の熔鑛爐火入をなす。ミッドルスポロー地方よりは依然銑鐵の輸出を見る、銑鐵に對す取引引合アメ

リカより来りつつあり。

巴里よりの報道は佛國國內取引の展開と同時に輸出方面に於ても満足すべき状態に在るを報ず。取引引合は日本及南米地方より来りつつあり、相場は頂點に達しつつありと信せらる。伯林よりの報道は當地に於ける市場靜穩なるを報ず。ビームは輸出向四磅十七志六片(二三・六九弗)を以て提供されつつあり。白國市場は活氣ありて支那、日本、印度方面より良注文来りつつあり。

英國鋼材市場小口注文のため多忙を極む

バーミンガム(英蘭土) 八月二十四日

大口取引は目下極めて稀少なるも多數の小口取引あるため注文は可成の數に達しつつあり例年のレース週休はミッドルスボロー地方に於ける作業を休止せしめ多數の壓延工場は一週間作業を休止せり。ドルマンロング會社は彼等のクレアレンス工場に於ては作業を繼續すべさも直に向後三週間閉鎖を行ふに至るべしと公表す。バーマース造船製鐵會社に於ける二基熔鑛爐は作業を休止せしもドルマンロング會社に於ては二基を火入せるを以て北東海岸地方

に於ける作業中の熔鑛爐數は依然二九基なりとす。

製造業者側に於ては休日明けに於て一層の活況を期待しつつあり。ミッドランド地方商人筋に於ては全種類の銑鐵に對し貧弱なる需要を表しつつあるも市場は充分強含みにして近來の相場即ちノーサムブトンシャー産鑄物用銑二磅十五志(一二・三三弗)乃至二磅十六志(一三・五七弗)デルビーシャー産二磅十九志(一四・三二弗)乃至三磅(一四・五五弗)の相場を持續しつつあり。

銑鋼製造者側に於ては車輛建造界の活氣増大よりして自己の地位の有利ならんことを期待しつつあり。

大陸産鋼材の地位は不變なれどもバーミンガム商人筋に於ては本週中に於て數回の相場變更の申込を接受したり、暫時不變なりし四分の一吋鋼板は二志(〇・四八弗)方の高昇をなせり、ピレットは幾分安値を表すもブルームは二志六片(〇・六〇弗)方高値を示す先月間不變なりし外國産波板は一志六片(〇・三二弗)方高昇を示すと共に、シートバーも亦同様の値上げを示す。要之外國産鋼材の當地に於ける相場變化はすべて僅少にして市場に影響を與ふるまでには至らず。スチール・バー及三號白國銑は不變にして賣行は單に一少額に止る。

建築業果に於てはスチール取引僅少なるとも休日明け後數ヶ月中には大工事の續出を期待しつつあり。バロー地方に於ける製鋼業方面に於ては活氣を増しつつありて國內及外國向鐵道材料に對する註文を受くること多大なりとす。

亞鉛引鋼板相場は依然十三磅七志六片(六四・八六弗)乃至十三磅十志(六五・四六弗)を示す。印度方面に於ける需要はなほ満足するに足らざるも他國よりは需要の見るべきものあるが如し。

スワンシー地方に於て數日前開催されたる鋳力板製造業者の會合に於ては新なる最低値として一箱當り十八志(四・三六弗)に決定を見たり、而して目下の調子は確實なる步調を表し相場は十八志(四・三六弗)と十八志三片(四・四二弗)との間を辿る。賣上高は依然可成の數字を表し果實罐詰工業の發展を示しつつある南阿方面よりの購買は増加を示しつつあり、取引引合はアウストラリヤ及極東方面より來りつつあり。

スチール・スクラップは強含みにしてサウス・ワエールス渡三磅七志六片(一六・三六弗)なりとす。

獨逸國內市場強度のスランプに陥る

伯林八月二十五日

目下獨逸鐵鋼市場に於ては國內取引と國外取引との間に多大なる相違を表現するに至れり即ち國內取引に於ては目下當國に於ける經濟界の緩漫傾向に禍ひされ其の結果銑鋼の購買力の實に僅少なると對し輸出業界に於ては寧ろ大いに活氣を増しつつあるなり。外國向販賣に關しては獨逸鋼材大手筋界に於ては一般に希望に滿ちつつありて業界の依然として活氣を増すべきを信じてあり。

六月中に於ける外國向販賣高は五月中に於ける三九八、〇〇〇噸に對し四五三、〇〇〇佛屯にしてこの數字は實に數年來のレコードとなす。

近年に於ける獨逸輸出入を示せば左の如し。(單位佛屯)

一九二八年	輸 入 額	輸 出 額
一 月	二六一、〇〇〇	三六三、〇〇〇
二 月	二四〇、〇〇〇	三九一、〇〇〇
三 月	二四八、〇〇〇	四三五、〇〇〇

四月	二四六、〇〇〇	四一三、〇〇〇
五月	一八六、〇〇〇	三九八、〇〇〇
六月	一七七、〇〇〇	四五三、〇〇〇
一九二八年一月一六月合計	一、三六一、〇〇〇	二、四五三、〇〇〇
一九二七年一月一六月合計	一、二四九、〇〇〇	二、四三四、〇〇〇

以上の数字を見るも獨逸に於ては國內販賣高の減少にかふるに輸出向の増加を以て償はんとするの傾向あるを示すものなり、六月中に於ける著しき増加は之を鐵道建設用材料の販賣に於て認むることを得、これ主として英領印度、南阿地方及亞爾然丁共和國等よりする需要の増大による所大なりとす、更に半成品に於ても亦其の輸出されたるもの増加を示す所にしてマーチャントバー及ブルームの外國向販賣高も亦増加を示す。目下マーチャントバーの相場は約五磅十八志(二八・六〇弗)にして更に高き相場をも表しつつあり、而して製造者側に於てはなほ更に高相場の出現を期待して高き相場を以てするもなほその賣却を拒みつつあるを見る、而して目下内國消費者並取扱商側のストックは普通状態よりも更に減少を示しつつあり、主たる需要國は南米地方極東諸國にして蘭領東印度地方に於ても可成の數量の注文を發しつつあり。

各種ワイヤー製品の輸出も満足すべき状態にありて特に素線材に於ては多量の輸出を見る所にして主として南米及和蘭陀方面に販賣されつつあり、ワイヤー・ロッド製造者側に於ては前約五六週間分の注文を把持し居りて更にマーチャントバー製造者に至りては約八週間の引渡猶豫を乞ふが如き盛況なり。

七月中に於ける銑鐵生産額は作業日一日當りに於て六月中に比し約二%方の減少を示せるもロー・スチールの生産に於ては前日に比し増加を示すも一九二七年七月に比するときは四%方の減少なりとす。

獨逸機關車製造業者は重大なる危機に瀕しつつあり、造船所方面に於ても仕事の減少を啣ちつつありて外國資本の減少の結果建築業界の活氣は薄まりつつあり、一般にスチールに對する國內需要は貧弱にして前途芳しからず。

白國に於ける鋼材市場前途益々有望

ブラッセル八月二十四日

白國に於ける銑鋼取引は白佛兩國に於ける國祭休日たる八月十五日を含める週間事實上停

止を見たるも取引再開に際し且八月二十二日のブラッセル銑鋼取引會に於ては活氣は普通の状態に復し相場は昇騰の傾向にありて寧ろ取引者をして恐嘆せしめしが如きの觀あり、然れどもこは單に一時的の出來事にして相場の如きも高昇を續くるが如きことは不可能なりと豫期さる、これ主として獨逸國內市況の不況の結果獨逸に於て輸出市場に於て大いに競争を強からしめんとしつあるに依る。

然れども夏期中に於ける相場の満足すべき傾向は秋期に於ける斯業に對する活氣付くる徴候と見らる。銑鐵市況は依然靜穩にして單に鑄物用銑に對し比較的少數の注文あるのみ、因に骸銑鐵相場は國內市場に於て六〇〇白國フラン(一六・三五弗)なりとす。輸出向需要も亦沈靜にして相場は依然アントワープ渡約三磅三志(一五・三〇弗)とす。半成品市場は活況にして屯當り約一志六片(三五・〇〇仙)方の騰貴なりとす。シートバーの多數英國シート及錫力板製造者に販賣さる。ブルーム相場はサイズに従ひ四磅十志乃至四磅十四志六片(二一・八〇弗乃至二二・九五弗)にして二吋ビレット四磅十七志六片(二三・五五弗)シートバー四磅十八志六片(二三・九五弗)なりとす。マーチャントバーに對しては相場はアントワープ渡屯當り六磅(一九・〇五弗)に近く實際契約に於てもこの價格を以て商議されつつありと報せらる。

ビーム相場は普通型四磅十八志六片(二三・九五弗)にして英國型は五磅(二四・三〇弗)なりとす。ワイヤード相場は六磅(二九・〇五弗)なり。

獨逸工場側に於ては輸出向鋼材製品の販賣機關組織の目的を以て佛白兩國團體に接近しつつありと報せらる。然れども白佛兩國方面よりの最近の報道に依れば彼等は獨逸の提議に對し何等興味を惹かざるもの如し。

小字 引渡港に於ける積込渡輸出値
 太字 工晏渡國內相場

見在 1: ¥ 2.1858

	獨逸				
	(ロッテルダム及 北海面諸港渡)				
鉄 鐵	一邦貨 當算	一佛屯 當り	全邦貨 換算	一佛屯 當り	全邦貨 換算
三號鑄物用鉄(硅素2.50~3.00)	35.85	15.76	34.45	18.60	40.66
鹽基性鉄鐵	32.81	15.28	33.40	20.98	45.86
鹽基性轉爐用鉄	—	14.55	31.80	—	—
へマタイト鉄(磷0.02~0.05)	—	—	—	—	—
半 成 品					
ピ レ ツ ト	56.22	23.77	51.96	28.85	63.06
ソ イ ヤ ー ロ ツ ド	—	29.71	64.94	—	—
成 品					
標 準 軌 條	78.56	31.53	68.92	33.30	72.79
マ ー チ ャ ン ト バ ー	68.92	30.43	66.51	33.52	73.27
建 築 用 形 鋼	57.36	24.26	53.03	32.85	71.80
厚鋼板(船、橋、タンク用)	72.31	31.31	68.44	37.71	82.43
二十四番ブラックシート	117.60	48.29	105.55	53.38	116.68
二十四番亞鉛引波板	186.51	64.61	141.22	83.35	182.19
バンド及ストリツプ	86.27	32.85	71.80	39.03	85.31
素 線 材	97.36	35.28	77.12	54.68	119.52
亞 鉛 引 鋼 線	—	44.32	96.87	—	—
釘	—	36.38	79.52	—	—
鋳力板(箱108封度)	—	6.80	14.86	—	—

歐洲に於ける銑鋼價格

小字 引渡港に於ける積込渡輸出値段
 太字 工業渡國內相場

九月二十四日現在 1: ¥ 2.1858

	英 國				佛 國				ベルギー及ルクセンブルグ				獨 逸			
	(英國諸港渡)				(ドーヴァー海) 峽面諸港渡				(ドーヴァー海) 峽面諸港渡				ロツテルダム及 北海面諸港渡			
銑 鐵	一佛屯 當り	全邦貨 換算	一佛屯 當り	全邦貨 換算	一佛屯 當り	全邦貨 換算	一佛屯 當り	全邦貨 換算	一佛屯 當り	全邦貨 換算	一佛屯 當り	全邦貨 換算	一佛屯 當り	全邦貨 換算	一佛屯 當り	全邦貨 換算
三號鑄物用銑(硅素2.50~3.00)	15.76	34.45	15.76	34.45	15.28	33.40	17.20	37.60	15.28	33.40	16.40	35.85	15.76	34.45	18.60	40.66
鹽 基 性 銑 鐵	15.51	33.90	15.51	33.90	15.28	33.40	18.57	40.59	15.28	33.40	15.01	32.81	15.28	33.40	20.98	45.86
鹽 基 性 轉 爐 用 銑	16.47	36.00	-	-	14.79	32.33	-	-	14.79	32.33	-	-	14.55	31.80	-	-
ヘマイト銑(磷0.02~0.05)	16.35	35.74	-	-	22.09	48.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
半 成 品																
ビ レ ツ ト	28.64	62.60	28.64	62.60	23.77	51.96	21.70	47.43	23.77	51.96	25.72	56.22	23.77	51.96	28.85	63.06
ソ イ ヤ ー ロ ツ ド	40.58	88.70	-	-	29.71	64.94	-	-	29.71	64.94	-	-	29.71	64.94	-	-
成 品																
標 準 軌 條	37.00	80.87	39.46	86.25	31.53	68.92	32.19	70.36	31.53	68.92	35.94	78.56	31.53	68.92	33.30	72.79
マ ー チ ャ ン ト バ ー	34.18	74.71	34.62	75.67	30.43	66.51	28.22	61.68	30.43	66.51	31.53	68.92	30.43	66.51	33.52	73.27
建 築 用 形 鋼	35.28	77.12	37.71	82.43	24.70	53.99	25.80	56.39	24.70	53.99	26.24	57.36	24.26	53.03	32.85	71.80
厚鋼板(船、橋、タンク用)	38.81	84.83	41.23	90.12	30.87	67.48	33.96	74.23	30.87	67.48	33.08	72.31	31.31	68.44	37.71	82.43
二十四番ブラックシート	47.85	104.59	50.27	109.88	51.60	112.79	64.39	140.74	51.60	112.79	53.80	117.60	48.29	105.55	53.38	116.68
二十四番亞鉛引波板	63.95	139.78	64.61	141.22	66.37	145.07	75.19	164.35	66.37	145.07	85.33	186.51	64.61	141.22	83.35	182.19
バンド及ストリツプ	48.95	106.99	48.95	106.99	34.40	75.19	31.31	68.44	34.40	75.19	39.47	86.27	32.85	71.80	39.03	85.31
素 線 材	46.74	102.16	46.74	102.16	35.28	77.12	37.71	82.43	35.28	77.12	44.54	97.36	35.28	77.12	54.68	119.52
亞 鉛 引 鋼 線	64.61	141.22	-	-	43.66	95.43	-	-	43.66	95.43	-	-	44.32	96.87	-	-
釘	52.48	114.71	-	-	36.38	79.52	-	-	36.38	79.52	-	-	36.38	79.52	-	-
鋳力板(箱108封度)	4.43	9.68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.80	14.86	-	-

各國鐵鋼生產

統計 (其の一)

The Iron & Coal Trades Rev., July 13, 1928.

一、六月中合衆國の銑鐵產額

六月中銑鐵の總產額は前月に比し減少し三、〇八一、三〇〇英屯にして日産額率一〇二、七

一〇屯を示せり因に五月中の總產額は三、二八三、八五六屯、日産額率一〇五、九三一を示したり。

二、一九二七年中合衆國の電氣鋼產額

亞米利加鐵鋼學會の最近發表したる所に依れば一九二七年中の電氣鋼產額は新レコードを作り總額六六六、〇八七屯(一九二六年は六五一、七二三)に達したり。

次表は最近數年間に於ける電氣鋼の產額を示す。

一九二七年
一九二六年

六六六、〇八七英屯
六五一、七二三

Faint table with multiple columns and rows, likely containing production statistics for various countries and years.

一九二五年	六一五、五二二
一九二四年	四三二、五二六
一九二三年	五一五、八七二
一九二二年	三四六、〇三九
一九二〇年	五〇二、一五二

因に戦時中の生産レコードは一九一八年の五一一、三六四屯を以てす昨年の産額は、鋼塊及鋼鑄物總産額の一、四八%に相當し一昨年は一・三五%に相當せり、故に昨年の産額は、屯數に於ても又割合に於ても共に新レコードを作れり。

三、一九二七年中南濠洲の鐵鑛産額

昨年中南濠洲の鐵鑛産額は七二二、四二五屯に達したり。

四、五月中ルクセンブルグの鐵鋼産額

五月中の銑鐵産額は四月の二二六、九八三吨に對し二三三、八〇六吨に達したり、内

鹽基性鐵	二二六、〇八七屯
鑄物銑	六、八八四"
鍛鐵	八三五"

五月中鋼産額は四月の二〇二、五八六吨に達し二一四、八四六吨に對したり、内

鹽基性ベセマー鋼	二一三、五四六吨
平爐鋼	六四二"
電氣鋼	六五八"

五、一九二七年中印度支那の鑛物産額

昨年中印度支那の鑛物産額は

無烟炭	一、四四四、九〇三吨	(内一、〇〇九、〇〇〇屯は輸出せられたり)
瀝青炭	三八、六五二	
褐炭	七、一五一	
亞鉛鑛	二〇、三四三	
ウラフラム (W ₂ O ₃ Content)	一二七	

六、一九二七年中智利の石炭産額

昨年中智利の石炭産額は總計一、五〇〇、〇〇〇吨に達したり、此の産額を以ては全國に於ける各種工業の需要を満たすに不十分なるが故政府は炭鑛業に對し何等かの援助を與へんとす。

七、昨年度（一九二七—一九二八年）中印度の銑鐵輸出
 昨年度印度の銑鐵輸出額は前年度の三〇九、〇〇〇屯に比し三九三、〇〇〇屯に達したり。
 其の仕向地次の如し。

	昨年度	一昨年度
日本	二七〇、〇〇〇屯	二三四、〇〇〇屯
合衆國	六五、〇〇〇	四〇、〇〇〇
英國	二一、〇〇〇	一六、〇〇〇
獨逸	一一、〇〇〇	三、〇〇〇

八、昨年度印度の鑛物輸出

昨年度中滿僱鑛の輸出額は、前年の五三六、〇〇〇屯に比し七〇三、〇〇〇屯に達したり、

内	昨年度
英國	二三四、〇〇〇屯（前月五七、〇〇〇）
佛蘭西	一八二、〇〇〇
伊太利	一四九、〇〇〇
合衆國	九七、〇〇〇

錫鑛の輸出は二六、〇〇〇屯（前年一七、〇〇〇）に達し、ウルフラム鑛は三、〇〇〇屯（前年一、五〇〇）に對し内二、〇〇〇屯は英國へ輸出せられたり。

九、昨年度印度の燃料輸出入

昨年度中印度の石炭輸入額は二六二、〇〇〇屯（前年一四一、〇〇〇）に達したり、内

南阿より	一五四、〇〇〇屯
英國より	五二、〇〇〇
東阿より	三五、〇〇〇

骸炭の輸入額は前年度の一二、〇〇〇屯に比し一〇、〇〇〇屯に減少したり。

昨年度中石炭骸炭の輸出額は、六三四、〇〇〇屯（前年六四五、〇〇〇）に達し、内

セイロンへ	三八二、〇〇〇屯（前年二四一、〇〇〇）
海峽殖民地へ	一五七、〇〇〇屯

一〇、昨年度中加奈陀のニッケル輸出

昨年度中加奈陀のニッケル輸出額は總計七八、二二八、五〇〇封度（前年六二、四四四、七〇〇）に達したり。此は戦時即一九一八年度の輸出額七九、一六四、四〇〇封度と比肩することを得。

一一、五月中佛蘭西の燃料産額
五月中佛蘭西炭坑の燃料産額次の如し。

	五月	四月
石炭	四、一六二、四一八	四、〇五三、〇八四
褐炭	八五、九一四	八一、七一九
該炭	三六七、七二五	三六〇、四四六
特許燃料	三七七、七〇四	三四〇、九五三

内北方及カレ海峽地方の分

石炭	二、六七七、二五五	二、六四九、七八八
該炭	三〇四、三八六	二九八、二三六
特許燃料	二四三、五七八	二二六、一一九

一二、五月中佛蘭西の鐵鋼産額

五月中佛蘭西の操業高爐數は四月と同様、一五〇基を數へたり。銑鐵の總産額は前月の八三四、〇〇〇噸に對し八七一、〇〇〇噸に増加したり。其の内譯次の如し。

鹽基性鐵	六七四、〇〇〇
含燐鑄物銑	一一五、〇〇〇

五月中鋼産額は總計七九四、〇〇〇噸に達したり(四月は七三六、〇〇〇噸訂正數字)内

鋼塊	七八一、〇〇〇
鑄物	一三、〇〇〇

鋼塊の内

鹽基性ベセマ	五五四、〇〇〇
平爐鋼	一二五、〇〇〇
電氣鋼	一〇、四〇〇
ベセマ鋼	三、四〇〇
坩堝鋼	一、二〇〇

一三、五月中白耳義の石炭及鐵鋼産額
五月中白耳義の燃料産額次の如し。

石炭	五月	二、二二八、一六〇 噸	四月	二、二二三、〇四〇 噸
骸炭	五月	五〇六、一四〇	四月	四八〇、九九〇
特許燃料	五月	一五〇、〇五〇	四月	一四七、五一〇
石炭在庫高	五月	一、五一二、〇八〇	四月	一、六九四、一三〇

鐵鋼產額

五月中の操業高爐數は四月と同様五六基を數へたり、鐵鋼の產額次の如し。

鐵	五月	三二八、八一〇 噸	四月	三一三、二二〇 噸
鋼塊	五月	三一六、二一〇	四月	二九五、六九〇
鋼鑄物	五月	八、九五〇	四月	九、四二〇
鋼製品	五月	二七六、二五〇	四月	二五九、〇九〇
鐵製品	五月	一四、五九〇	四月	一二、九〇〇

一四、本年前半期の英國鐵鋼外國貿易

一、輸入

鐵鋼製品の輸入總額は、六月中に於て二一〇、四〇五屯及六月迄の前半期中に於て一、五

四二、一九九屯に達したるが此れを昨年の一、三三二、六三七屯と二、五七〇、二七一屯とに比すれば大いに減少し其の前半期中の輸入合計は昨年比し約百萬屯の減少を見たり。本年に於ける輸入額の價格は、六月は一、七九八、四二四磅、前半期は一二、七三七、八〇九磅を算じたり(昨年は、六月二、五七一、八五九磅、前期一九、六八一、三五八磅)其の輸入品の主なるもの次の如し。

品目	六月	六月迄の前半期
鐵		
鐵及鑄物鐵	二、四一一 屯	三二、八〇七 屯
鹽基性鐵	三、五一三	三二、九三七
鐵合金	一、四九一	一一、五三四
牛成品		
鋼塊	二、八三六	三六、六一五
アルミム(鐵)	六三二	五、六五〇
〃(鋼)	四二、一三一	三三〇、一八一
シートバー及鐵力板棒	四一、二六七	二八四、〇六六
線材	九六、九五	六五、〇三八